PIXUS MP900

基本操作ガイド

取扱説明書

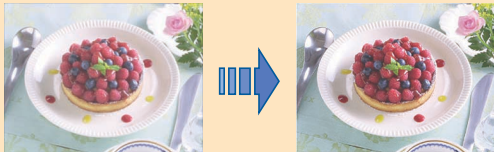
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

J HT7-0082-000-V.2.0

メモリーカードから写真をきれいに印刷しよう

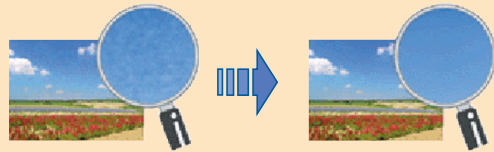
印刷設定を変更して、写真をよりきれいに印刷してみましょう。
印刷設定の変更のしかたについては本書61ページをご覧ください。

補　正

写真が暗すぎたり、明るすぎたりしたときは

オートフォトパーフェクト OFF＊　　オートフォトパーフェクト ON

海や空、草原などの風景写真をより鮮やかに印刷したいときは

VIVIDフォト OFF＊　　VIVIDフォト ON

空などの青い部分や、暗い部分にノイズが多いときは

ノイズ除去 OFF＊　　ノイズ除去 ON

逆光などで写真が暗くなったときは

顔明るく補正 OFF＊　　顔明るく補正 ON

＊初期設定

フォトナビシートで簡単ダイレクトプリント

詳細は本書62ページをご覧ください。

1. メモリーカードをカードスロットに差し込みます。
2. ［フォトナビシート］を押します。
3. ［OK］を２回押します。

   印刷されます。
4. マークを塗りつぶして写真の選択や設定をします。
5. フォトナビシートで選んだ用紙をセットします。
6. 原稿台ガラスにフォトナビシートをセットします。
7. ［フォトナビシート］→［▶］→［OK］の順に押します。

   選択された写真が印刷されます。

Canon　フォトナビシート

良い例　悪い例

1. 印刷の設定	印刷する用紙のサイズ/種類、オプションを選択（濃い鉛筆などで○を塗りつぶす）

	L判	2L判	はがき全体	はがき半分	A4
右から一つを選択	○ フォト紙 フチなし	○ フォト紙 フチなし	○ フォト紙 フチなし	○ フォト紙 フチなし	○ フォト紙 フチなし
	○ フォト紙 フチあり	○ フォト紙 フチあり	○ フォト紙 フチあり	○ フォト紙 フチあり	○ フォト紙 フチあり
			○ 普通紙 フチあり	○ 普通紙 フチあり	○ 普通紙 フチあり
オプション	○ 日付印刷	○ オートフォトパーフェクト	○ VIVIDフォト	○ ノイズ除去	○ 顔明るく補正

2. 画像の選択・部数	印刷したい画像の下のマーク"○"から印刷部数(1部～3部)を選択	○ すべての画像を1部ずつ印刷

1○ 2○ 3○ 001 2004.07.29
1○ 2○ 3○ 002 2004.07.29
1○ 2○ 3○ 003 2004.07.29
1○ 2○ 3○ 004 2004.07.29
1○ 2○ 3○ 005 2004.07.29
1○ 2○ 3○ 006 2004.07.29
1○ 2○ 3○ 007 2004.07.29
1○ 2○ 3○ 008 2004.10.29
1○ 2○ 3○ 009 2004.10.29
1○ 2○ 3○ 010 2004.10.29
1○ 2○ 3○ 011 2004.10.29
1○ 2○ 3○ 012 2004.10.29

3. 画像の印刷	1: 印刷用紙をオートシートフィーダにセットする　2: フォトナビシートを原稿台にのせる 3: 次の順番でボタンを押す（フォトナビシート →▶→ OK）

○ このシートを再印刷

ごあいさつ

このたびは、キヤノン《PIXUS MP900》をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、ご使用の前に取扱説明書をひととおりお読みください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。操作中に使いかたがわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器に関する日本および米国共通の省エネルギーのためのプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費が比較的少なく、その消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナおよび複合機（コンセントから電力を供給されるものに限る）で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、日米で統一されています。

Exif Printについて

本機は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。
Exif Printは、デジタルカメラとプリンタの連携を強化した規格です。
Exif Print対応デジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

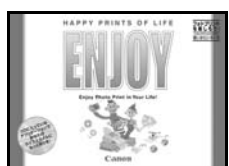
商標について

- CanonおよびキヤノンはI、キヤノン株式会社の登録商標です。
- PIXUS、MP、ScanGear、BJおよびBubble Jetは、キヤノン株式会社の商標です。
- Microsoft®、Windows® は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書では、Microsoft® Windows® XP、Microsoft® Windows® Millennium Edition、Microsoft® Windows® 2000、Microsoft® Windows® 98をそれぞれ Windows XP、Windows Me、Windows 2000、Windows 98と略して記載しています。
- Macintosh、MacおよびMac OSは、米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、SanDisk Corporationの商標です。
- MEMORY STICK（メモリースティック）は、ソニー株式会社の商標です。
- SmartMedia™（スマートメディア）は、株式会社東芝の商標です。
- その他、記載の商品名、会社名は一般に各社の登録商標または商標です。

お客様へのお願い

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、最寄りのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- 本書の記載内容以外でご使用になった場合は、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

取扱説明書について

かんたんスタートガイド（本体設置編／ソフトウェアインストール編）（印刷物）

必ず、最初にお読みください。

本機をご購入後、設置、取り付けからご使用になるまでに必要な説明が記載されています。本体設置編には、設置、取り付けの説明が記載されています。ソフトウェアインストール編には、ソフトウェアのインストールの説明が記載されています。

基本操作ガイド（本書）

本機を使いはじめるときにお読みください。

コピー、フォトプリント、パソコンを使った印刷やスキャンの操作、日常のお手入れ、および困ったときの対処方法など、本機をお使いいただく上で基本となる操作と機能について説明しています。

ソフトウェアガイド（電子マニュアル）

パソコンの画面で見る取扱説明書です。

パソコンからの印刷やスキャンについて、もっと詳しい説明が知りたいときにお読みください。MP ドライバや MP Navigator の各機能の詳細や応用的な使用方法について説明しています。この取扱説明書は、付属のセットアップ CD-ROM に収録されています。「セットアップ CD-ROM に収録されている電子マニュアルを表示するには」（→ 7 ページ）を参照してください。

アプリケーションガイド（電子マニュアル）

パソコンの画面で見る取扱説明書です。

セットアップ CD-ROM に含まれているアプリケーション（ZoomBrowser EX/PhotoRecord や Easy-PhotoPrint など）の機能の詳細について説明しています。この取扱説明書はソフトウェアガイドと同じく、付属のセットアップ CD-ROM に収録されています。「セットアップ CD-ROM に収録されている電子マニュアルを表示するには」（→ 7 ページ）を参照してください。

* アプリケーションガイドに記載されていないアプリケーションについては、専用の電子マニュアルが付属されています。専用の電子マニュアルは HTML 形式と PDF 形式のマニュアルとなっております。PDF 形式のマニュアルを表示するためには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。

フォトプリントを楽しもう（印刷物）

アプリケーションについて知りたいときにお読みください。

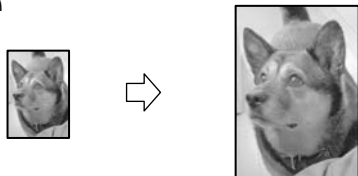
フォトプリントを楽しむためのアプリケーションの機能の概要を紹介しています。

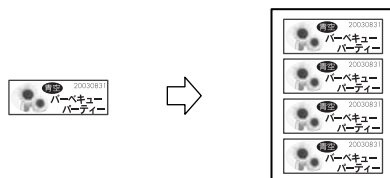
こんなことができます

MP900 では、次のようなことができます。

■ コピー機能

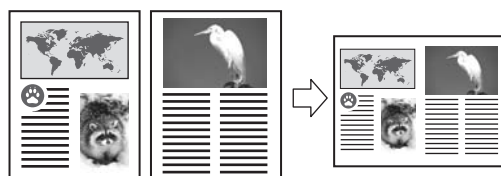
読み取った写真やパンフレットを拡大／縮小したり、2枚の原稿を1枚に印刷したりできます。また、さまざまな機能があり、思いどおりのコピーがかんたんに作れます。

■写真や雑誌の切り抜きなどを大きく引き伸ばしたい

→「拡大／縮小コピーする」（→ 34 ページ）

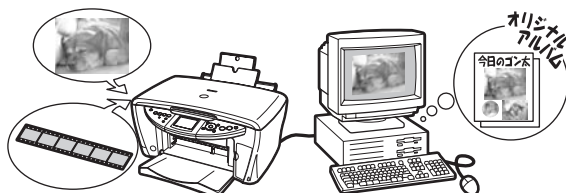
■招待状を作りたい

→「画像を 1 枚の用紙にくり返しコピーする（イメージリピート）」（→ 36 ページ）

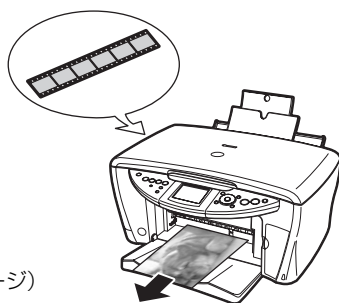
■思い出の写真を絵はがきにしたい

→「絵はがきを作る（絵はがきコピー）」（→ 37 ページ）

■用紙を節約したい

→「2 枚の原稿を 1 枚にコピーする（2in1 コピー）」（→ 35 ページ）

■ 読み込み（スキャン）機能

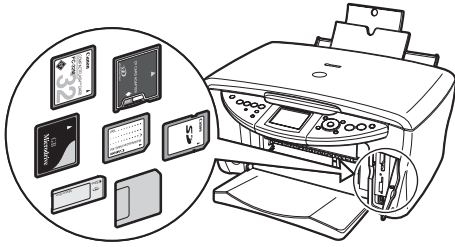
残しておきたい写真やイラストなどをパソコンに読み込んで（スキャンして）、データとして保存することができます。さらに、付属のソフトウェアをインストールすれば、読み込んだデータを電子アルバムに保存したり、文字原稿をテキストデータに変換することができます。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

■ フィルムダイレクトプリント機能

フィルムを読み込んで、液晶モニターで確認して印刷することができます。

→「フィルムから印刷しよう」（→ 39 ページ）

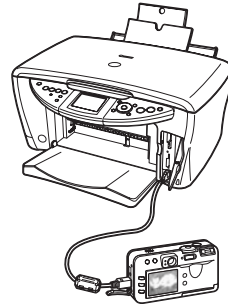
■ フォトプリント機能

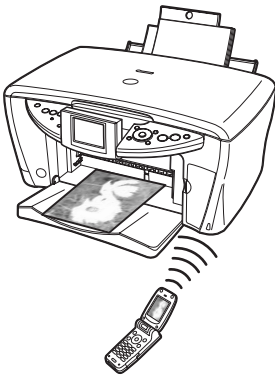
デジタルカメラや携帯電話で撮った写真をパソコンを使わずに、印刷することができます。

■メモリーカードからダイレクト印刷

デジタルカメラのメモリーカードを本機にセットし、操作パネルのボタン操作だけで写真を印刷できます。

→液晶モニターで写真を確認して印刷（→ 55 ページ）
→フォトナビシートを使って印刷（→ 62 ページ）
→画像の一覧を確認して印刷（インデックス印刷）（→ 58 ページ）

■デジタルカメラからダイレクト印刷

本機に対応のデジタルカメラ、デジタルビデオカメラを接続すれば、カメラの操作で直接印刷できます。

→「デジタルカメラと直接つないで印刷しよう」（→ 65 ページ）

■赤外線通信対応のカメラ付き携帯電話から、撮影した写真をワイヤレスで印刷することができます。

→「赤外線通信で印刷する（プリントビーム）」（→ 71 ページ）

本書の読みかた

マークについて

本書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

→『かんたんスタートガイド(本体設置編)』『かんたんスタートガイド(ソフトウェアインストール編)』
『かんたんスタートガイド(本体設置編)』『かんたんスタートガイド(ソフトウェアインストール編)』を参照してください。

→『ソフトウェアガイド』(電子マニュアル)
セットアップ CD-ROM に収録されている『ソフトウェアガイド』(電子マニュアル)を参照してください。

(→ nn ページ) 関連事項について説明しているページを参照してください。

PC 本機をパソコンに接続してご使用になる場合にお読みください。

Windows 本機を Windows に接続してご使用になる場合にお読みください。

Macintosh 本機を Macintosh に接続してご使用になる場合にお読みください。

(手順内の見出し)
一連の操作手順内で、場合によって操作手順が異なることを表す見出しです。

1.(場合分けの操作手順)
特定の操作手順内で、場合によって異なる操作手順を説明します。

ボタンについて

本書で使用するボタン名称、メッセージの表示のしかたについて説明します。

[ボタン名称] 本機の操作パネル上のボタンや、パソコン画面上のボタンは、カッコ [ ] で囲まれています。
例：[カラースタート]

〈メッセージ〉 液晶モニターに表示されるメッセージや選択項目は、カッコ〈 〉で囲まれています。
例：〈普通紙〉、〈ON〉
※本書に記載している画面は実際に表示されるものと異なる場合があります。

本書で使用する用語について

本書で使用する用語、略語について説明します。

本機 PIXUS MP900 を指します。

工場出荷時の設定 お客様が変更する前の、最初の設定です。

原稿 本機でコピーしたり読み込んだりする書類や写真、本、フィルムなどを指します。

用紙 本機で使える紙を指します。

メニュー 設定や変更をするときに使う選択項目の一覧です。メニューの項目は、液晶モニターに表示されます。

PC クリック、ダブルクリック
パソコンの画面上で、マウスを使ってメニュー項目やコマンドを選ぶことを指します。

PC 右クリック マウスの右ボタンをクリックすることを指します。

/（スラッシュ） OS や機種名を併記するときに使います。たとえば、「Windows 2000/XP」は、Windows 2000 と Windows XP という意味です。

PC セットアップ CD-ROM に収録されている電子マニュアルを表示するには

ソフトウェアのインストール時に［おまかせインストール］を選択すると、電子マニュアルがインストールされます。また、各マニュアルの起動用のアイコンがデスクトップに作成されます。

Windows

Macintosh

デスクトップのアイコンをダブルクリックすると、電子マニュアルが表示されます。

ソフトウェアのインストール時に［カスタムインストール］を選択し、電子マニュアルをインストールしなかった場合、アイコンは表示されません。

ソフトウェアガイドについて

ソフトウェアガイドは、セットアップ CD-ROM に収録されている HTML 形式の電子マニュアルです。次のような説明が記載されています。

印刷
パソコンから印刷するときの設定や、MP ドライバについて記載されています。
MP Navigator
MP Navigator の機能が記載されています。
スキャン
画像を読み込む方法の詳細が記載されています。
高度なスキャン
ScanGear MP の機能の詳細が記載されています。
用語解説
索引

アプリケーションガイドについて

アプリケーションガイドは、セットアップ CD-ROM に収録されている HTML 形式の電子マニュアルです。アプリケーションガイドの最初に表示される画面で、見たいアプリケーションをクリックすると、そのアプリケーションの説明画面に進めます。この画面で調べたい項目をクリックすると、機能の詳しい説明、設定シート、設定手順などが表示されます。

Windows
このガイドには、ZoomBrowser EX、PhotoRecord、Easy-PhotoPrint、および Easy-WebPrint についての機能や使いかたが記載されています。

- らくちん CD ダイレクトプリント for Canon のマニュアルは、タスクバーの［スタート］ボタンから、［(すべての) プログラム］→［らくちん CD ダイレクトプリント for Canon］→［操作説明］をクリックするとご覧になれます。
- 読取革命 Lite のマニュアルは、タスクバーの［スタート］ボタンから、［(すべての) プログラム］→［読取革命 Lite］→［マニュアル］をクリックするとご覧になれます。
- ArcSoft PhotoStudio のマニュアルは、［おまかせインストール］でインストールすると起動用のアイコンがデスクトップに作成されます。

Macintosh
このガイドには、ImageBrowser と Easy-PhotoPrint についての機能や使いかたが記載されています。

- らくちんCDダイレクトプリント for Canonのマニュアルは、らくちんCDダイレクトプリント for Canonをインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダ→［CD ダイレクトプリント］フォルダ→［マニュアル］フォルダを順にダブルクリックし、［マニュアル .html］をダブルクリックするとご覧になれます。
- 読取革命 Lite のマニュアルは、読取革命 Lite をインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダ→［読取革命 Lite］フォルダを順にダブルクリックし、［マニュアル .html］をダブルクリックするとご覧になれます。
- ArcSoft PhotoStudio のマニュアルは、セットアップ CD-ROM のマニュアルフォルダをご覧ください。

付属のアプリケーションについて

ZoomBrowser EX（ズームブラウザーイーエックス）（Windowsのみ）/PhotoRecord（フォトレコード）（Windowsのみ）

ZoomBrowser EX は、デジタルカメラで撮影した画像の管理や一覧表示、スクリーンセーバー作成などができるソフトウェアです。PhotoRecord は、デジタルカメラで撮影した画像から手軽にアルバム作成ができるソフトウェアです。

Easy-PhotoPrint（イージーフォトプリント）

デジタルカメラで撮影した画像と用紙を選ぶだけで、簡単にフチなし全面印刷ができるソフトウェアです。また、赤目の補正を行ったり、美肌効果を加えたりして、簡単な操作で美しいポートレートが作成できます。

Easy-WebPrint（イージーウェブプリント）（Windowsのみ）

難しい設定をすることなく、ウェブページを用紙幅に完全に収めて、高速印刷することができるソフトウェアです。Internet Explorer 5.5 以降に対応し、ツールバーとして表示されるので簡単に使えます。

らくちんCD（シーディー）ダイレクトプリント for Canon（フォーキヤノン）

テンプレートや画像ファイルを選び、文字を追加するだけで、簡単に CD-R/DVD-R ラベルを作成することができるソフトウェアです。

ArcSoft PhotoStudio（アークソフトフォトスタジオ）

スキャナやデジタルカメラから画像を取り込み、画像にいろいろな処理を加えたり、合成したりすることができる画像処理ソフトウェアです。また、ファイルの種類を変換したり、アルバムに登録したりすることもできます。

読取革命（よみとりかくめい）Lite（ライト）

スキャナで読み込んだ文書や画像データを、テキストデータや Word データに変換するソフトウェアです。

ImageBrowser（イメージブラウザ）（Macintoshのみ）

デジタルカメラで撮影した画像を一覧表示したり、スライドショーで表示したりすることができるソフトウェアです。

オンラインヘルプの使いかたについて

アプリケーションから本機を使って印刷する場合、印刷を実行するときに表示される印刷設定（プロパティ）画面には、オンラインヘルプ機能が付いています。オンライン機能を使うと、プロパティ画面で設定するいろいろな項目についての説明をパソコンの画面上に表示できます。
オンラインヘルプを表示させるには、プロパティ画面の［ヘルプ］ボタンまたは［?］ボタンをクリックしたあと、調べたい項目にカーソルを合わせてクリック（またはダブルクリック）すると、その項目についての説明が表示されます。

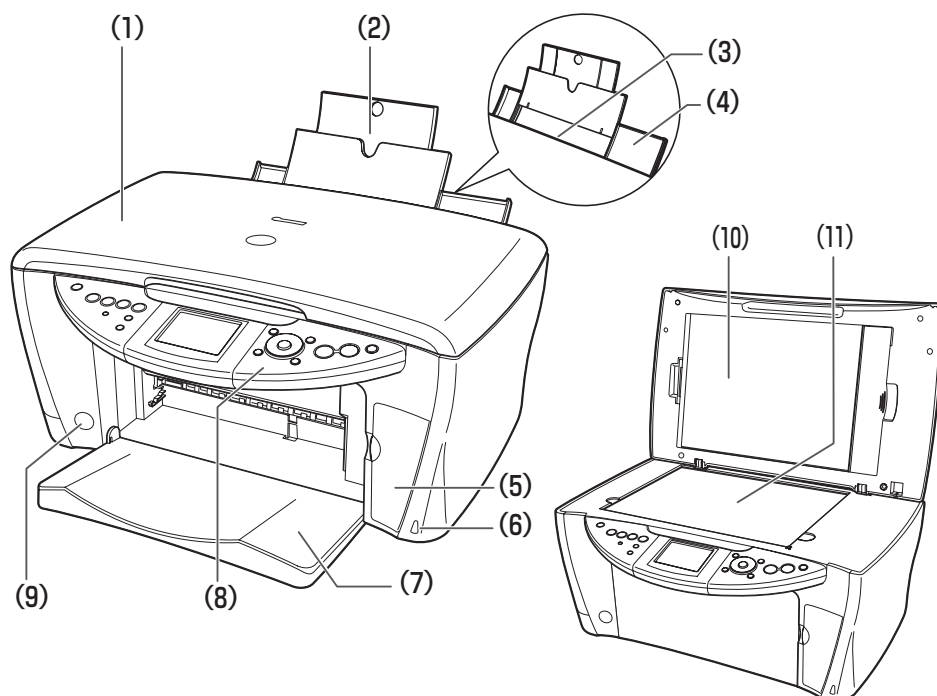
目次

1章 本機について

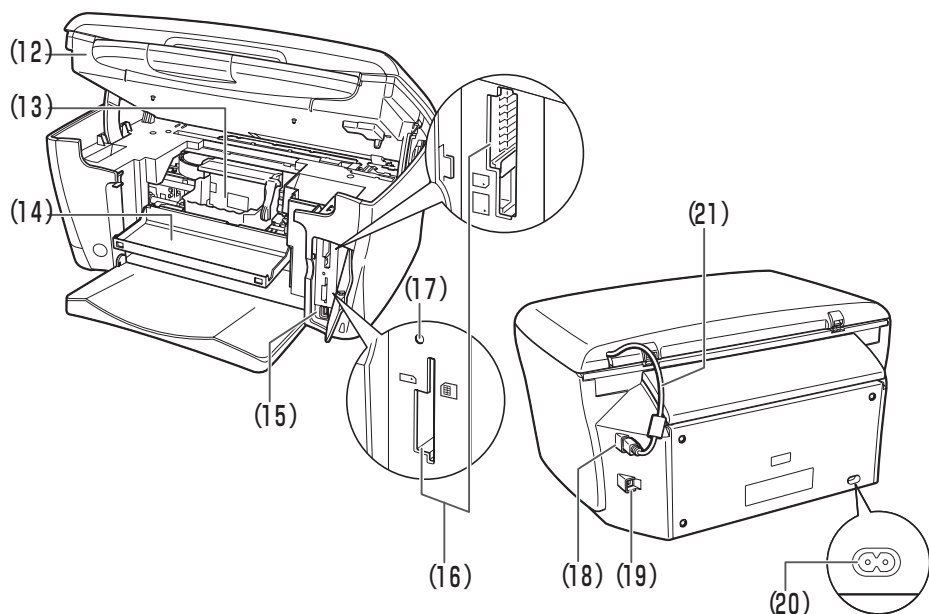
各部の名称と役割

本機の各部の名称と役割について説明します。

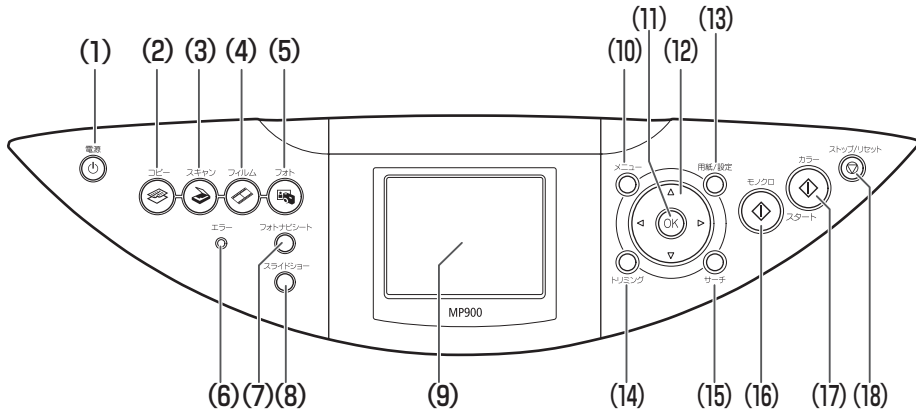
■ 本体各部

外観

(1)	原稿台カバー	原稿台に原稿をセットするときに開けます。
(2)	用紙サポート	セットした用紙を支えます。用紙をセットする前に、まるいくぼみに指をかけて止まるまで引き出してください。
(3)	オートシートフィーダ	印刷する面を上にして、用紙をセットします。用紙を 1 枚ずつ自動的に送ることができます。
(4)	給紙口カバー	オートシートフィーダに用紙をセットするときに開けます。
(5)	カードスロットカバー	メモリーカードまたはカードアダプタを差し込むときに開けます。
(6)	赤外線ポート	赤外線通信で携帯電話から送られてきた写真データを受信します。
(7)	排紙トレイ	排出した用紙を支えます。
(8)	操作パネル	本機の動作や状態を表示したり、機能の設定を変更・確認したりするときに使います。詳しくは、14 ページをご覧ください。
(9)	排紙トレイオープンボタン	排紙トレイを開けるときに押します。

(10) FAU（フィルムアダプタユニット）保護シート	FAU（フィルムアダプタユニット）や原稿台ガラスを保護します。また、裏面にフィルムの読み込みを行うときに使用するフィルムガイドを収納できます。 フィルムダイレクトプリントのときは外してください。コピーやスキャンをするときは、必ず取り付けてください。
(11) 原稿台ガラス	原稿をセットします。

背面および内部

(12) スキャナユニット（プリンタカバー）	インクタンクを交換するときや紙づまりを処理するときに開けます。
(13) プリントヘッドホルダ	プリントヘッドを取り付けます。
(14) 内カバー	インクタンクを交換するときや紙づまりを処理するときに開けます。
(15) USB ケーブル接続部（カメラ接続部）	“PictBridge”対応またはキヤノン“Bubble Jet Direct”対応のデジタルカメラやデジタルビデオカメラから直接印刷するときに使用します。詳しくは 65 ページをご覧ください。
(16) カードスロット	メモリーカードまたはカードアダプタを差し込みます。
(17) アクセスランプ	メモリーカードを差し込むと認識中は点灯し、読み取り／書き込み中は点滅します。
(18) FAU コネクタ	FAU ケーブルの接続部です。
(19) USB ケーブル接続部（パソコン接続部）	本機とパソコンを接続して印刷やスキャンするときに使用します。
(20) 電源コード接続部	本機の電源コードを接続します。
(21) FAU ケーブル	本体と原稿台カバーをつなぎます。

■ 操作パネル

操作パネル上にある各ボタンの名称と役割について説明します。

(1)　[電源]　本機の電源を入れるとき、切るときに使います。電源を入れるときは、原稿台カバーを閉じてください。

(2)　[コピー]　コピーモードに切りかえます。

(3)　[スキャン]　スキャンモードに切りかえます。パソコンと接続している場合に使います。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

(4)　[フィルム]　フィルムダイレクトプリントモードに切りかえます。

(5)　[フォト]　フォトモードに切りかえます。

(6)　エラーランプ　本機の電源を入れるときや切るとき、エラーが発生したとき、または用紙やインクがなくなったときなどに点滅します。

(7)　[フォトナビシート]　フォトナビシートモードに切りかえます。

(8)　[スライドショー]　メモリーカード内の画像を、自動的に順番に表示させるときに選択します。

(9)　液晶モニター　メッセージ、メニュー項目、動作状況が表示されます。

(10) [メニュー]　メニューを選んだり、設定をかえるときに使います。

(11) [OK]　メニュー項目を選んだり設定を確認したりします。また、印刷途中でのエラーから復帰するときや、紙づまりを取り除いたあと、復帰するときに使います。

(12) [▲][▼][◄][►]　コピー部数やメニュー項目などを選ぶときに使います。液晶モニターに▲／▼／◄／►と表示されているところは、それぞれのボタンで操作することができます。

(13) [用紙／設定]　用紙サイズや用紙種類、または画像補正の設定をするときに使用します。

(14) [トリミング]　表示中の写真をトリミング編集できます。

(15) [サーチ]　メモリーカードに保存されている写真を日付で絞り込みます。

(16) [モノクロスタート]　白黒コピー、または白黒フォトプリントを開始します。

(17) [カラースタート]　カラーコピー、またはカラーフォトプリントを開始します。

(18) [ストップ／リセット]　操作を取り消したり、前の画面に戻します。

- **電源を切るときは、必ず［電源］を押してください。［電源］を押すと、プリントヘッドが乾燥しないようにキャップで保護されます。電源コードを抜くときは、［電源］で電源を切ったあとで抜いてください。**
- **長時間使わないときは、プリントヘッドが劣化しないように、1 か月に 1 回程度、白黒とカラーの両方で印刷やコピーを行うか、プリントヘッドをクリーニングすることをおすすめします。**
- **プリントヘッドには、高精度の印刷のために多くのノズルがあります。フェルトペンやマジックを長時間使わないと、キャップをしていても、自然にペン先が乾いて書けなくなるのと同じように、プリントヘッドのノズルもインクで目詰まりすることがあります。定期的に印刷やクリーニングを行うと、このような目詰まりを未然に防ぐことができます。**

- 動作中は、［電源］を押しても、電源を切ることはできません。
- 本機は電源コードを差し込んだあと、最初の印刷を行う前にプリントヘッドのクリーニングを行います。印刷品質は維持されますが、クリーニングのたびに少量のインクが消費されます。［電源］で電源を切ることをおすすめします。

パワーセーブモードについて

本機にはパワーセーブモードがあります。パワーセーブモードになると、液晶モニター*、読み込みランプ、FAU ランプが消灯し、モードランプのみ点灯します。パワーセーブモードに入るまでの時間は設定することができます。（→ 142 ページ）

パワーセーブモードから復帰するには、いずれかのボタンを押してください。

パワーセーブから復帰したあとすぐにご使用になると、画像をきれいに読み込めないことがあります。頻繁にご使用になる場合は、パワーセーブモードに入るまでの時間を 4 時間または 8 時間に設定することをおすすめします。

* 液晶モニターは 5 分間本機を何も操作しないと消灯します。いずれかのボタンを押すと復帰します。液晶モニターが消灯するまでの時間は変更することができません。

パワーセーブから復帰したあとにコピーまたはスキャンをするときは、1 分以上たってからご使用ください。

- 本機が以下の状態のときは、パワーセーブモードになりません。
  - コピー中、印刷中、スキャン中
  - 紙づまりが発生したとき
  - エラーメッセージが表示され、エラーランプが点滅しているとき
- エラーメッセージが表示され、エラーランプが点滅しているときは、液晶モニターは消灯しません。

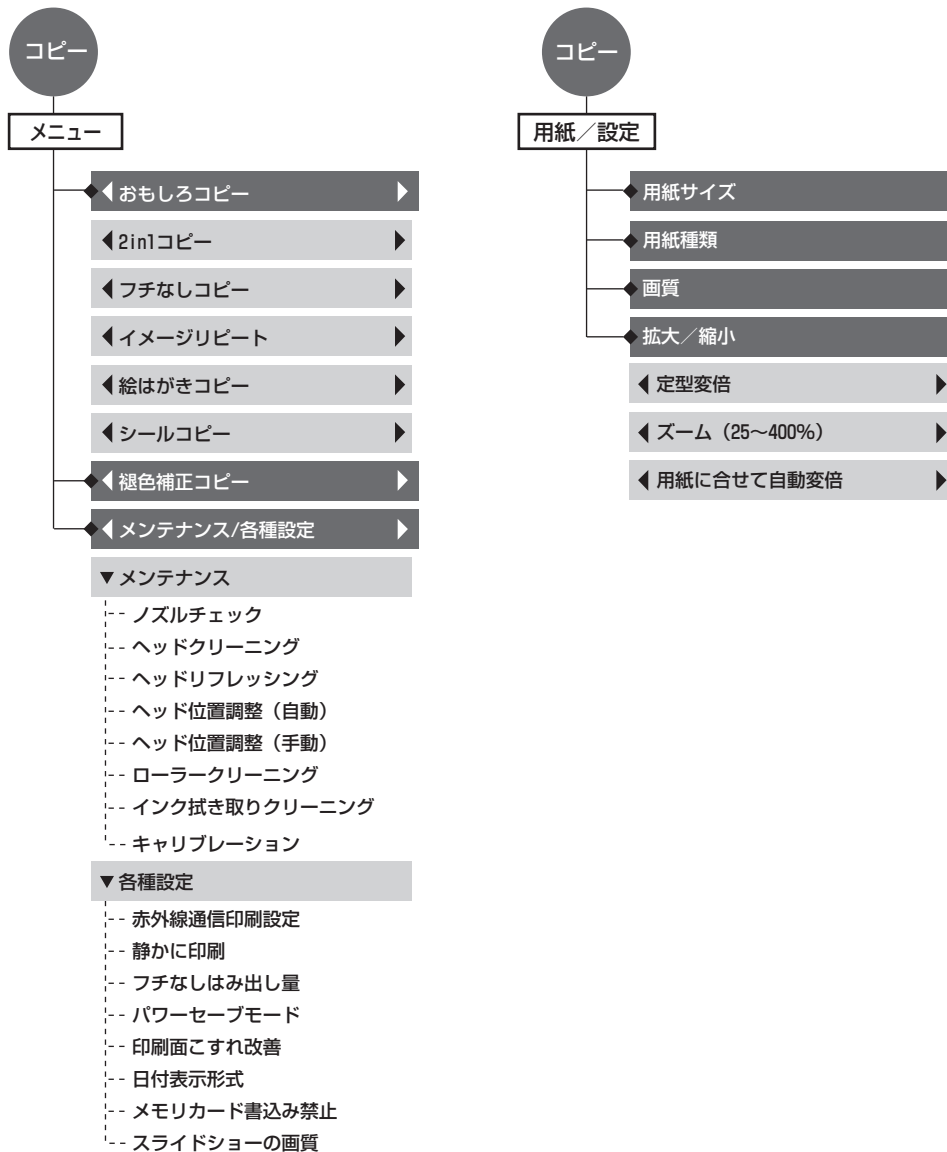
メニュー一覧

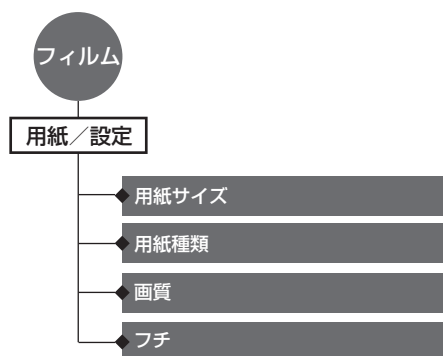
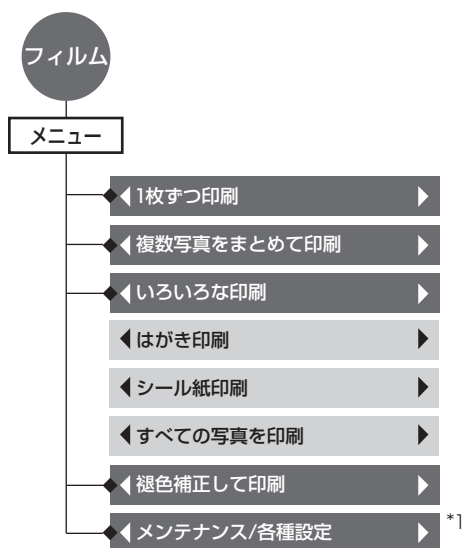
本機の機能を設定するときに、この一覧表を参考にしてください。

■ コピーモード

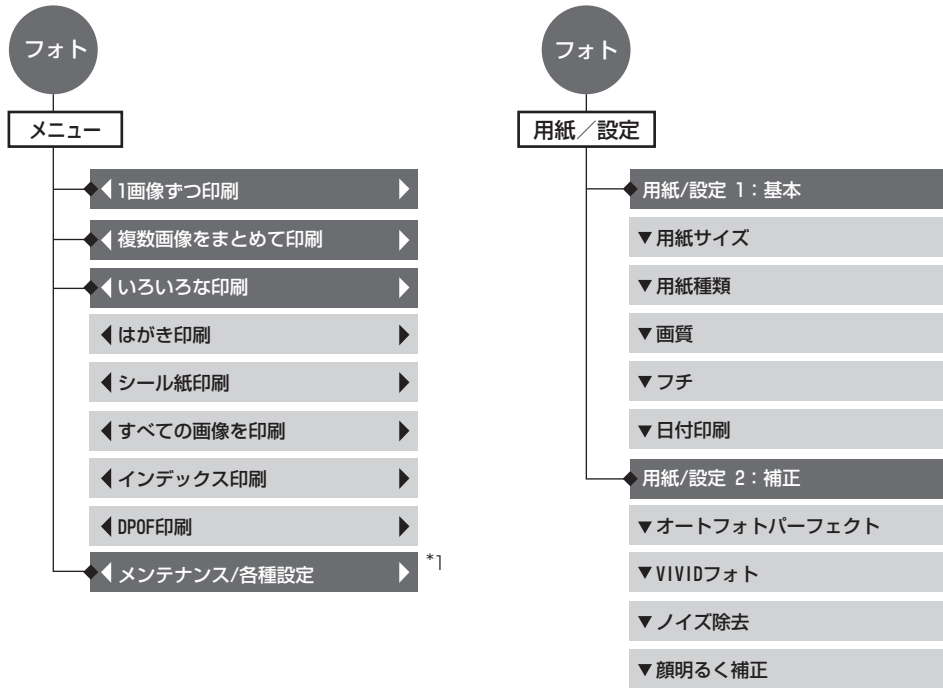
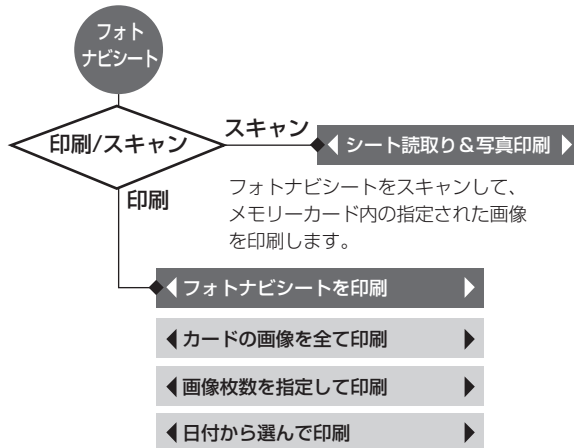
- おもしろコピーの詳細については、4 章をご覧ください。
- メンテナンス / 各種設定の詳細については、14 章をご覧ください。
- メンテナンス / 各種設定は、コピーモード、フィルムダイレクトプリントモード、フォトモードのいずれのモードからでも設定できます。機能を設定するときに、この一覧表を参考にしてください。

コピー
メニュー
- おもしろコピー
- 2in1コピー
- フチなしコピー
- イメージリピート
- 絵はがきコピー
- シールコピー
- 褪色補正コピー
- メンテナンス/各種設定
  - ▼メンテナンス
    - ノズルチェック
    - ヘッドクリーニング
    - ヘッドリフレッシング
    - ヘッド位置調整（自動）
    - ヘッド位置調整（手動）
    - ローラークリーニング
    - インク拭き取りクリーニング
    - キャリブレーション
  - ▼各種設定
    - 赤外線通信印刷設定
    - 静かに印刷
    - フチなしはみ出し量
    - パワーセーブモード
    - 印刷面こすれ改善
    - 日付表示形式
    - メモリカード書込み禁止
    - スライドショーの画質

コピー
用紙／設定
- 用紙サイズ
- 用紙種類
- 画質
- 拡大／縮小
  - 定型変倍
  - ズーム（25～400%）
  - 用紙に合せて自動変倍

■フィルムダイレクトプリントモード

いろいろな印刷の詳細については、5 章をご覧ください。

*1 コピーモードのメニューをご覧ください。

フォトモード

いろいろな印刷の詳細については、6 章をご覧ください。

*1 コピーモードのメニューをご覧ください。

原稿を用意しよう

こんな原稿が使えます

原稿台ガラスにセットして、コピーまたはスキャンできる原稿は、次のとおりです。

原稿の種類	• 書類 • 写真 • 本 ※ 35mm スリーブフィルム（ポジ／ネガ）、35mm マウントフィルムについては 39 ページをご覧ください。
サイズ（幅×長さ）	最大 216 mm × 297 mm
枚数	• 1 枚 • PC マルチスキャンは 10 枚まで
厚さ	最大 30 mm
質量	―

PC マルチスキャンとは、2 枚以上の原稿（小さいサイズの原稿）を、一度にまとめて読み込む機能です。詳しくは、『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

原稿をセットしよう

原稿台ガラスにコピーまたはスキャンしたい原稿をセットします。フィルムのセットのしかたは 40 ページをご覧ください。

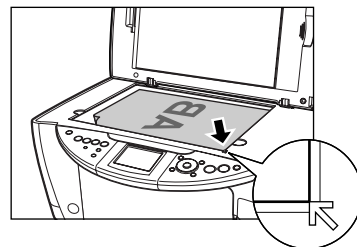
原稿にのり、インク、修正液などを使ったときは、完全に乾いてからセットしてください。

■ 原稿台ガラスに原稿をセットする

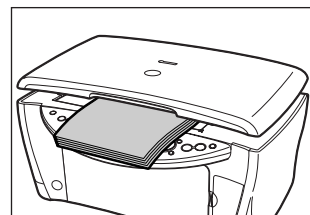
1 原稿台カバーを開けます。

2 原稿を原稿台ガラスにセットします。

原稿はコピーまたはスキャンする面を下向きにして原稿台にのせてください。

原稿の左上隅を原稿台ガラスの右下隅にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせます。

参考

- 原稿台ガラスの手前側の端から約 1 mm と右側の端から約 2 mm は読み込めません。
- 本などの厚い原稿（最大 30 mm）を読み込むこともできます。原稿をセットするときと同じように、原稿台ガラスにセットします。

3 原稿台カバーをゆっくり閉じます。

用紙をセットしよう

用紙にはこんな種類があります

本機で使える用紙の種類について説明します。オートシートフィーダに用紙をセットするときは、次の条件に合ったものをお使いください。

用紙の名称	型番	積載枚数 *1	PC プリンタドライバの設定 [用紙の種類]
普通紙	—	約 150 枚	普通紙
封筒 *2	—	約 10 枚	封筒
官製はがき／インクジェット官製はがき／往復はがき *2	—	約 40 枚	[用紙の種類] でセットするはがきの種類を選択（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
スーパーホワイトペーパー	SW-101	約 150 枚	普通紙
スーパーホワイトペーパー・両面厚口	SW-201	約 150 枚	普通紙
プロフェッショナルフォトペーパー	PR-101 A4 PR-101 L PR-101 2L	10 枚 *3 20 枚 10 枚	プロフォトペーパー
プロフェッショナルフォトはがき	PH-101	20 枚	プロフォトペーパー（通信面） はがき（宛名面）
スーパーフォトペーパー	SP-101 A4 SP-101 L SP-101 2L SP-101 パノラマ	10 枚 20 枚 10 枚 10 枚	スーパーフォトペーパー
スーパーフォトペーパー・両面 *2	SP-101D A4 SP-101D 2L PP-101D A4 PP-101D 2L	1 枚 1 枚 1 枚 1 枚	スーパーフォトペーパー両面
スーパーフォトペーパー・シルキー	SG-101 A4 SG-101 L	10 枚 20 枚	スーパーフォトペーパー
マットフォトペーパー	MP-101 A4 MP-101 L	10 枚 20 枚	マットフォトペーパー
キヤノン光沢紙	GP-401 A4	10 枚	光沢紙
エコノミーフォトペーパー	EC-101 L	20 枚	光沢紙
フォト光沢ハガキ	KH-201N	20 枚	光沢紙（通信面） はがき（宛名面）
ハイグレードコートはがき	CH-301	40 枚	インクジェット官製葉書（通信面） はがき（宛名面）

用紙の名称	型番	積載枚数 *1	PC プリンタドライバの設定 [用紙の種類]
高品位専用紙	HR-101S A4 HR-101S B5	約 80 枚	高品位専用紙
T シャツ転写紙 *2	TR-301	1 枚	T シャツ転写紙
OHP フィルム	CF-102	30 枚	OHP フィルム
フォトシールセット *4 (2 面／ 4 面／ 9 面／ 16 面)	PSHRS	1 枚	インクジェット官製はがきまたはスーパーフォトペーパー
ピクサスプチシール *4 (16 面光沢フォトシール)	PS-101	1 枚	インクジェット官製はがきまたはスーパーフォトペーパー
ピクサスプチシール・フリーカット *4	PS-201	1 枚	インクジェット官製はがきまたはスーパーフォトペーパー

「型番」のあるものは、キヤノン製専用紙です。

*1 フォトペーパーカセット未装着時のオートシートフィーダの積載枚数になります。

*2 パソコンからの印刷にのみ使用できます。

*3 用紙がうまく送れない場合、用紙が貼り付くのを防ぐため、1 枚ずつはがして必要枚数（最大 10 枚）をセットしてください。

*4 Windows をお使いの場合は、専用のソフトウェア（プチプリント for Canon）を使うと、印刷の設定が簡単にできます。ホームページ（canon.jp/pixus）よりダウンロードできます。

■ 用紙の取り扱いと保管

使用できない用紙について

次のような用紙は使えません。

- 折れている／カールしている／しわが付いている用紙
- フラップ（ふた）が二重、またはシールになっている封筒
- 濡れている用紙
- 穴のあいている用紙（ただし、ルーズリーフは使用できます。）
- 薄すぎる用紙（重さ 64 g/m^2 未満）
- 厚すぎる用紙（重さ 105 g/m^2 を超えるもの）※ キヤノン純正紙以外
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- 型押しやコーティングなどの加工された封筒
- 絵はがき
- 折り目のついた往復はがき

用紙の取り扱いについて

- できるだけ用紙の端を持ち、印刷する面には触れないでください。印刷する面が傷ついたり、汚れたりすると、きれいに印刷できません。
- インクが乾くまで、印刷した面には触れないでください。また、印刷済みの用紙を濡らしてしまった場合は、乾くまで印刷物に触れないでください。
- 大量にインクを使う印刷をすると、用紙が丸まったり、印刷した面が汚れたりすることがあります。このような場合は、プリンタのプロパティ画面の［ユーティリティ］タブ（Windows）または BJ Printer Utility のポップアップメニュー（Macintosh）の［特殊設定］で［用紙のこすれを防止する］の設定を行ってください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））丸まりやすい用紙には、写真や図の入った文書は印刷しないで、テキストだけの文書を印刷するようにしてください。
- 用紙が丸まっているときは、反対方向に丸めて伸ばしてください。
- 使わない用紙は、元の袋や包装紙に入れて、直射日光の当たらない、涼しく湿気の少ない場所に保管してください。

プロフェッショナルフォトペーパーの取り扱いと保管

- インクが乾くまで（約 30 分）印刷した面には触れないでください。色の濃い画像を印刷すると、画像がはっきりしないことがありますが、30 分程度で正常な発色になります。
- インクが完全に乾く前にアルバムに貼るとインクがにじむことがあります。1 日（24 時間）おいてからアルバムに貼ることをおすすめします。
- 印刷した面をドライヤーで乾かしたり、直射日光に当てたりしないでください。
- 印刷した用紙を、温度の高い場所や湿気のある場所に置かないでください。また、熱や直射日光に当てないでください。
- 外気や日光にさらされないように、アルバムや写真立て、プレゼンテーション用のバインダーなどに入れて保管してください。
- 粘着タイプのアルバムシートには、貼らないでください。はがせなくなることがあります。
- プラスチックのクリアフォルダーやアルバムに保管すると、用紙の端が黄ばむことがあります。

用紙のサイズと種類を設定しよう

オートシートフィーダにセットした用紙のサイズと種類を液晶モニターで設定してください。

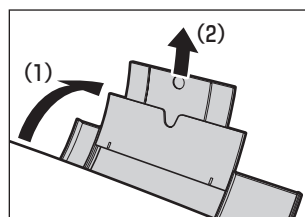
- コピーするときは、4 章を参照して用紙のサイズを設定してください。
- フィルムから印刷するときは、5 章を参照して用紙のサイズを設定してください。
- メモリーカードから印刷するときは、6 章を参照して用紙のサイズを設定してください。
- デジタルカメラから印刷するときは、7 章を参照して用紙のサイズを設定してください。
- 携帯電話から赤外線通信を利用して印刷するときは、8 章を参照して用紙のサイズを設定してください。
- PC パソコンから印刷するときは、パソコンで用紙のサイズと種類を設定できます。
（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

オートシートフィーダに用紙をセットする

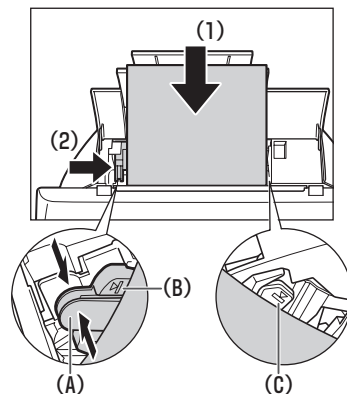
■ 普通紙や専用紙をセットする場合

- 封筒のセットのしかたは、24 ページをご覧ください。
- はがきのセットのしかたは、26 ページをご覧ください。

次のように操作してください。

1 給紙口カバーを開け (1)、用紙サポートを引き上げます (2)。

2 用紙の束を（印刷する面を上にして）オートシートフィーダにセットして (1)、用紙ガイド (A) をつまんで動かし、用紙の左端にぴったりと合わせます (2)。

重要

- 最大用紙量のマーク (B) を超えないように注意してください。
- (C) に用紙がかからないようにしてください。用紙がかかっていると、斜めに送られてしまうことがあります。

■ 封筒をセットする場合

一般の長形３号、長形４号の長形封筒と、洋形４号、洋形６号の洋形封筒に印刷できます。

重要

- 型押しや、コーティングなどの加工された封筒、ふたが二重（またはシール）になっている封筒には印刷できません。
- Mac OS X では、長形３号／４号の封筒は印刷できません。
- Windows98/Me をお使いの場合で､長形３号／４号の封筒に印刷するときは [バックグラウンド印刷] にチェックマークをつけてください。チェックマークがついていないと正しい向きに印刷されません。バックグラウンド印刷の設定を確認するには、プリンタのプロパティ画面の［ページ設定］タブの［プリンタ制御］をクリックしてください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

次のように操作してください。

1 給紙口カバーを開け、用紙サポートを引き上げます。

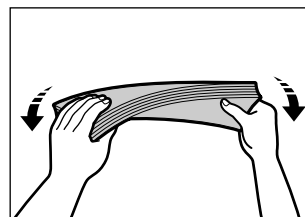
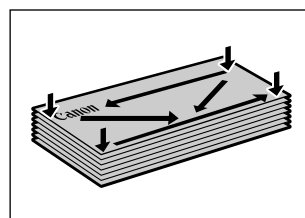
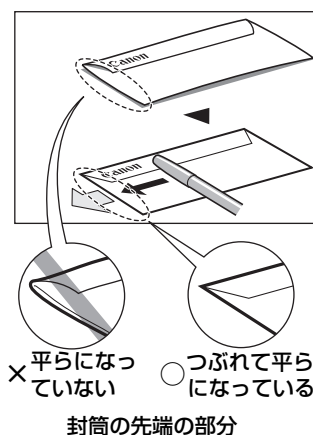
2 封筒を用意します。

洋形封筒の場合：

1. 封筒の四隅を押して端をそろえます。また、フタの部分も押してまっすぐ伸ばしてください。

2. 封筒が反っているときは、封筒の対角線上の端を持ち、ゆっくりと曲げて、まっすぐにします。

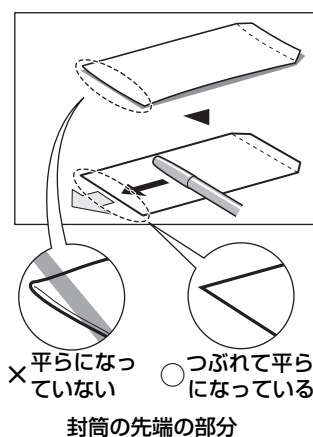
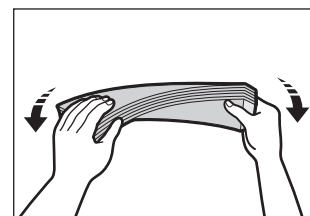
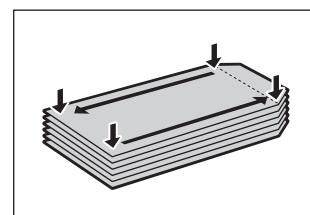
3. 封筒の先端がふくらんでいたり、反っていたりするときは、平らな場所に置いて、ペンの軸などを使って、しっかりとつぶします。封筒の中央から左右にしごいてください。反りやふくらみがなく、厚さが 3 mm 以内になるようにします。

封筒の先端の部分

長形封筒の場合：

1. 封筒の四隅を押して端をそろえます。また、フタの部分も押してまっすぐ伸ばしてください。

2. 封筒が反っているときは、封筒の対角線上の端を持ち、ゆっくりと曲げて、まっすぐにします。

3. 封筒の先端がふくらんでいたり、反っていたりするときは、平らな場所に置いて、ペンの軸などを使って、しっかりとつぶします。封筒の中央から左右にしごいてください。反りやふくらみがなく、厚さが 3 mm 以内になるようにします。

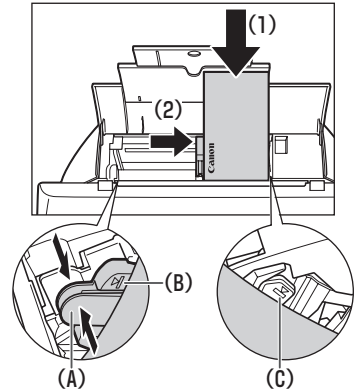
封筒の先端の部分

3 封筒の束を（印刷する面を上にして）オートシートフィーダにセットして (1)、用紙ガイド (A) をつまんで動かし、封筒の左端にぴったりと合わせます (2)。

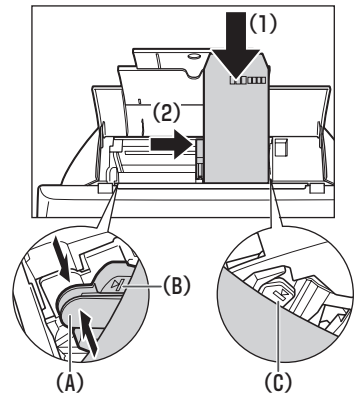
封筒の短い辺を下にして、オートシートフィーダに差し込んでください。

重要

- 最大用紙量のマーク (B) を超えないように注意してください。
- (C) に用紙がかからないようにしてください。用紙がかかっていると、斜めに送られてしまうことがあります。

洋形封筒の場合：

1. フタの部分を左側にしてオートシートフィーダに差し込んでください。

長形封筒の場合：

1. フタの部分を折らずに郵便番号を上にして、オートシートフィーダに差し込んでください。

■ はがきをセットする場合

一般の官製はがき、往復官製はがき、インクジェット官製はがき、お年玉付き年賀はがき、プロフェッショナルフォトはがき、光沢はがきに印刷できます。

写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。

次のように操作してください。

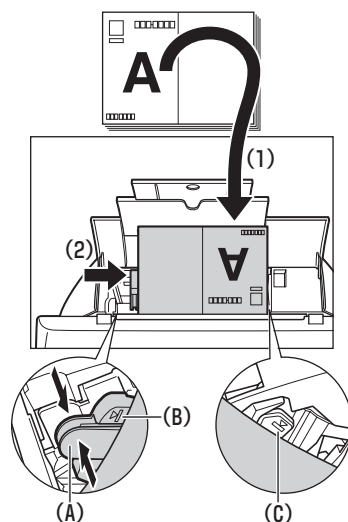
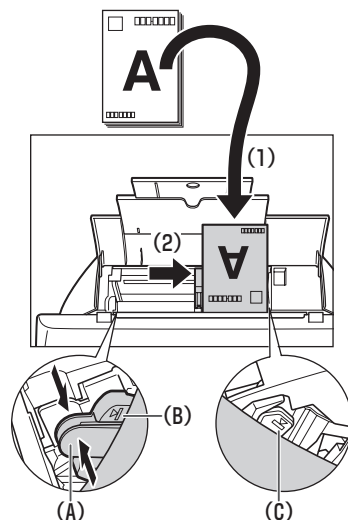
1 給紙口カバーを開け、用紙サポートを引き上げます。

2 セットするはがきの四隅をそろえます。

はがきが丸まっているときは、逆向きに曲げて直してください。

3 はがきを（印刷する面を上にして）オートシートフィーダにセットして (1)、用紙ガイド (A) をつまんで動かし、はがきの左端にぴったりと合わせます (2)。

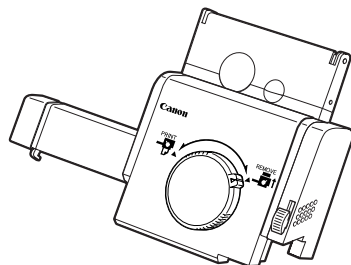
はがきの短い辺を下にして（往復はがきの場合は長い辺を下にして）オートシートフィーダに差し込んでください。

写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。

- **最大用紙量のマーク (B) を超えないように注意してください。**
- **(C) に用紙がかからないようにしてください。用紙がかかっていると、斜めに送られてしまうことがあります。**

参考

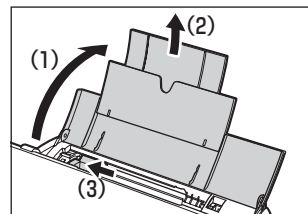
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目がつくと、正しく給紙できず、紙づまりの原因になります。
- 往復はがきにフチなし全面印刷はできません。

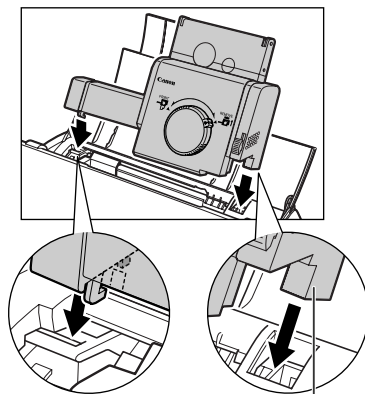
フォトペーパーカセットに用紙をセットする

付属のフォトペーパーカセットを使うと、普通紙などの用紙をオートシートフィーダにセットしたままの状態で、フォト専用紙など種類の異なる用紙を同時にセットすることができます。
給紙したい用紙を簡単な操作で切りかえることができるので、用紙をセットし直す手間を省くことができます。

フォトペーパーカセット

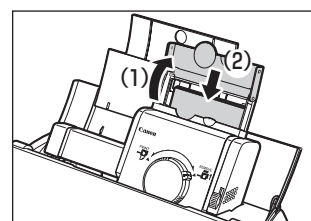
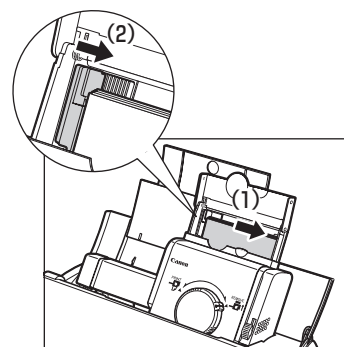
- フォトペーパーカセットにセットできる用紙は以下の通りです。
  - プロフェッショナルフォトペーパー PR-101（L 判）
  - スーパーフォトペーパー SP-101（L 判、パノラマ）
  - スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101（L 判）
  - マットフォトペーパー MP-101（L 判）
  - エコノミーフォトペーパー EC-101（L 判）
  - 官製はがき
  - インクジェット官製はがき
  - プロフェッショナルフォトはがき PH-101
  - フォト光沢ハガキ KH-201N
  - ハイグレードコードはがき CH-301
- 用紙は 20 枚までセットすることができます。（パノラマサイズは 10 枚）
- フォトペーパーカセットを設置した場合、オートシートフィーダには普通紙で 50 枚までセットすることができます。
- 他の用紙の枚数については「用紙にはこんな種類があります」（→ 21 ページ）を参照してください。

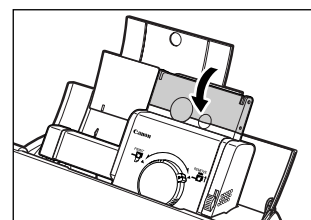
■ フォトペーパーカセットの取り付けかた

1 給紙口カバーを開け (1)、用紙サポートを引き上げ (2)、用紙ガイドを左端まで移動させます (3)。

2 フォトペーパーカセットを取り付けます。

給紙口の幅に合わせてカチッと音がするまで挿入してください。

フォトペーパーカセットの突起部を、本体にある四角の穴へ確実に挿入してください。

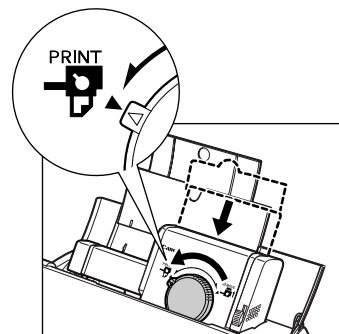
3 フォトペーパーカセットのふたを開け (1)、用紙の束を（印刷する面を上にして）フォトペーパーカセットにセットします (2)。

一度に 20 枚まで（パノラマサイズのときは 10 枚まで）セットできます。

4 フォトペーパーカセットの右端に用紙を合わせ (1)、フォトペーパーカセットの用紙ガイドをつまんで動かし、用紙の左端にぴったりと合わせます (2)。

5 フォトペーパーカセットのふたを閉じます。

パノラマの場合はふたを閉じる必要はありません。

6 フォトペーパーカセットからの給紙を選択します。

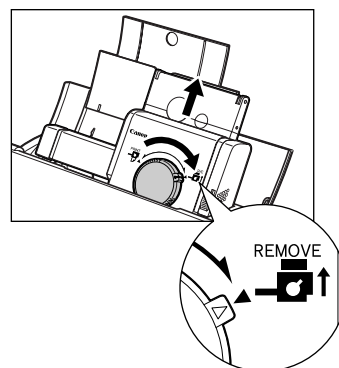
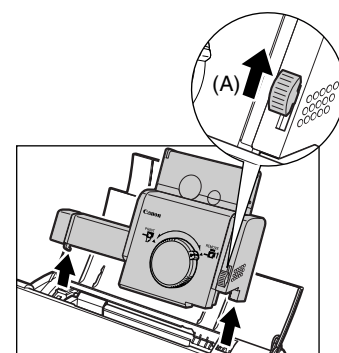
ダイアルを矢印（▽）の位置が合うところまで左に回します。

カセットが下がり、フォトペーパーカセットから給紙される状態になります。

重要

- **ダイアルの位置により、本機の給紙位置が切りかわります。左にいっぱいまで回すとフォトペーパーカセットからの給紙、右にいっぱいまで回すとオートシートフィーダからの給紙になります。**
- **フォトペーパーカセットに用紙を長期間セットしたままにしないでください。用紙が変色することがあります。**

■ フォトペーパーカセットの取り外し

1 ダイアルを矢印（▽）の位置が合うところまで右に回してカセットを上げます。

取り外す際には、必ずダイアルを右に回してカセットを上げてください。

2 フォトペーパーカセットの右側のレバー（A）を上にスライドさせながら本機から取り外します。

4章 コピーをとろう

コピーしてみよう

カラーコピーまたは白黒コピーするときは、画質や濃度をかえたり、原稿を拡大／縮小させることもできます。

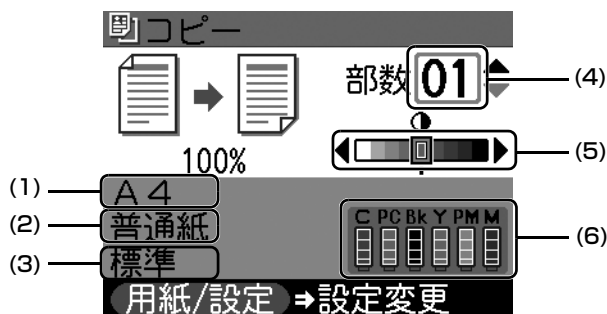
重要

電源を入れたあとやパワーセーブモード（→ 142 ページ）から復帰したあとすぐにコピーすると、画像をきれいに読み込めないことがあります。1 分以上たってからコピーしてください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。

参考

コピーできる原稿の種類や条件、セットのしかたについては、2 章をご覧ください。

2 [コピー] を押します。必要に応じて、各項目を設定してください。

(1)	**用紙サイズ**	用紙 / 設定（コピー）画面で設定された用紙サイズが表示されます。（→ 33 ページ）
(2)	**用紙種類**	用紙 / 設定（コピー）画面で設定された用紙種類が表示されます。（→ 33 ページ）
(3)	**画質**	用紙 / 設定（コピー）画面で設定された画質が表示されます。（→ 33 ページ）
(4)	**部数**	コピー部数が表示されます。（→ 32 ページ）
(5)	**濃度**	濃度（明るさ）が表示されます。（→ 32 ページ）
(6)	**インク残量**	インク残量が表示されます。左から、7C/7PC/7Bk/7Y/7PM/7M の順に表示されます。（→ 101 ページ）

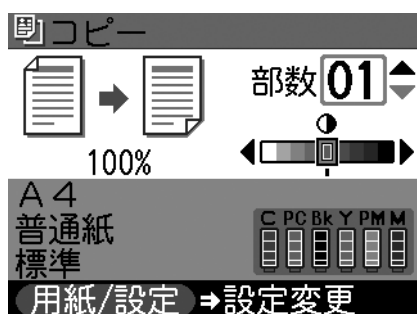
- 拡大／縮小の選びかたは、34 ページをご覧ください。
- おもしろコピーの設定は、35 ページをご覧ください。
- 褪色補正コピーの設定は、38 ページをご覧ください。

3 カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は［モノクロスタート］を押します。

コピーが開始されます。

コピーを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。

コピー画面でできる設定

他のモードからコピー画面を表示させるときは、各モードの最初の画面に戻ってから［コピー］を押します。各メニュー画面や用紙 / 設定画面では、［コピー］を押してもコピー画面は表示されません。

部数を設定する

コピー部数を設定します。

操作手順：
コピー画面で［▲］か［▼］を押します。

設定値：
01 ～ 99

オートシートフィーダに一度にセットできる枚数については、21 ページをご覧ください。

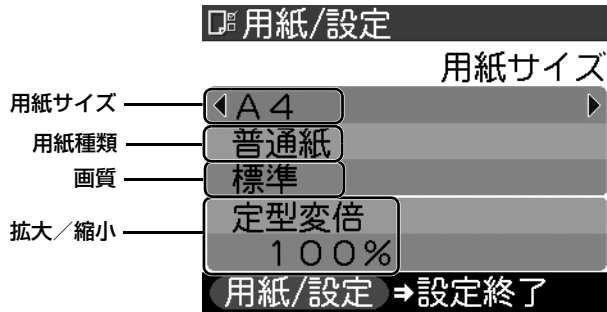
濃度（明るさ）をかえる

濃度（明るさ）とは、原稿を印刷するときの濃さを意味します。濃度を濃くすると暗い部分はより黒く、明るい部分はより白くなります。また、濃度を薄くするほど暗い部分と明るい部分の差がなくなります。［◀］を押すと薄くなり、［▶］を押すと濃くなります。

操作手順：
コピー画面で［◀］か［▶］を押します。

設定値：
9 段階

用紙 / 設定（コピー）画面でできる設定

コピー画面で［用紙／設定］を押すと、用紙 / 設定（コピー）画面が表示されます。もう一度［用紙／設定］を押すと、設定を終了し、元の画面に戻ります。

用紙サイズを設定する

コピーをするときは、オートシートフィーダにセットした用紙のサイズを液晶モニターで設定してください。

操作手順：

［▲］か［▼］で〈用紙サイズ〉を選び、［◄］か［►］で設定します。

設定値：

A4 ／レターサイズ／ B5 ／ A5 ／はがき／ L 判／ 2L 判

用紙の種類を設定する

コピーをするときは、オートシートフィーダにセットした用紙の種類を液晶モニターで設定してください。

操作手順：

［▲］か［▼］で〈用紙種類〉を選び、［◄］か［►］で設定します。

設定値：

普通紙／光沢紙／高品位専用紙／OHPフィルム／プロフォトペーパー／スーパーフォト／その他フォト／普通紙はがき／インクジェットハガキ／フォトはがき

用紙サイズを〈はがき〉に設定したときだけ〈普通紙はがき〉、〈インクジェットハガキ〉、または〈フォトはがき〉を選ぶことができます。

画質をかえる

コピーしたい原稿に合わせて画質を調整することができます。

操作手順：

［▲］か［▼］で〈画質〉を選び、［◄］か［►］で設定します。

設定値：

標準／きれい／はやい

- 用紙種類を〈普通紙〉または〈普通紙はがき〉に設定したときだけ、〈標準〉と〈はやい〉を選ぶことができます。その他の用紙を選んだときは〈きれい〉に設定されます。
- 用紙種類が〈普通紙〉または〈普通紙はがき〉の場合、〈はやい〉を選んで思ったような画質で印刷できないときは、〈標準〉または〈きれい〉を選んで、もう一度印刷してみてください。
- グレースケールでコピーしたいときは、〈きれい〉を選んでください。グレースケールとは、二値（2 階調）で表現している白黒に対し、グレーの濃淡を数多くの階調で表現したものです。

拡大／縮小コピーする

原稿を拡大または縮小してコピーできます。拡大／縮小してコピーするには 3 通りの方法があります。[▲] か [▼] で〈拡大／縮小〉を選んでから次のように操作してください。

■ あらかじめ設定された倍率を使って拡大／縮小する（定型変倍）

定型変倍コピーは A4 から A5 への縮小、B5 から A4 への拡大など、用紙サイズを変更するときに便利です。

操作手順：
[◀] か [▶] で〈定型変倍〉を選び、[▼] を押してから [◀] か [▶] で設定します。

設定値：
25% 最小／ 47% A4 →はがき／ 70% A4 → A5 ／ 86% A4 → B5 ／ 100% ／ 115% B5 → A4 ／ 141% A5 → A4 ／ 200% はがき→ A4 ／ 400% 最大

■ パーセントで細かく指定する方法（ズーム（25 ～ 400%））

ズームコピーはパーセントを指定して拡大／縮小コピーします。原稿を微妙に拡大または縮小するときに便利です。[◀] を押すと倍率が小さくなり、[▶] を押すと大きくなります。[◀] か [▶] を押したままにするとコピー倍率を早く切りかえることができます。

操作手順：
[◀] か [▶] で〈ズーム（25 ～ 400%）〉を選び、[▼] を押してから [◀] か [▶] で設定します。

設定値：
25% ～ 400%

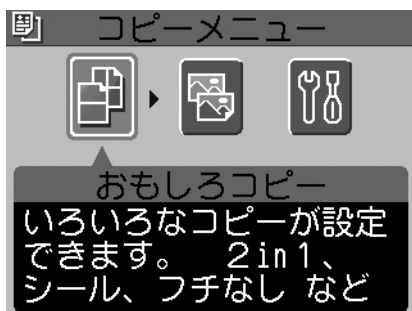
■ 用紙におさまるようにコピーする（用紙に合せて自動変倍）

自動変倍コピーは、オートシートフィーダにセットした用紙サイズにおさまるように原稿を自動的に拡大、または縮小してコピーします。

操作手順：
[◀] か [▶] で〈用紙に合せて自動変倍〉を選びます。

原稿によっては、サイズを正しく検知できないことがあります。正しく検知できないときは〈定型変倍〉か〈ズーム（25 ～ 400%）〉を選んでください。

コピーメニュー画面でできる設定

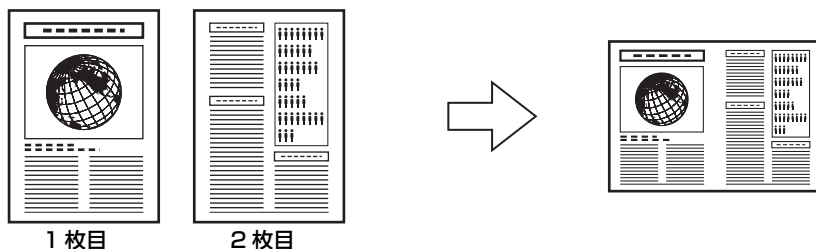
コピー画面で［メニュー］を押すと、コピーメニュー画面が表示されます。もう一度［メニュー］を押すと、コピー画面に戻ります。

おもしろコピー

いろいろなレイアウトのコピーが楽しめます。［◄］か［►］で〈おもしろコピー〉を選んで［OK］を押してから、次のように操作してください。操作中に［ストップ／リセット］を押すと、1 つずつ前の画面に戻ります。設定を取り消すには、コピー画面で［ストップ／リセット］を押します。

■ 2 枚の原稿を 1 枚にコピーする（2in1 コピー）

2 枚の原稿を 1 枚の用紙におさまるように縮小してコピーすることができます。

1 枚目

2 枚目

操作手順：

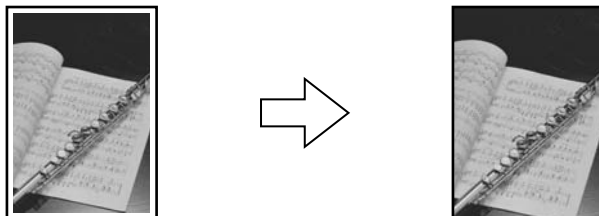
1. ［◄］か［►］で〈2in1 コピー〉を選び、［OK］を押します。
2. 原稿台ガラスに 1 枚目の原稿をセットします。カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は［モノクロスタート］を押します。
3. 液晶モニターの表示にしたがい、原稿台ガラスに 2 枚目の原稿をセットします。1 枚の原稿で読み取りを終了するには、［OK］を押します。
4. ［カラースタート］または［モノクロスタート］を押します。2 の操作で押したボタンと同じボタンを押してください。

重要

2 の操作で押したボタンと 4 の操作で押したボタンが同じでない場合は、コピーが開始されません。

- この機能は、フチなしコピー、イメージリピート、絵はがきコピー、シールコピーと組み合わせて設定することはできません。
- 用紙種類が〈普通紙〉で、読み込み中に〈本機のメモリがいっぱいで処理が継続できません〉と表示された場合は、画質を〈標準〉に設定して、再度コピーしてください。（→ 33 ページ）
- この機能は、用紙サイズを〈A4〉か〈レターサイズ〉に設定したときだけ使うことができます。（→ 33 ページ）
- 拡大／縮小は設定できません。

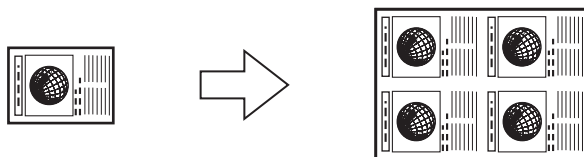
■ フチなし全面コピー（フチなしコピー）

フチなし全面コピーでは、画像のまわりにフチがでないように、用紙全体にコピーします。

操作手順：

［◀］か［▶］で〈フチなしコピー〉を選び、［OK］を押します。

- この機能は、カラーコピーのときだけ使うことができます。
- 画像は、用紙全体にコピーされるように少し拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。
- この機能は、用紙サイズを〈A4〉、〈レターサイズ〉、〈はがき〉、〈L 判〉、または〈2L 判〉に設定したときだけ使うことができます。
- この機能は、用紙種類を〈光沢紙〉、〈プロフォトペーパー〉、〈スーパーフォト〉、〈その他フォト〉、または〈インクジェットハガキ〉、〈フォトはがき〉に設定したときだけ使うことができます。
- 画質は、〈きれい〉に設定されます。〈きれい〉以外を選ぶことはできません。
- 画像の大きさに合わせて、はみ出し量を調整できます。（→ 142 ページ）

■ 画像を 1 枚の用紙にくり返しコピーする（イメージリピート）

用紙に原稿をくり返しコピーできます。くり返す回数は、あらかじめ本機に設定されている回数を選ぶか、または手動で何回コピーするかを指定します。

操作手順：

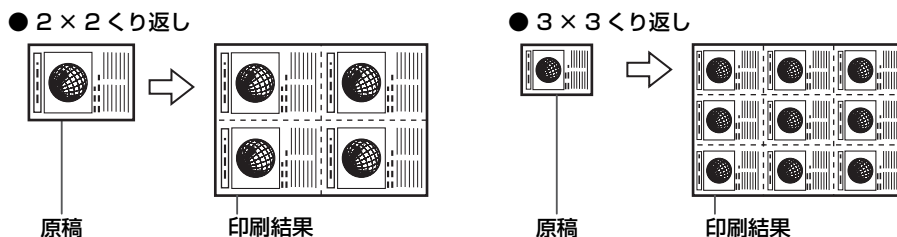
［◀］か［▶］で〈イメージリピート〉を選び、［OK］を押します。［▲］か［▼］で〈自動〉か〈手動〉かを選び、手動の場合は［▲］か［▼］で縦にくり返す回数を設定し、［▶］を押してから横にくり返す回数を指定します。

設定値：

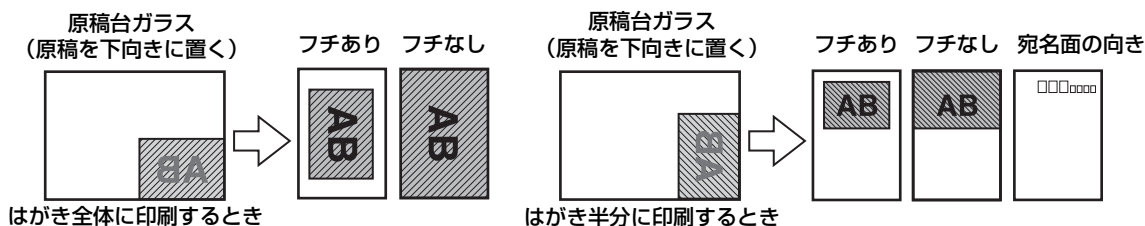
自動／手動（最大で縦 4 回、横 4 回まで）

重要

- 手動で回数を決める場合は、コピーを開始する前に用紙のサイズを設定する必要があります。（→ 33 ページ）
- 原稿を読み込む範囲は、拡大／縮小率によって異なります。
- コピーする原稿は、一区切り分におさまるサイズでなければなりません。たとえば、等倍で原稿を 4 回コピーするときの原稿サイズは、用紙サイズの 1/4 以内でなくてはなりません。

参考

拡大／縮小の〈用紙に合せて自動変倍〉は選べません。

■ 絵はがきを作る（絵はがきコピー）

L 判の写真やイラストを利用して、オリジナルの絵はがきを作ることができます。

操作手順：

［◄］か［►］で〈絵はがきコピー〉を選び、［OK］を押します。［◄］か［►］でレイアウトを選びます。レイアウトを設定したら、画面にしたがって原稿をセットしてください。

設定値：

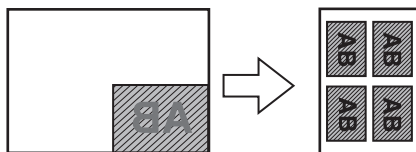
全面 フチあり／全面 フチなし／半分 フチあり／半分 フチなし

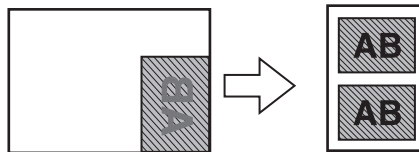
参考

- この機能を設定すると、用紙サイズは〈はがき〉に、画質は〈きれい〉に設定されます。拡大／縮小は設定できません。
- フチなしを設定したときは、用紙種類は〈フォトはがき〉か〈インクジェットハガキ〉のみ選ぶことができます。
- 原稿が L 判より大きい場合は、はがきからはみ出て印刷されます。
- 〈全面 フチなし〉でコピーすると、画像ははがき全体にコピーされるように少し拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。
- 〈全面 フチあり〉でコピーすると、画像はほぼ原寸でコピーされますが、フチの分だけ画像の周囲が欠けます。
- カラーコピーのときだけ、フチなしコピーができます。

■ シールを作る（シールコピー）

L 判の写真やイラストで、かんたんにシールを作ることができます。

原稿台ガラス（原稿を下向きにおく）

原稿台ガラス（原稿を下向きにおく）

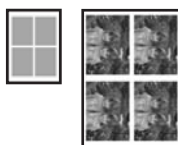
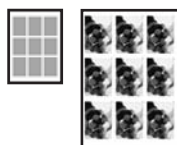
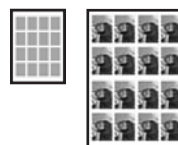
シールタイプ：４面シール

シールタイプ：４面シール、９面シール、16 面シールの場合　　シールタイプ：２面シールの場合

操作手順：

［◀］か［▶］で〈シールコピー〉を選び、［OK］を押します。［▲］か［▼］で〈写真中央〉か〈写真全体〉かを選んで［OK］を押し、［◀］か［▶］でレイアウトを選びます。レイアウトを設定したら、画面にしたがって原稿をセットしてください。
〈写真全体〉では画像全体が印刷され、〈写真中央〉では画像の中央部分だけが印刷されます。

設定値：

写真中央／写真全体
２面シール／４面シール／９面シール／ 16 面シール

２面シール

４面シール

９面シール

16 面シール

- 〈写真全体〉を選んでも、原稿の端がやや欠けて印刷されます。
- オートシートフィーダに一度にセットできる枚数は 1 枚です。
- 用紙サイズ、用紙種類、画質、拡大／縮小は設定できません。

色あせた原稿を復元する（褪色補正コピー）

経年変化などで、褪色したり色カブリした写真を色補正してコピーします。操作中に［ストップ／リセット］を押すと、1 つずつ前の画面に戻ります。設定を取り消すには、コピー画面で［ストップ／リセット］を押します。

操作手順：

［◀］か［▶］で〈褪色補正コピー〉を選び、［OK］を押します。［▲］か［▼］で原稿の大きさを選び、画面にしたがって原稿をセットしてください。

設定値：

E 判（117 mm × 82.5 mm）／ L 判（127 mm × 89 mm）／ 2L 判（178 mm × 127 mm）

- この機能は、用紙サイズを〈A4〉、〈レターサイズ〉、〈はがき〉、〈L 判〉または〈2L 判〉に設定したときだけ使うことができます。
- この機能は、用紙種類を〈光沢紙〉、〈高品位専用紙〉、〈プロフォトペーパー〉、〈スーパーフォト〉、〈その他フォト〉、または〈インクジェットハガキ〉、〈フォトはがき〉に設定したときだけ使うことができます。
- 画質は、〈きれい〉に設定されます。〈きれい〉以外を選ぶことはできません。
- 拡大／縮小は設定できません。
- 褪色補正は必ずしもすべての写真に効果があるわけではありません。
- カラーコピーのときだけ、褪色補正コピーができます。

5章 フィルムから印刷しよう

本機では、35mm フィルム（スリーブ、マウント）をスキャンすることができます。スリーブ（6 コマずつつながった通常の現像仕上がり状態）とマウント（1 コマずつスライド用マウントにセットした状態）の両方に対応しています。読み込んだ写真にいろいろな設定をして、印刷することができます。

Step 1

フィルムをセットしよう（→ 40 ページ）

Step 2

フィルムを読み込みます。（→ 42 ページ）

1. フィルムの種類を選択します。
2. フィルムを読み込みます。

印刷方法を選択することもできます。（→ 42 ページ）

- 1 枚ずつ印刷する（→ 44 ページ）
- 複数写真をまとめて印刷する（→ 44 ページ）
- 絵はがきを作る（→ 45 ページ）
- シールを作る（→ 45 ページ）
- すべての写真を印刷する（→ 45 ページ）
- 色あせたフィルムを復元する（→ 45 ページ）

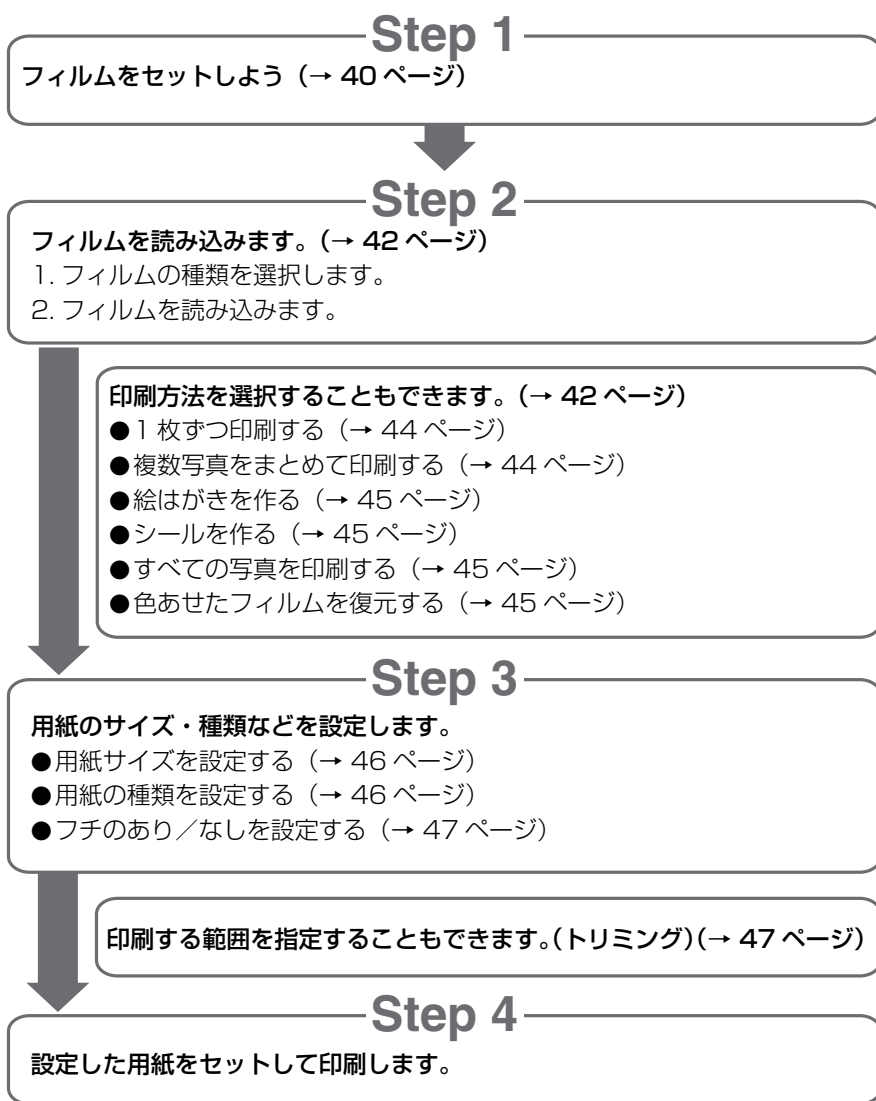
Step 3

用紙のサイズ・種類などを設定します。

- 用紙サイズを設定する（→ 46 ページ）
- 用紙の種類を設定する（→ 46 ページ）
- フチのあり／なしを設定する（→ 47 ページ）

印刷する範囲を指定することもできます。（トリミング）（→ 47 ページ）

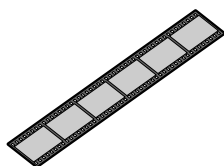
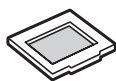
Step 4

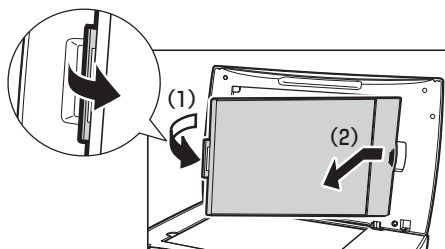
設定した用紙をセットして印刷します。

※ 別のフィルムをセットするときは、フィルムのプレビュー画面で［フィルム］を押してください。〈フィルムから読み取った画像データをクリアしますか？〉と表示されたら、〈はい〉を選んで［OK］を押し、前回の画像データを削除してから、「フィルムをセットしよう」（→ 40 ページ）の 3 から操作してください。

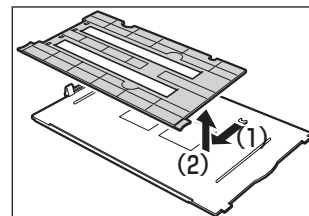
※ 読み込んだフィルムの画像データは本機やメモリーカードへの保存ができません。パソコンに保存する場合は、パソコンから読み込んでください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

※ 印刷中にインク切れや紙詰まりなどのエラーから復帰したとき、印刷中のデータはクリアされます。必要に応じて印刷し直してください。

フィルムをセットしよう

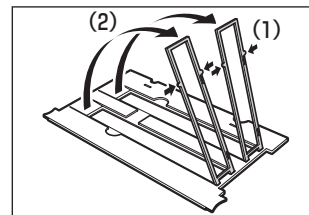
フィルムを読み込む前に原稿台ガラスにフィルムをセットします。

35mm スリーブフィルム　35mm マウントフィルム

1 原稿台カバーからFAU保護シートを取り外します。

2 シートの裏側から、スリーブ用フィルムガイドを取り外します。

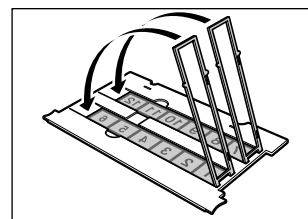
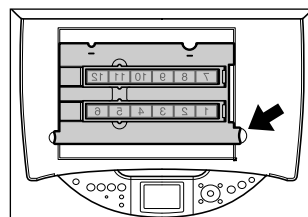
マウント用フィルムガイドを使用するときは、本機に同梱されているマウント用フィルムガイドを用意してください。

3 原稿台ガラスにフィルムをセットします。

35mm スリーブフィルムをセットするとき：

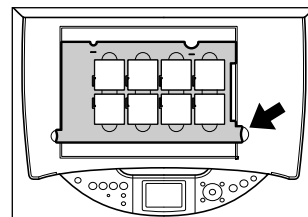
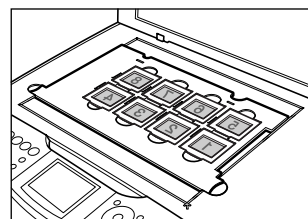
1. スリーブ用フィルムガイドのフィルムホルダーを開きます。

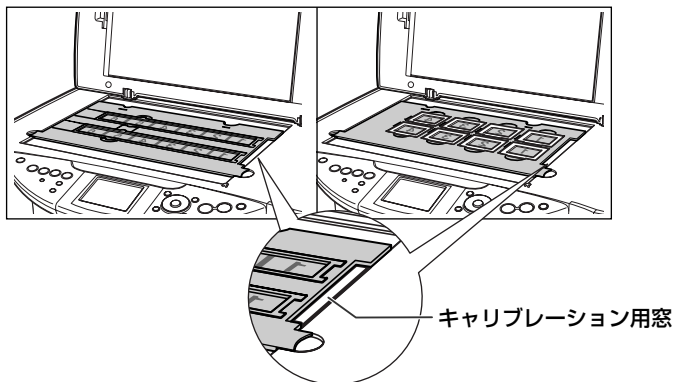
フィルムホルダーを開くときは、縁を内側に押しながら（1）開いてください（2）。

2. フィルムガイドにフィルムのおもて面(像が正しく見える面)を下向きにし、コマ順は右から左になるように右端にあわせてセットします。

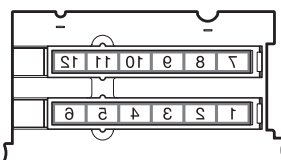
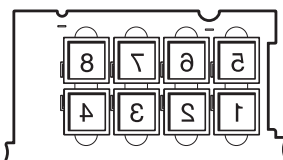
フィルムホルダーは、外側の突起すべてがフィルムガイドの溝にはまるように、縁を内側に押しながら上から押さえて閉じます。

フィルムホルダーがきちんと閉じないときは、フィルムをフィルムガイドの溝の内側に正しくセットし直してから閉じてください。

3. フィルムガイドを原稿台の右側の溝に合わせてセットします。

- 6 コマ未満の短いスリーブをスキャンして画像の端が白くなるときは、フィルムのない部分に黒い紙を置いて遮光してください。
- フィルムの画像のない箇所に管理用のシールが貼られていると、それを画像と判断する場合があります。

35mm マウントフィルムをセットするとき：

1. フィルムガイドを原稿台の右側の溝に合わせてセットします。

2. マウント用フィルムガイドにフィルムのおもて面（像が正しく見える面）を下向きにし、コマ順は右から左になるようにセットします。フィルムは横向きに正しく、原稿台ガラスから浮かないようにセットしてください。

重要

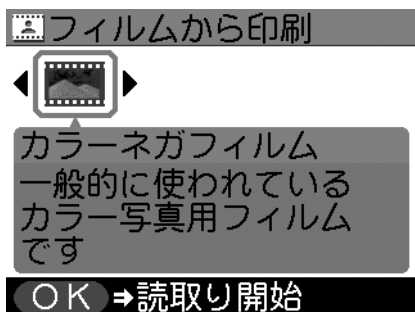
フィルムを、白線で示された基準位置より奥（キャリブレーション用窓側）へ置くと、スキャンしたときに画像が欠けることがあります。基準位置より奥にはセットしないでください。

参考

フィルムは図の番号順に読み込まれます。

35mm スリーブフィルムのとき

35mm マウントフィルムのとき

かんたん印刷（フィルムからの印刷）

本機にフィルムを読み込んで印刷します。

1 ［フィルム］を押します。

フィルムから印刷

2 ［◀］か［▶］で読み込みたいフィルムの種類を選びます。

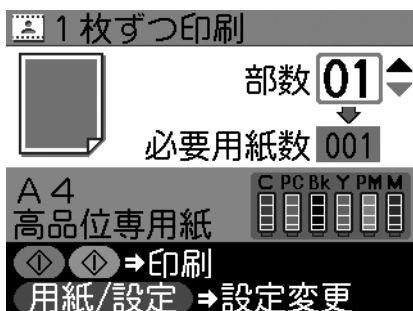
［▼］を押すと、フィルムのセット方法を見ることができます。

3 原稿台ガラスにフィルムをセットします。（→ 40 ページ）

4 [OK] を押します。

フィルムが読み込まれ、プレビューが表示されます。

印刷方法を選ぶときは、[メニュー] を押します。(→ 44 ページ)

5 [◄] か [►] で写真を選び、[OK] を押します。

6 [▲] か [▼] で部数を設定します。

- その他の印刷設定をしたい場合は、[用紙／設定] を押します。(→ 46 ページ)
- トリミング編集で印刷する範囲を指定することができます。用紙サイズや種類、フチのあり／なしを指定後、トリミング編集してください。(→ 47 ページ)

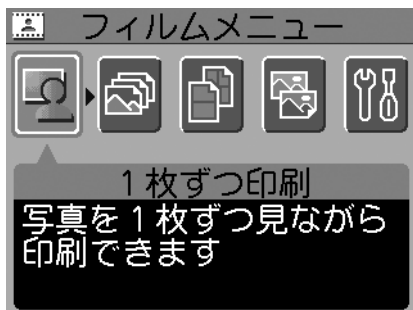
7 カラー印刷をする場合は [カラースタート] を押し、白黒印刷をする場合は [モノクロスタート] を押します。

印刷が開始されます。

印刷が開始される前にフィルムを再スキャンするので、印刷が終わるまで原稿台カバーを開けたり、フィルムを原稿台ガラスから外したりしないでください。

印刷を中止するときは、[ストップ／リセット] を押します。

フィルムメニュー画面でできる設定

フィルムのプレビュー画面で［メニュー］を押すと、フィルムメニュー画面が表示されます。もう一度［メニュー］を押すと、フィルムのプレビュー画面に戻ります。〈メンテナンス / 各種設定〉以外の項目は、フィルムを読み込んだ後で設定できるようになります。

1 枚ずつ印刷

読み込んだ写真を一枚ずつ表示し、かんたんに印刷をすることもできます。（→ 42 ページ）

操作手順：
［◀］か［▶］で〈1 枚ずつ印刷〉を選び、［OK］を押します。［◀］か［▶］で写真を切りかえます。

トリミング編集で印刷する範囲を指定することができます。用紙サイズや用紙の種類、フチのあり／なしを指定後、トリミング編集してください。（→ 47 ページ）

複数写真をまとめて印刷

写真ごとに印刷枚数を指定して印刷できます。設定を取り消してフィルムメニュー画面に戻るには、［メニュー］を押してください。

操作手順：
［◀］か［▶］で〈複数写真をまとめて印刷〉を選び、［OK］を押します。［◀］か［▶］で写真を選び、［▲］か［▼］で部数を設定します。

写真ごとにトリミング編集で印刷する範囲を指定することができます。用紙サイズや用紙の種類、フチのあり／なしを指定後、トリミング編集してください。（→ 47 ページ）

いろいろな印刷

読み込んだフィルムは、次の 3 つの機能を使って印刷することもできます。［◀］か［▶］で〈いろいろな印刷〉を選んで［OK］を押してから、次のように操作してください。操作中に［ストップ／リセット］を押すと、1 つずつ前の画面に戻ります。

■ 絵はがきを作る（はがき印刷）

読み込んだ写真を利用して、オリジナルの絵はがきを作ることができます。

操作手順：

1. ［◀］か［▶］で〈はがき印刷〉を選び、［OK］を押します。
2. ［◀］か［▶］でレイアウトを選び、［OK］を押します。
3. ［◀］か［▶］で印刷したい写真を選び、［OK］を押します。
4. ［▲］か［▼］で部数を設定します。

設定値：

全面 フチあり／全面 フチなし／半分 フチあり／半分 フチなし

- この機能を設定すると、用紙サイズは〈はがき〉に設定されます。
- 〈全面 フチなし〉で印刷すると、画像ははがき全体に印刷されるように少し拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。
- 〈全面 フチあり〉で印刷すると、フチの分だけ画像の周囲が欠けます。
- カラー印刷のときだけ、フチなし印刷ができます。

■ シールを作る（シール紙印刷）

読み込んだ写真で、かんたんにシールを作ることができます。

操作手順：

1. ［◀］か［▶］で〈シール紙印刷〉を選び、［OK］を押します。
2. ［◀］か［▶］でレイアウトを選び、［OK］を押します。
3. ［◀］か［▶］で印刷したい写真を選び、［OK］を押します。
4. ［▲］か［▼］で部数を設定します。

設定値：

2 面シール／ 4 面シール／ 9 面シール／ 16 面シール

- オートシートフィーダに一度にセットできる枚数は 1 枚です。
- 用紙サイズ、用紙種類、フチのあり／なしは設定できません。

■ すべての写真を印刷

読み込んだ写真をすべて印刷します。

操作手順：

［◀］か［▶］で〈すべての写真を印刷〉を選び、［OK］を押します。［▲］か［▼］で部数を設定します。

色あせを補正して印刷（褪色補正して印刷）

経年変化などで、褪色したり色カブリしたフィルムを色補正して印刷します。

操作手順：

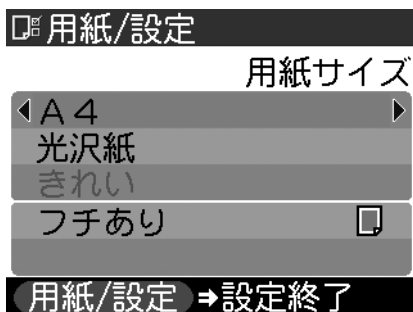
［◀］か［▶］で〈褪色補正して印刷〉を選び、［OK］を押します。［▲］か［▼］で〈する〉を選んで［OK］を押すと、設定されます。いずれかのボタンを押してフィルムメニュー画面に戻り、その他の設定をしてください。

設定値：

する／しない

- 褪色補正は必ずしもすべての写真に効果があるわけではありません。
- カラー印刷のときだけ、褪色補正印刷ができます。

用紙 / 設定（フィルム）画面でできる設定

フィルムのプレビュー画面で［用紙／設定］を押すと、用紙 / 設定（フィルム）画面が表示されます。もう一度［用紙／設定］を押すと、設定を終了し、元の画面に戻ります。

用紙サイズを設定する

印刷をするときは、オートシートフィーダにセットした用紙のサイズを液晶モニターで設定してください。

操作手順：

［▲］か［▼］で〈用紙サイズ〉を選び、［◄］か［►］で設定します。

設定値：

A4 ／レターサイズ／はがき／ L 判／ 2L 判

用紙の種類を設定する

印刷をするときは、オートシートフィーダにセットした用紙の種類を液晶モニターで設定してください。

操作手順：

［▲］か［▼］で〈用紙種類〉を選び、［◄］か［►］で設定します。

設定値：

光沢紙／高品位専用紙／プロフォトペーパー／スーパーフォトペーパー／その他フォト紙／インクジェットはがき／フォトはがき

用紙サイズを〈はがき〉に設定したときだけ、〈インクジェットはがき〉または〈フォトはがき〉を選ぶことができます。

画質をかえる

画質は、〈きれい〉に設定されます。〈きれい〉以外を選ぶことはできません。

フチのあり／なしを設定する

フチのあり／なしを設定できます。

操作手順：
［▲］か［▼］で〈フチ〉を選び、［◀］か［▶］で設定します。

設定値：
フチあり／フチなし

用紙種類を〈高品位専用紙〉に設定したときは、〈フチあり〉に設定されます。〈フチなし〉を選ぶことはできません。

便利な印刷機能を使う

■ 印刷する範囲を指定する（トリミング）

液晶モニターに表示されている写真のトリミング編集を行うことができます。

用紙 / 設定（フィルム）画面で、用紙サイズや用紙の種類、フチのあり／なしを設定した後、トリミング編集をしてください。トリミング編集後に設定を変更すると、トリミング編集が用紙に合わせて補正されたり無効になる場合があります。

1 トリミングしたい写真を表示します。

2 ［トリミング］を押します。

3 ［◀］［▶］［▲］［▼］のいずれかで、トリミング枠の位置を設定し、［OK］を押します。

4 [▲] か [▼] で、トリミング枠を回転し、[OK] を押します。

[◀] で 3 の画面に戻ります。

[▲] か [▼] で、長方形の枠を縦長にしたり横長にしたりすることができます。

5 [▲] か [▼] で、トリミング枠の大きさを設定します。

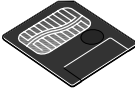
[◀] で 4 の画面に戻ります。

[▲] で枠を大きく、[▼] で枠を小さくすることができます。

6 [OK] を押します。

トリミング範囲の設定が完了しました。

- トリミング範囲を設定後、再度 [トリミング] を押すと、前回トリミングした範囲を変更できます。
- トリミング編集中に解除するには、トリミング編集画面で [ストップ／リセット] を押してください。
- トリミング設定の完了後に解除するには、[ストップ／リセット] を押してください。

メモリーカードから印刷しよう

本機にメモリーカードを差し込み、いろいろな方法で印刷することができます。

Step 1

メモリーカードを差し込みます。（→ 51 ページ）

印刷する写真を日付で絞り込むこともできます。（サーチ）（→ 56 ページ）

Step 2

液晶モニターで画像を確認します。（→ 54 ページ）

印刷方法を選択することもできます。（→ 55 ページ）

- ●1 画像ずつ印刷する（→ 57 ページ）
- ●複数画像をまとめて印刷する（→ 57 ページ）
- ●絵はがきを作る（→ 57 ページ）
- ●シールを作る（→ 58 ページ）
- ●すべての画像を印刷する（→ 58 ページ）
- ●画像の一覧を印刷する（→ 58 ページ）
- ●カメラの設定にしたがって印刷する（→ 59 ページ）

Step 3

用紙のサイズ・種類の設定をします。

- ●用紙サイズを設定する（→ 60 ページ）
- ●用紙の種類を設定する（→ 60 ページ）

画像の補正などの設定をすることもできます。

- ●画質をかえる（→ 60 ページ）
- ●フチのあり／なしを設定する（→ 60 ページ）
- ●日付のあり／なしを設定する（→ 60 ページ）
- ●オートフォトパーフェクト（→ 61 ページ）
- ●VIVID フォト（→ 61 ページ）
- ●ノイズ除去（→ 61 ページ）
- ●顔明るく補正（→ 61 ページ）

印刷する範囲を指定することもできます。（トリミング）（→ 56 ページ）

Step 4

設定した用紙をセットして印刷します。

Step 2

フォトナビシートを印刷します。（→ 62 ページ）

Step 3

フォトナビシートのマークを塗りつぶして、設定した用紙をセットします。（→ 64 ページ）

Step 4

フォトナビシートをスキャンし、印刷します。（→ 64 ページ）

※ 印刷中にインク切れや紙詰まりなどのエラーから復帰したとき、印刷中のデータはクリアされます。必要に応じて印刷し直してください。

使用できるメモリーカードについて

以下のカードが使用できます。

カードスロットに直接セット可能なメモリーカード	
	コンパクトフラッシュ（CF）カード Microdrive メモリーカード
	スマートメディア
	メモリースティック メモリースティック PRO マジックゲートメモリースティック
	SD メモリーカード マルチメディアカード

アダプタを使用してカードスロットにセットするメモリーカード	
	xD-Picture カード*1
	メモリースティック Duo*2 メモリースティック PRO Duo*2 マジックゲートメモリースティック Duo*2
	mini SD カード*2

*1　別途 xD-Picture カード用コンパクトフラッシュカードアダプタをお買い求めください。
推奨 xD-Picture Card アダプタ（2004 年 6 月現在）
– 富士写真フイルム株式会社製　型番：DPC-CF
– オリンパス株式会社製　型番：MACF-10

*2　カードに付属の専用アダプタを使用してください。アダプタが付属していない場合は、メモリーカードのメーカーにお問い合わせください。

ファイル形式は JPEG（DCF/CIFF/Exif2.21 以下 /JFIF）フォーマットに対応しています。

重要

- **コンパクトフラッシュ Type Ⅰ / Ⅱは、3.3V のカードのみ対応しています。**
- **スマートメディアは、3.3V のカードのみ対応しています。2MB 以下のカードは、使用できません。**

- デジタルカメラが対応していないメモリーカードに保存されている画像は、読み込めない場合や画像データが破損する場合があります。デジタルカメラがどのメモリーカードに対応しているかは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- メモリーカードは、デジタルカメラでフォーマットしてください。パソコンでフォーマットしたメモリーカードは使えないことがあります。
- PC メモリーカードのデータをパソコンで編集したときは、必ずパソコンから印刷してください。パソコンで編集した画像データをメモリーカードに保存して、本機で印刷すると、正しく印刷されないことがあります。

おすすめの用紙

普通紙を使うこともできますが、きれいに印刷したいときは、プロフェッショナルフォトペーパーをおすすめします。(→ 21 ページ)

メモリーカードの差し込みと取り出しかた

■ メモリーカードの差し込みかた

本機にメモリーカードを差し込むには、メモリーカードをそのままカードスロットに差し込む場合と、カードアダプタ（市販品）を使って差し込む場合の 2 通りあります。

⚠ 注意

以下のカードを使用する場合は、専用のカードアダプタに取り付けてから、カードスロットに差し込んでください。

- xD-Picture カード
- メモリースティック Duo
- メモリースティック PRO Duo
- マジックゲートメモリースティック Duo
- mini SD カード

重要

- 本機はひとつのメモリーカードしか認識できません。同一スロットに同時に複数のメモリーカードを差し込んでも認識できません。メモリーカードは同時に複数セットしないでください。
- 同じ種類のメモリーカードを入れかえたり、別のカードスロットに入れかえるときは、メモリーカードを取り出す前に［電源］を押して本機の電源を切ってください。メモリーカードを取り出したら、［電源］を押して電源を入れてから、他のメモリーカードを差し込んでください。

次のように操作してください。

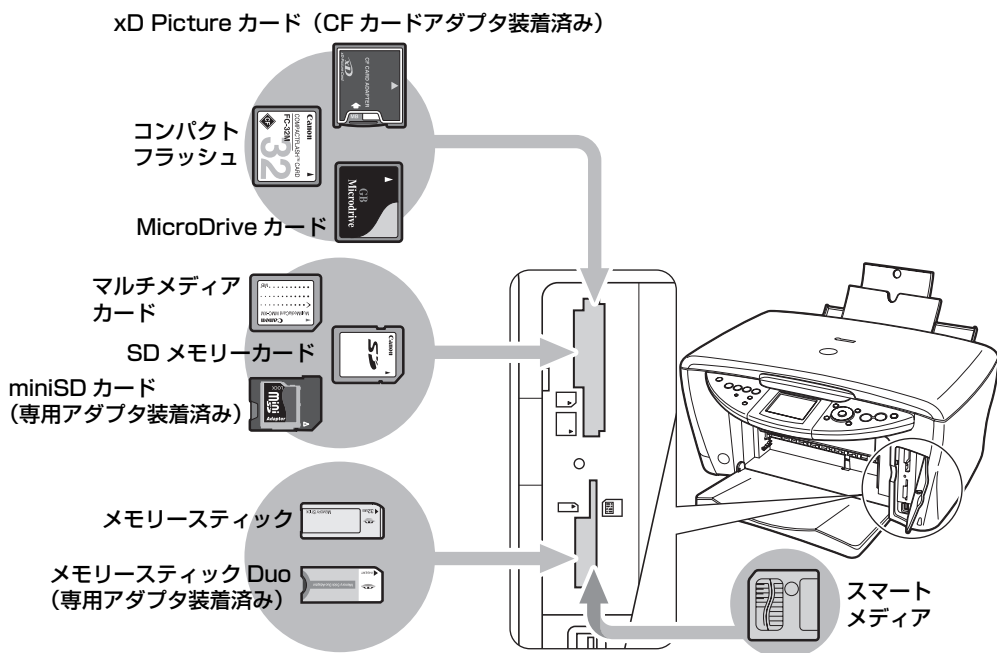
1 本機の電源が入っていることを確認します。

2 メモリーカードまたはカードアダプタをカードスロットに差し込みます。

3 ［フォト］を押します。

メモリーカードにアクセスしているときは、アクセスランプが点滅します。

注意

- メモリーカードを差し込むときは、無理に差し込まないでください。
- PC SD メモリーカードをご使用の場合、差し込みかたによって、まれに書き込み禁止のロックがかかりパソコンからの書き込みができなくなることがあります。そのような場合は、SD メモリーカードのロックを解除したあと、書き込み禁止ロックに注意して差し込んでください。

メモリーカードまたはカードアダプタを差し込むときは、表面（ラベル側）の向きに注意して差し込んでください。

参考

メモリーカードが読み込まれないときは、次のことを確認してください。

- – メモリーカードまたはカードアダプタは、カードスロットの奥までしっかりと差し込まれていますか？
- – メモリーカードが、読み込み中にはずれてしまっていませんか？
- – 互換性のあるメモリーカードを使っていますか？
- – メモリーカードには画像ファイルが入っていますか？

■ メモリーカードの取り出しかた

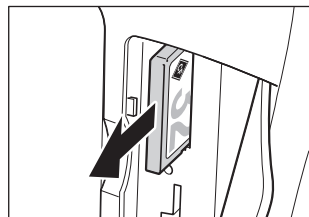
次のように操作してください。

注意

- メモリーカードから印刷中に紙切れなどのエラーが起きたときは、メモリーカードまたはカードアダプタを取り出さないでください。メモリーカードの中のデータが壊れることがあります。
- アクセスランプの点滅中にメモリーカード、またはカードアダプタを取り出したり、本機の電源を切ったりしないでください。メモリーカード内のデータが壊れることがあります。

1 ［電源］を押して、本機の電源を切ります。

PC Windows 2000 でメモリーカードに書き込んだときは、10 秒待ってから本機の電源を切ってください。

2 メモリーカードを取り出します。

例：コンパクトフラッシュの場合

PC メモリーカードの読み込み／書き込み

Windows

本機をパソコンに接続すると、パソコンの［マイ コンピュータ］の中にメモリカードドライブ（リムーバブルディスク）が表示されます。

Macintosh

本機にメモリーカードが差し込まれた状態でパソコンと接続すると、デスクトップにメモリカードドライブ（リムーバブルディスク）が表示されます。

メモリーカードを本機に差し込むと、パソコンの［リムーバブルディスク］を開いて、メモリーカードの写真を見ることができます。他のハードディスクのファイルと同じように、その写真をハードディスクにコピーしたり、設定を変えることによって、ハードディスクのファイルをメモリーカードにコピーすることができます。

重 要

- メモリーカードにアクセス中は、メモリーカードを抜いたり USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- カードスロットにメモリーカードが差し込まれた状態で、パソコンをスタンバイまたは休止状態にしないでください。また、パソコンがスタンバイ、または、休止状態になっているときに、メモリーカードを取り出したり、入れかえたりしないでください。
- メモリーカードを入れかえるときは、メモリーカードを取り出す前に本機の電源を切ってください。
- Windows 2000 では、本機の電源を切ると、パソコンに［デバイスの取り外し警告］画面が表示されます。その場合は、［OK］をクリックしてください。本機やパソコンには影響ありません。

メモリーカードへのデータの書き込みを可能にする

コピーメニュー画面またはフィルムメニュー画面で、［◀］か［▶］で〈メンテナンス / 各種設定〉→〈各種設定〉の順に選んで［OK］を押してから、次のように操作してください。

操作手順：

1. メモリーカードが本機にセットされていないことを確認します。
2. ［▲］か［▼］で〈メモリカード書込み禁止〉を選び、［OK］を押します。
3. ［▲］か［▼］で書込み禁止をするかしないかを設定し、［OK］を押します。

設定値：
する／しない

- **Windows 2000 の場合、本機での書き込み禁止の状態が、パソコン側で認識されていないと、データをメモリーカードにコピーする時に、遅延書き込みエラーが発生し、データが破損する恐れがあります。**
- **本機がフォトモードになっていると、パソコンから書き込むことはできません。**

参考

- 各メニュー画面の表示方法は、
  – コピーメニュー画面（→ 35 ページ）
  – フィルムメニュー画面（→ 44 ページ）
  をご覧ください。
- カードスロットにメモリーカードが差し込まれた状態で、データの書き込みの設定を変更したときは、USB ケーブルを抜いて、差し直してください。USB ケーブルを差し直さないと、設定は有効になりません。

画像を見る（スライドショー）

本機では、メモリーカード内の各画像を自動的に順番に表示させることができます。

次のように操作してください。

1 メモリーカードをカードスロットに差し込み、[フォト］を押します。

メモリーカードの差し込み方は、51 ページをご覧ください。

2 [スライドショー］を押します。

- いずれかのボタンを押すと、フォト画面に戻ります。
- スライドショーの画質を設定することもできます。（→ 143 ページ）

かんたん印刷（液晶モニターに表示されている写真を印刷する）

液晶モニターに表示されている写真を印刷します。

1 メモリーカードをカードスロットに差し込み、［フォト］を押します。

メモリーカードの差し込み方は、51 ページをご覧ください。

メモリーカードの中の画像が表示されます。

参考

印刷方法を選ぶときは、［メニュー］を押します。（→ 57 ページ）

2 ［◄］か［►］で写真を選び、［OK］を押します。

3 ［▲］か［▼］で部数を設定します。

参考

- その他の印刷設定をしたい場合は、［用紙／設定］を押します。（→ 59 ページ）
- 指定した日付の範囲の写真だけを表示したり、印刷することができます。（→ 56 ページ）
- トリミング編集で印刷する範囲を指定することができます。用紙サイズや種類、フチのあり／なしを指定後、トリミング編集してください。（→ 56 ページ）

4 ［カラースタート］を押します。

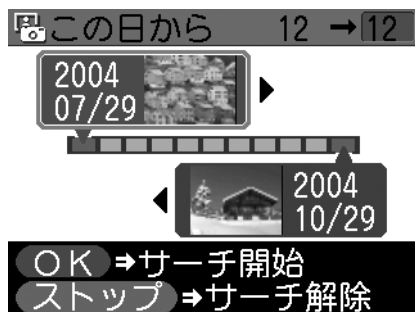
印刷が開始されます。

参考

- 印刷を中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。
- ［モノクロスタート］を押しても、印刷は開始されません。

■ 印刷する写真を日付で絞り込む（サーチ）

メモリーカードに保存されている写真の数が多いときは、写真の撮影日を指定することで、指定した日付の範囲の写真だけを表示させたり、印刷することができます。

1 ［サーチ］を押します。

メモリーカードに保存されている写真数によっては、サーチ画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。

2 ［◄］か［►］で、絞り込む範囲の一番古い撮影日を指定し、［▼］を押します。

3 ［◄］か［►］で、絞り込む範囲の一番新しい撮影日を指定します。

4 ［OK］を押します。

絞込みが行われて指定した範囲の写真が表示されます。

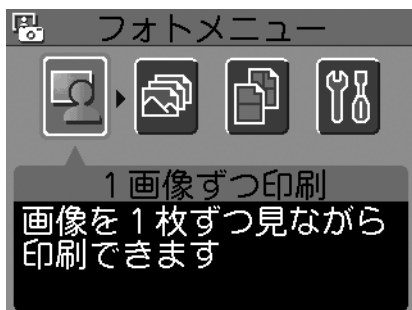
サーチモードを解除するには、サーチ画面で［ストップ／リセット］を押してください。またフォトモード以外のモードにすることでも、サーチモードを解除することができます。

■ 印刷する範囲を指定する（トリミング）

液晶モニターに表示されている写真のトリミング編集を行うことができます。（→ 47 ページ）

- 用紙 / 設定（フォト）画面で、用紙サイズや用紙の種類、フチのあり／なしを設定した後、トリミング編集をしてください。トリミング編集後に設定を変更すると、トリミング編集が用紙に合わせて補正されたり無効になる場合があります。
- トリミング編集中に解除するには、トリミング編集画面で［ストップ／リセット］を押してください。またフォトモード以外のモードにすることでも、トリミングの設定を解除することができます。
- トリミング設定の完了後に解除するには、［ストップ／リセット］を押してください。

フォトメニュー画面でできる設定

フォト画面で［メニュー］を押すと、フォトメニュー画面が表示されます。もう一度［メニュー］を押すと、フォト画面に戻ります。

1 画像ずつ印刷

メモリーカード内の画像を一枚ずつ表示し、かんたんに印刷をすることもできます。（→ 55 ページ）

操作手順：
［◀］か［▶］で〈1 画像ずつ印刷〉を選び、［OK］を押します。［◀］か［▶］で画像を切りかえます。

- 指定した日付の範囲の写真だけを表示したり、印刷することができます。（→ 56 ページ）
- トリミング編集で印刷する範囲を指定することができます。用紙サイズや用紙の種類、フチのあり／なしを指定後、トリミング編集してください。（→ 56 ページ）

複数画像をまとめて印刷

写真ごとに印刷枚数を指定して印刷できます。設定を取り消してフォトメニュー画面に戻るには、［メニュー］を押してください。

操作手順：
［◀］か［▶］で〈複数画像をまとめて印刷〉を選び、［OK］を押します。［◀］か［▶］で画像を選び、［▲］か［▼］で部数を設定します。

- 指定した日付の範囲の写真だけを表示したり、印刷することができます。（→ 56 ページ）
- 印刷する写真を日付で絞り込む前に、すでに印刷枚数を指定した写真がある場合、その写真は指定する日付の範囲以外の写真であっても印刷されます。
- 写真ごとにトリミング編集で印刷する範囲を指定することができます。用紙サイズや用紙の種類、フチのあり／なしを指定後、トリミング編集してください。（→ 56 ページ）

いろいろな印刷

メモリーカードからは、次の 5 つの機能を使って印刷することもできます。［◀］か［▶］で〈いろいろな印刷〉を選んで［OK］を押してから、次のように操作してください。操作中に［ストップ／リセット］を押すと、1 つずつ前の画面に戻ります。

■ 絵はがきを作る（はがき印刷）

メモリーカード内の画像を利用して、オリジナルの絵はがきを作ることができます。

操作手順：

1.［◀］か［▶］で〈はがき印刷〉を選び、［OK］を押します。
2.［◀］か［▶］でレイアウトを選び、［OK］を押します。
3.［◀］か［▶］で印刷したい画像を選び、［OK］を押します。
4.［▲］か［▼］で部数を設定します。

設定値：
全面 フチあり／全面 フチなし／半分 フチあり／半分 フチなし

- この機能を設定すると、用紙サイズは〈はがき〉に設定されます。
- フチなしを設定したときは、用紙種類は〈フォトはがき〉か〈インクジェットはがき〉のみ選ぶことができます。
- 〈全面 フチなし〉で印刷すると、画像ははがき全体に印刷されるように少し拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。
- 〈全面 フチあり〉で印刷すると、フチの分だけ画像の周囲が欠けます。

■ シールを作る（シール紙印刷）

メモリーカード内の画像で、かんたんにシールを作ることができます。

操作手順：

1.［◀］か［▶］で〈シール紙印刷〉を選び、［OK］を押します。
2.［◀］か［▶］でレイアウトを選び、［OK］を押します。
3.［◀］か［▶］で印刷したい画像を選び、［OK］を押します。
4.［▲］か［▼］で部数を設定します。

設定値：
2 面シール／ 4 面シール／ 9 面シール／ 16 面シール

- オートシートフィーダに一度にセットできる枚数は 1 枚です。
- 用紙サイズ、用紙種類、フチのあり／なし、または日付のあり／なしは設定できません。

■ すべての画像を印刷

メモリーカードに保存されている画像をすべて印刷します。

操作手順：
［◀］か［▶］で〈すべての画像を印刷〉を選び、［OK］を押します。［▲］か［▼］で部数を設定します。

サーチモードで撮影日を指定することで、指定した日付の範囲の写真だけ印刷することができます。（→ 56 ページ）

■ 画像の一覧を印刷する（インデックス印刷）

メモリーカードに保存されているすべての画像の一覧が印刷されます。

操作手順：
［◀］か［▶］で〈インデックス印刷〉を選び、［OK］を押します。［▲］か［▼］で部数を設定します。

- サーチモードで撮影日を指定することで、指定した日付の範囲の写真だけ印刷することができます。（→ 56 ページ）
- フチのあり／なし、補正の設定はできません。

■ カメラの設定にしたがって印刷する（DPOF 印刷）

デジタルカメラで DPOF（Digital Print Order Format）の設定を行った場合、設定した内容にしたがった印刷が自動で行えます。

操作手順：

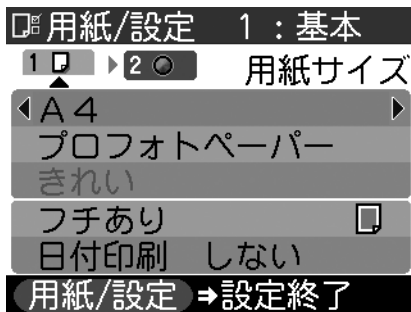
［◄］か［►］で〈DPOF 印刷〉を選び、［OK］を押します。

- 本機では、以下の DPOF 機能に対応しています。
  - – 対応画像形式：　CIFF, Exif(JPEG), JFIF
  - – プリントスタイル - スタンダードプリント：DPOF でスタンダードプリントを指定した写真を印刷
  - – プリントスタイル - インデックスプリント：DPOF でインデックスプリントを指定した写真を、本機のインデックス印刷のレイアウトに合わせて印刷
  - – 印刷写真の指定：　DPOF で指定した写真のみ印刷（操作パネルから指定できません）
  - – 印刷枚数の指定：　DPOF で指定した枚数を印刷（操作パネルから指定できません）
  - – 上記以外の機能（写真のコメントやタイトル、トリミング、写真回転など）には対応していません。
- 印刷は用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。用紙サイズにより、写真の上下左右がカットされて印刷される場合があります。
- 撮影日の日付並び順は、DPOF の設定にしたがって印刷されます。

用紙 / 設定（フォト）画面でできる設定

フォト画面で［用紙／設定］を押すと、用紙 / 設定（フォト）画面が表示されます。もう一度［用紙／設定］を押すと、設定を終了し、元の画面に戻ります。〈用紙 / 設定 1：基本〉と〈用紙 / 設定 2：補正〉を切りかえるには、［▲］でタブを選んで、［◄］か［►］を押して切りかえます。

用紙 / 設定 1：基本

印刷する用紙やフチのあり／なし、日付印刷などの設定ができます。

■ 用紙サイズを設定する

印刷をするときは、オートシートフィーダにセットした用紙のサイズを液晶モニターで設定してください。

操作手順：
［▲］か［▼］で〈用紙サイズ〉を選び、［◀］か［▶］で設定します。

設定値：
A4 ／レターサイズ／ L 判／ 2L 判／はがき

■ 用紙の種類を設定する

印刷をするときは、オートシートフィーダにセットした用紙の種類を液晶モニターで設定してください。

操作手順：
［▲］か［▼］で〈用紙種類〉を選び、［◀］か［▶］で設定します。

設定値：
普通紙／高品位専用紙／スーパーフォトペーパー／光沢紙／その他フォト紙／プロフォトペーパー／インクジェットはがき／フォトはがき／普通紙はがき

- 用紙サイズを〈はがき〉に設定したときだけ〈普通紙はがき〉、〈インクジェットはがき〉または〈フォトはがき〉を選ぶことができます。
- 用紙サイズを〈L 判〉または〈2L 判〉に設定したときは、用紙種類は〈プロフォトペーパー〉、〈スーパーフォトペーパー〉または〈その他フォト紙〉のみ選ぶことができます。

■ 画質をかえる

画質は〈きれい〉に設定されます。〈きれい〉以外を選ぶことはできません。

■ フチのあり／なしを設定する

フチのあり／なしを設定できます。

操作手順：
［▲］か［▼］で〈フチ〉を選び、［◀］か［▶］で設定します。

設定値：
フチあり／フチなし

用紙種類を〈普通紙〉、〈高品位専用紙〉または〈普通紙はがき〉に設定したときは、〈フチあり〉に設定されます。〈フチなし〉を選ぶことはできません。

■ 日付のあり／なしを設定する

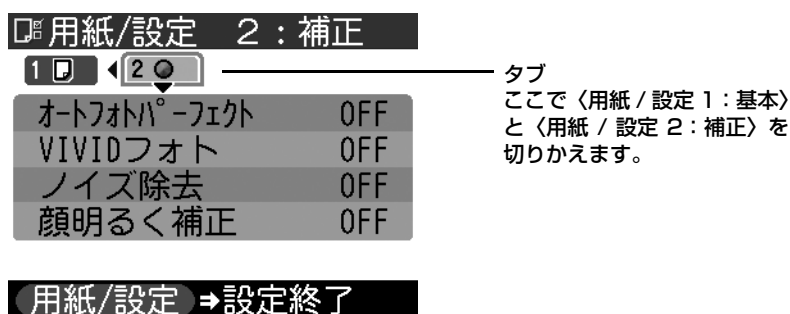
撮影日を印刷するかどうかを設定できます。

操作手順：
［▲］か［▼］で〈日付印刷〉を選び、［◀］か［▶］で設定します。

設定値：
日付印刷 しない／日付印刷 する

用紙 / 設定 2：補正

次の機能を使って印刷する写真を補正することができます。〈用紙 / 設定 1：基本〉と〈用紙 / 設定 2：補正〉を切りかえるには、[▲] でタブを選んで、[◀] か [▶] を押して切りかえます。

タブ
ここで〈用紙 / 設定 1：基本〉と〈用紙 / 設定 2：補正〉を切りかえます。

■ オートフォトパーフェクト

〈オートフォトパーフェクト ON〉を選ぶと、写真の色合いや明るさを自動で補正できます。

操作手順：
[▲] か [▼] で〈オートフォトパーフェクト〉を選び、[◀] か [▶] で設定します。

設定値：
ON/OFF

■ VIVID フォト

〈VIVID フォト ON〉を選ぶと、緑や青色をより鮮やかに印刷します。

操作手順：
[▲] か [▼] で〈VIVID フォト〉を選び、[◀] か [▶] で設定します。

設定値：
ON/OFF

■ ノイズ除去

〈ノイズ除去 ON〉を選ぶと、空などの青い部分や、暗い部分のノイズを軽減できます。

操作手順：
[▲] か [▼] で〈ノイズ除去〉を選び、[◀] か [▶] で設定します。

設定値：
ON/OFF

■ 顔明るく補正

〈顔明るく補正 ON〉を選ぶと、逆光の状態で暗く撮影された写真を補正して印刷します。

操作手順：
[▲] か [▼] で〈顔明るく補正〉を選び、[◀] か [▶] で設定します。

設定値：
ON/OFF

フォトナビシートを使って印刷しよう

本機では、フォトナビシートにマークをつけて印刷の設定をして、印刷したい写真を選ぶことにより、かんたんに写真を印刷することができます。マークをつけたフォトナビシートを読み込む（スキャンする）と、選択された画像が印刷されます。

次のように操作してください。

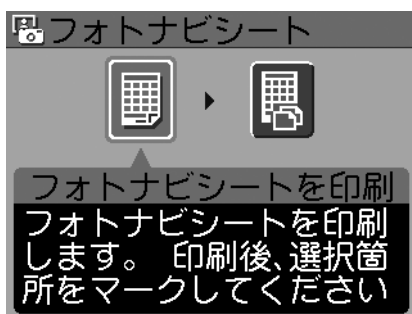
1 本機の電源を入れ、オートシートフィーダに A4 の用紙をセットします。

フォトナビシートを印刷するときは、白い紙を使用してください。

参考

- 用紙の種類については 21 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、23 ページをご覧ください。

2 メモリーカードをカードスロットに差し込み、[フォトナビシート] を押します。

メモリーカードの差し込み方は、51 ページをご覧ください。

3 [◀] か [▶] で、〈フォトナビシートを印刷〉を選び、[OK] を押します。

4 [◀] か [▶] で、フォトナビシートに印刷する画像データの範囲を選びます。

カードの画像を全て印刷：すべての画像をフォトナビシートに印刷します。

画像枚数を指定して印刷：最新の日付を基準に枚数を指定して印刷します。

日付から選んで印刷：　画像の日付の範囲を指定して印刷します。

〈カードの画像を全て印刷〉を選んだ場合：

1. **5 の操作に進みます。**

〈画像枚数を指定して印刷〉を選んだ場合：

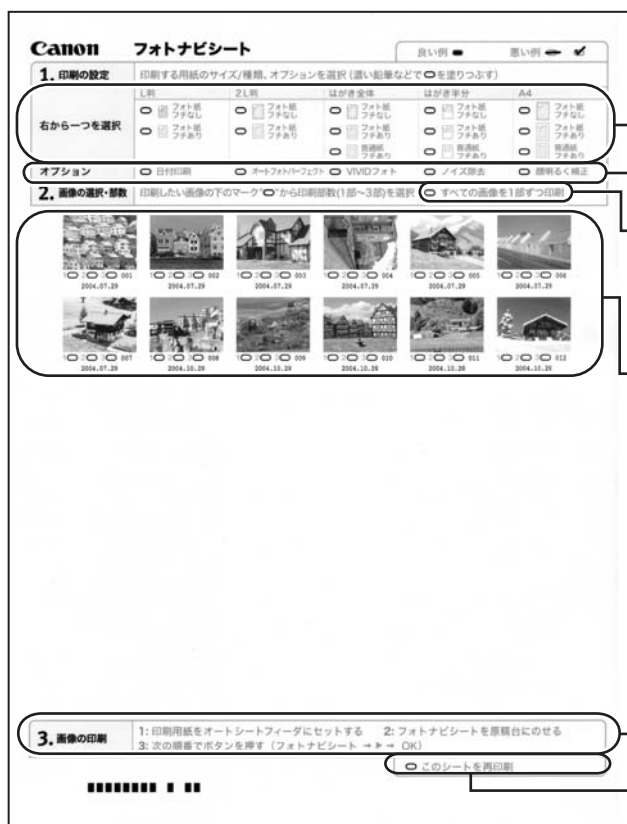
1. **[OK] を押します。**
2. **[▲] か [▼] で、最新の画像データを基準にして、何枚めまでを印刷するか選びます。**
3. **5 の操作に進みます。**

■〈日付から選んで印刷〉を選んだ場合：

1. ［OK］を押します。
2. ［◀］か［▶］で、絞り込む範囲の一番古い撮影日を指定し、［▼］を押します。
3. ［◀］か［▶］で、絞り込む範囲の一番新しい撮影日を指定します。
4. 5 の操作に進みます。

5 ［OK］を押します。

フォトナビシートが印刷されます。

37 枚以上の画像を印刷する場合は、複数枚のフォトナビシートが印刷されます。

用紙のサイズや印刷形式を選びます。

必要に応じて、日付印刷や VIVID フォトなどを選びます。（→ 60 ページ）

すべての画像を 1 部ずつ印刷したいときにマークをつけます。
※ マークをつけると各画像の部数にマークをつけても無効になり、すべて 1 部ずつ印刷されます。

印刷したい部数を選びます（画像の下にあるマークを塗りつぶします）。

印刷手順を確認し、実行します。

フォトナビシートをもう一度、印刷します。
※ マークをつけると他のマークはすべて無効になります。

6 フォトナビシートのマーク（⬭）を、濃い鉛筆などで塗りつぶして写真の選択や設定をします。

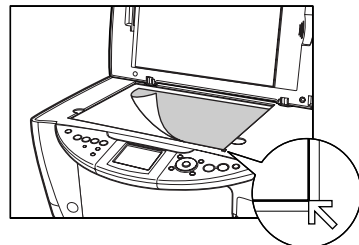
- 各項目で、もれがないように必ずマークを塗りつぶしてください。
- フォトナビシートが複数枚あるときは、それぞれのシートのマークを塗りつぶしてください。
- 塗りつぶしたマークが薄いと読み込まれないことがあります。

7 フォトナビシートで選んだ用紙をオートシートフィーダにセットします。

参考

フォトナビシートを使って画像を印刷する場合の用紙の種類は、L 判、2L 判、はがき、A4 を選ぶことができます。

8 本機の原稿台ガラスに、フォトナビシートを下向きにセットします。

マークを塗りつぶした面を下にして、フォトナビシートの左上が原稿台ガラスの右下にある矢印にぴったりと合うようにセットします。

9 ［フォトナビシート］を押します。

10 ［◀］か［▶］で、〈シート読取り & 写真印刷〉を選びます。

11 ［OK］を押します。

フォトナビシートが読み込まれ、指定した写真が印刷されます。

重要

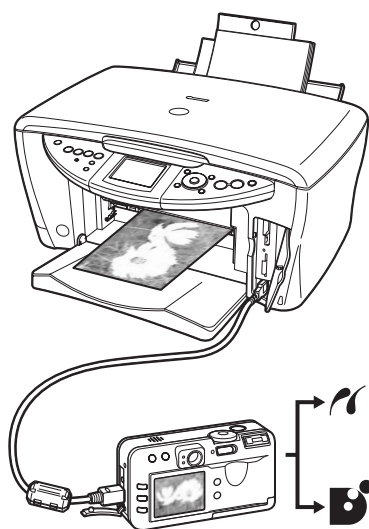
- 液晶モニターに〈フォトナビシートを読み取れませんでした〉と表示された場合は、［OK］を押してフォトナビシートにチェックマークもれがないか、またはフォトナビシートの向きや位置を確認してください。
- 塗りつぶしたマークが薄いと読み込まれないことがあります。
- 印刷中にメモリーカードを抜かないでください。
- 原稿台ガラスが汚れている場合、読み込まれないことがあります。（→ 110 ページ）

- 印刷を中止したい場合は、［ストップ／リセット］を押します。
- 2 枚目以降のフォトナビシートを使用して印刷したいときは、5 から操作をしてください。

7章 デジタルカメラと直接つないで印刷しよう

本機にデジタルカメラやデジタルビデオカメラを接続することで、デジタルカメラやデジタルビデオカメラからの操作で写真を直接印刷することができます。
本機と接続して写真を直接印刷できるのは“PictBridge”対応、またはキヤノン“Bubble Jet Direct”対応のデジタルカメラ、デジタルビデオカメラです。

- PictBridge とは、デジタルカメラで撮影した画像をコンピュータを介さずにダイレクトプリントしたり、多様なデジタルフォトソリューションを提供するために策定した標準規格です。いままで、各社独自の方法で製品化を進めていたため、接続可能なプリンタとデジタルカメラの組み合わせには制限がありましたが、今後は PictBridge を採用したデジタルカメラとプリンタがあれば、メーカーや機種を問わず、カメラ側からの簡単な操作で美しい画像を直接印刷することができます。
- キヤノン“Bubble Jet Direct”に対応（“PictBridge”非対応）したデジタルカメラやデジタルビデオカメラを本機に接続することで、デジタルカメラやデジタルビデオカメラの操作で、写真を各種のキヤノン専用紙に印刷することができます。

* 以降、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラを総称して、デジタルカメラまたはカメラとします。

“PictBridge”対応カメラから印刷（→ 67 ページ）
※ このマークが表示されているカメラは、PictBridge に対応しています。

キヤノン“Bubble Jet Direct”対応カメラから印刷(→ 69 ページ)
※ 対応機種（→ 154 ページ)。

* PictBridge に関する情報は、キヤノンホームページでご確認いただけます。canon.jp/pictbridge をご覧ください。

デジタルカメラを接続する

本機に対応のデジタルカメラを接続するときは、カメラに付属のUSBケーブル(パソコン接続用)を使用します。

警告

本機のカメラ接続部には、“PictBridge”対応、またはキヤノン“Bubble Jet Direct”対応のカメラ以外は、接続しないでください。火災や感電、本機の損傷の原因となる場合があります。

重要

- 本機を使用しているときに、USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- コピー、スキャナ、プリントで使用中の場合は、本機とデジタルカメラを接続しないでください。

- デジタルカメラを接続して印刷する場合、デジタルカメラの電源は、家庭用電源をお使いになることをおすすめします。バッテリーをお使いになるときは、フル充電されたバッテリーをお使いください。
- “PictBridge”対応のカメラから印刷する場合、ご使用のカメラの機種により、接続する前に“PictBridge”で印刷するモードに切りかえる必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。ご使用のカメラに付属の使用説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。

次のように操作してください。

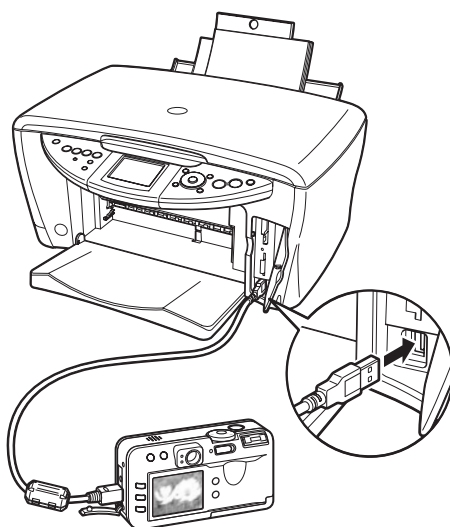
1 本機の電源を入れます。

2 オートシートフィーダに用紙をセットします。

- 用紙の種類については、21 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、23 ページをご覧ください。

3 デジタルカメラの電源がオフになっていることを確認します。

4 デジタルカメラに付属している USB ケーブルを使って、デジタルカメラと本機を接続します。

接続が完了すると、自動的にデジタルカメラの電源が入る機種もあります。電源が自動的に入らない機種をお使いの場合は、手動で電源を入れてください。

5 デジタルカメラから印刷できる状態にします。

カメラと本機の接続が確認されると、デジタルカメラの液晶モニターに次のマークが表示されます。

：“PictBridge”対応のカメラです。（→ 67 ページ）

：キヤノン“Bubble Jet Direct”対応のカメラです。（→ 69 ページ）

マークが表示されない場合は、「デジタルカメラからうまく印刷できない」（→ 140 ページ）を参照してください。

“PictBridge”対応カメラから印刷する

操作については、必ずご使用のカメラに付属の使用説明書にしたがってください。ここでは、本機を使用したときに“PictBridge”対応のデジタルカメラで設定できるペーパーサイズやペーパータイプ、レイアウト、イメージオプティマイズ、日付印刷について説明します。

■ カメラの設定を確認／変更するには

使用するペーパーサイズやペーパータイプなどを変更するときは、カメラ側の操作で“PictBridge”の印刷設定を開始し、設定内容を確認／変更してください。
カメラ側で次の該当項目を「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）に指定したときは、次の設定で印刷されます。

ペーパーサイズ（L 判）／ペーパータイプ（フォト）	スーパーフォトペーパー SP-101L
レイアウト	「フチなし」
トリミング	「切（トリミングなし）」
イメージオプティマイズ（画像補正）	「入（Exif Print）」
日付印刷	「切（撮影日を印刷しない）」

説明している項目について
ご使用のカメラにより、説明している項目が設定できない場合があります。設定できない項目については、説明中に「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）で明記してある設定にしたがって印刷されます。
※説明に使用している名称は、キヤノン製“PictBridge”対応のデジタルカメラを使用したときに表示される名称を例に説明しています。ご使用のカメラにより設定項目の名称は異なる場合があります。

●「ペーパーサイズ」／「ペーパータイプ」について
「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）を選んだときには、「ペーパーサイズ：L 判」「ペーパータイプ：スーパーフォトペーパー（「フォト」）」が設定されています。
※プロフェッショナルフォトペーパーに印刷するときはカメラ側で「ペーパータイプ」を「高級フォト」に、スーパーフォトペーパーに印刷するときは「ペーパータイプ」を「フォト」に設定してください。
「ペーパーサイズ」と「ペーパータイプ」の設定で、本機に設定できるのは次の用紙です。

「ペーパーサイズ」の設定	「ペーパータイプ」の設定	本機にセットする用紙
L 判（標準設定）	フォト（標準設定）	スーパーフォトペーパー SP-101 L
	フォト	• スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 L • エコノミーフォトペーパー　EC-101 L
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー　PR-101 L
2L 判	フォト	スーパーフォトペーパー SP-101 2L
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 2L
はがき	フォト	• フォト光沢ハガキ KH-201N • ピクサスプチシール・フリーカット　PS-201
	高級フォト	プロフェッショナルフォトはがき PH-101
8.9 × 25.4cm*1	フォト	スーパーフォトペーパー SP-101 パノラマ
A4	フォト	• スーパーフォトペーパー SP-101 A4 • スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 A4 • キヤノン光沢紙 GP-401 A4
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー　PR-101 A4

*1 パノラマサイズです。キヤノン製“PictBridge”対応のカメラのみ設定できます（機種によっては設定できない場合があります）。

●「レイアウト」／「トリミング」について

「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）を選んだときには、「レイアウト：フチなし」が設定されています。「トリミング」はカメラ側の設定にしたがいます。

●「イメージオプティマイズ」について

本機の設定（「標準設定」）は「入（Exif Print）」が設定されています。

●「日付印刷」について

「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）を選んだときには、「切（撮影日を印刷しない）」が設定されています。

- 本機で印刷できる画像データは、Exif/JPEG データです。
- 印刷中は USB ケーブルを絶対に抜かないでください。また、デジタルカメラと本機の USB ケーブルを取り外すときは、カメラに付属の使用説明書にしたがってください。
- デジタルカメラの操作で、次の機能は使用できません。
  – 印刷品質の設定
  – メンテナンス機能

キヤノン“Bubble Jet Direct”対応カメラから印刷する

キヤノン“Bubble Jet Direct”対応デジタルカメラ（PictBridge 非対応機種）から印刷できる用紙、印刷のしかたについて説明します。

キヤノン“Bubble Jet Direct”対応のデジタルカメラやデジタルビデオカメラの機種については、仕様一覧の「キヤノン "Bubble Jet Direct" プリント」（→ 154 ページ）を参照してください。

■ ダイレクト印刷に使用できる用紙について

キヤノン製の次の専用紙を使用できます。

デジタルカメラの用紙（ペーパー）設定	本機にセットする用紙
L 判	• スーパーフォトペーパー SP-101 L • プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 L • スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 L • エコノミーフォトペーパー EC-101 L
2L 判	• スーパーフォトペーパー SP-101 2L • プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 2L
はがきサイズ	プロフェッショナルフォトはがき PH-101
A4	• スーパーフォトペーパー SP-101 A4 • プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 A4 • スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 A4 • キヤノン光沢紙 GP-401 A4

■ デジタルカメラから印刷を開始する

本機とカメラを接続後、印刷する手順を説明します。

- デジタルカメラの操作については、デジタルカメラに付属の使用説明書を参照してください。印刷時のエラー表示と対処方法については「デジタルカメラからうまく印刷できない」（→ 140 ページ）を参照してください。
- デジタルビデオカメラの操作、印刷時のエラー表示と対処方法については、デジタルビデオカメラに付属の使用説明書を参照してください。

次のように操作してください。

1 デジタルカメラの再生モードで、印刷したい画像を表示します。

再生モードに切りかわらないときは、デジタルカメラに付属の使用説明書にしたがって再生モードに切りかえてください。

正しく接続されると、カメラの液晶モニターに が表示されます。

2 デジタルカメラの［SET］ボタンを押します。

デジタルカメラの液晶モニターに［プリント設定］画面が表示されます。

3 ［スタイル］を選び、用紙サイズ（ペーパー）、フチのあり／なし、日付印刷のオン／オフなどを指定します。

4 スタイルを設定後、印刷枚数を指定して［プリント］を選び、デジタルカメラの［SET］ボタンを押します。

- デジタルカメラの操作で、次の印刷ができます。
  - シングル再生またはインデックス再生中の画像をスタンダードプリントできます。
  - DPOF のプリント設定で、写真に設定した枚数を印刷したり、インデックスプリントすることができます。
    *JPEG の Exif 画像以外は、インデックスプリントできない場合があります。
  - Exif 2.2 対応デジタルカメラで撮影した画像は、オートフォトパーフェクト機能で自動的に補正します。
  - デジタルカメラで日付設定を有効にしている写真は、日付付きで印刷されます。
  - デジタルカメラで撮影した画像は、用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小して印刷します。
- デジタルカメラの操作で、次の機能は使用できません。
  - 印刷品質の設定
  - メンテナンス機能
- デジタルカメラと本機の USB ケーブルを取り外すときは、次の操作にしたがってください。
  1. 本機側の USB ケーブルを取り外す
  2. デジタルカメラの電源を切る
  3. デジタルカメラ側の USB ケーブルを取り外す
- USB ケーブルを取り外すときは、必ずコネクタの側面を持って取り外してください。

8章 赤外線通信で印刷する（プリントビーム）

本機は、携帯電話から赤外線通信を利用してワイヤレスで手軽に印刷できる「プリントビーム機能」に対応しています。「プリントビーム機能」を使うと、カメラ付き携帯電話で撮影した写真を、指定した用紙やレイアウトで印刷することができます。

赤外線通信を行うための条件

携帯電話からプリントビーム機能で正しく印刷を行うためには、以下の条件を満たしている必要があります。

対応機種
IrDA1.2 ポートを搭載し、IrMC バージョン 1.1 規格に準拠した携帯電話。
動作確認済みの携帯電話については、キヤノンピクサスホームページ canon.jp/pixus でご確認ください。
印刷可能なデータ
画像（JPEG のみ対応）

IrDA（Infrared Data Association）は、赤外線を使用してデータを送受信するための規格および制定する団体名称です。IrDA 規格は、業界標準となっており、IrDA がそのままインタフェースの呼称としても使われています。

赤外線通信印刷設定画面でできる設定

コピーメニュー画面、フォトメニュー画面、フィルムメニュー画面のいずれかで、〈メンテナンス / 各種設定〉→〈各種設定〉の順に選びます。[▲] か [▼] で〈赤外線通信印刷設定〉を選び、[OK] を押します。

お買い上げ時から何も設定を変更していない場合は、L 判のプロフォトペーパーに、フチありで印刷する設定になっています。

用紙サイズを設定する

携帯電話の写真を印刷するときの用紙サイズを設定できます。

操作手順：
[▲] か [▼] で項目を選び、[◄] か [►] で設定します。

設定値：
L 判／ 2L 判／はがき／シール／ A4 ／レターサイズ

用紙の種類を設定する

携帯電話の写真を印刷するときの用紙の種類を設定できます。

操作手順：
[▲] か [▼] で項目を選び、[◄] か [►] で設定します。

設定値：
普通紙／高品位専用紙／スーパーフォトペーパー／光沢紙／その他フォト紙／プロフォトペーパー／普通紙はがき／インクジェットはがき／フォトはがき

- 用紙サイズを〈L 判〉または〈2L 判〉に設定したときは、用紙種類は〈プロフォトペーパー〉、〈スーパーフォトペーパー〉または〈その他フォト紙〉のみ選ぶことができます。
- 用紙サイズを〈シール〉に設定したときは、用紙種類は〈高品位専用紙〉に設定されます。
- 用紙サイズを〈はがき〉に設定したときだけ、〈普通紙はがき〉、〈インクジェットはがき〉、または〈フォトはがき〉を選ぶことができます。

印刷レイアウトを設定する

携帯電話の写真を印刷するとき、用紙に合わせてレイアウトを設定できます。用紙サイズが〈はがき〉または〈シール〉のときには特別な設定ができます。

操作手順：
［▲］か［▼］で項目を選び、［◄］か［►］で設定します。

設定値：
フチあり／フチなし

用紙種類を〈普通紙〉または〈高品位専用紙〉に設定したときは、〈フチあり〉に設定されます。〈フチなし〉を選ぶことはできません。

■ 用紙サイズが〈はがき〉のとき

設定値：
全面 フチあり／全面 フチなし／半分 フチなし／半分 フチあり

用紙種類を〈普通紙はがき〉に設定したときは、〈全面 フチあり〉か〈半分 フチあり〉のみ選ぶことができます。

■ 用紙サイズが〈シール〉のとき

設定値：
2 面シール／ 4 面シール／ 9 面シール／ 16 面シール

キヤノン専用のシール紙で印刷するときは、以下のように設定してください。

用紙の名称	用紙サイズ	用紙種類	レイアウト
ピクサスプチシール PS-101	シール	高品位専用紙	16 面シール
フォトシールセット PSHRS	シール	高品位専用紙	印刷するシールに合わせて 2 面シール /4 面シール /9 面シール /16 面シール

赤外線通信で印刷する

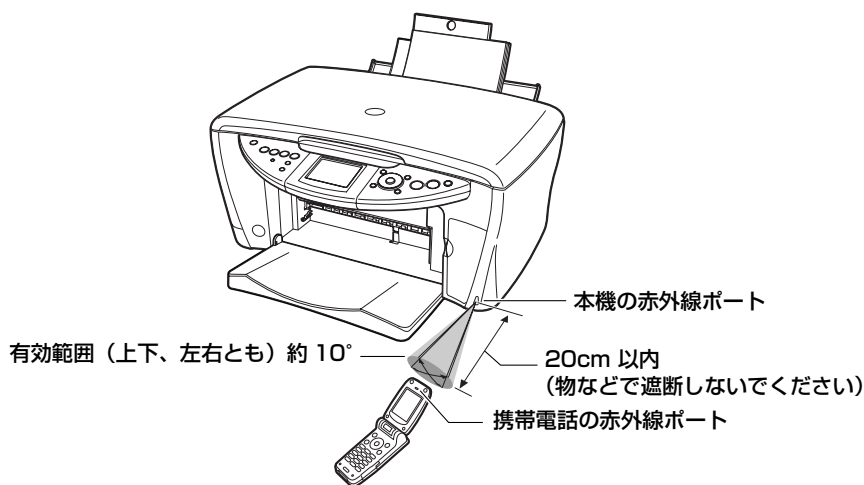
携帯電話の写真を赤外線通信で印刷できます。
赤外線通信で印刷を行う場合は、ご使用の携帯電話の使用説明書も併せてご覧ください。

1 本機の電源を入れます。

2 オートシートフィーダに用紙をセットします。

- 用紙の種類については、21 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、23、28 ページをご覧ください。

3 携帯電話の赤外線ポートを､本機の赤外線ポートと 20cm 以内の距離で正面に向き合うように置きます。

本機の赤外線ポートの有効角度は、左右、上下共に中心軸に対して約 10 度です。ただし、通信相手となる携帯電話によっては、本機との通信可能な距離が異なります。携帯電話に付属の使用説明書で確認してください。

4 印刷したい写真を選択し、携帯電話の赤外線ファイル転送機能で、データを本機に送信します。

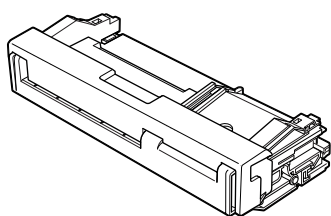
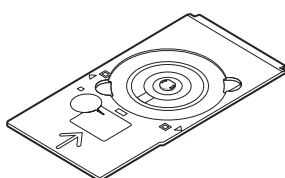
データの送信が終了すると、印刷が開始されます。

- 携帯電話から印刷する操作については、携帯電話に付属の使用説明書を参照してください。
- 本機の赤外線ポートと携帯電話の赤外線ポートの間に物などを置いて遮断しないでください。送受信ができなくなります。

- データを受信中は、本機と赤外線通信の接続を切らないように注意してください。もし切れてしまった場合は、本機の電源をオフにし、携帯電話の印刷を中止してください。
- 送信できるデータには、以下の制限事項があります。
  - 携帯電話のセキュリティ設定のため、ダウンロードしたコンテンツや、メールに添付された URL からダウンロードした写真等は印刷できません。
  - 動画は印刷できません。
  - ご使用の機種により、赤外線による転送容量に制限があるため、最高画質での印刷ができないことがあります。
  - 画像の大きさによって送信を開始してから印刷が開始されるまで時間がかかることがあります。
  - ご使用の機種により、メモリーカードに保存したデータは印刷できないことがあります。
  - 印刷される画像の品位と印刷される向き（縦または横）は、撮影した画像サイズによって自動的に設定されます。
  - 携帯電話で撮影した画像のサイズによっては、フチなしで印刷すると画像が切れたり、フチありで印刷すると余白の大きさが変わることがあります。
- 印刷して画像が粗くなるときは、シール紙などの小さいサイズの用紙で印刷することをおすすめします。

9章 CD-R に直接印刷してみよう

本機付属の CD-R トレイガイド、CD-R トレイを使うことで、CD-R や DVD-R（プリンタブルディスク）に画像を印刷することができます。また、セットアップ CD-ROM に付属のアプリケーション「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」または「Easy-PhotoPrint」を使うことで、印刷用の画像を編集・加工して印刷することができます。

用意するもの

CD-R トレイガイド

CD-R トレイ

8cmCD-R アダプタ
（8cmCD-R に印刷するときのみ）
*CD-R トレイに装着されています。

CD-R や DVD-R（プリンタブルディスク）

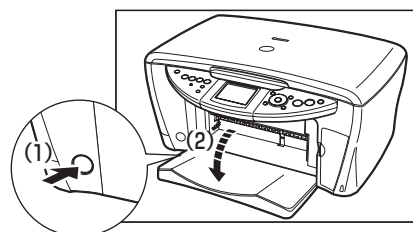
ラベル面がインクジェット方式のプリンタに対応した 12cm/8cm サイズの CD-R/DVD-R に印刷できます。推奨の CD-R や DVD-R を使うと、よりきれいな印刷結果を得ることができます。

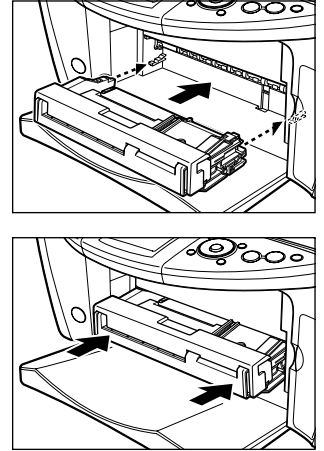
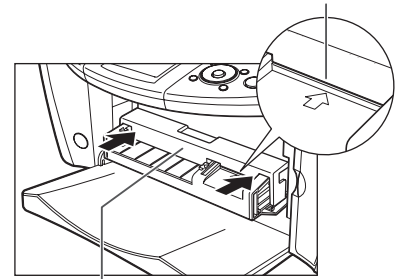
推奨する CD-R や DVD-R の情報は、不定期に更新されます。また、推奨品の仕様は予告なく変更されることがあります。最新情報については、canon.co.jp/support をご覧ください。

CD-R トレイガイドを取り付ける

本機の動作中に CD-R トレイガイドや CD-R トレイを取り付けないでください。

次のように操作してください。

1 排紙トレイオープンボタン（1）を押して、排紙トレイを開けます（2）。

2 排紙口に CD-R トレイガイドをのせて、すべらせるようにまっすぐ差し込みます。

カチッと音がするまで押しこんでください。

3 スライダを押しこみます。

CD-R をセットする

⚠ 注意

開封時に、8cmCD-R アダプタが装着されています。12cmCD-R/DVD-R の場合は、8cmCD-R アダプタを外してからご使用ください。

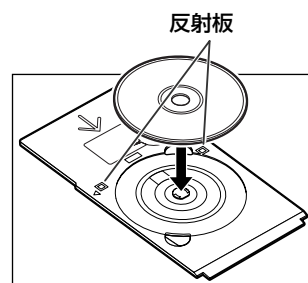
- **CD-R/DVD-R はできるだけ端を持ち、ラベル面（印刷面）、記録面に触れないでください。**
- **CD-R トレイに付いている反射板を汚したり、傷つけたりしないでください。CD-R トレイが汚れたときは、反射板に傷がつかないように柔らかい布などでふいてください。**
- **8cmCD-R に印刷するときは、付属の 8cmCD-R アダプタを取り付けてください。取り付けないと印刷品位が低下したり、8cmCD-R に傷がつくことがあります。**

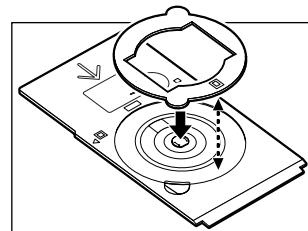
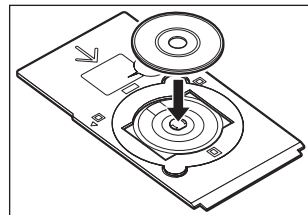
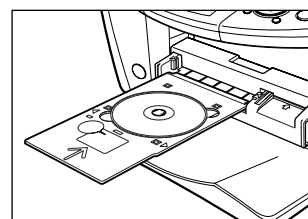
次のように操作してください。

1 CD-R/DVD-R を CD-R トレイにセットします。

セットするときにディスクの印刷面や反射板に触れないでください。

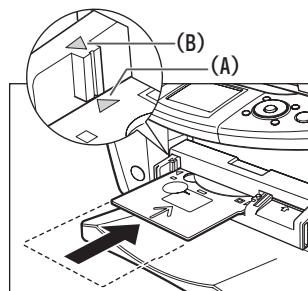
12cmCD-R/DVD-R のとき：

1. 印刷面を上にして、CD-R/DVD-R を CD-R トレイにセットします。
2. 2 の操作に進みます。

8cmCD-R のとき：

1. 8cmCD-R アダプタ両端の突起部分を、CD-R トレイ両端のくぼみに合わせて置きます。

2. 印刷面を上にして、8cmCD-R をセットします。

3. 2 の操作に進みます。

2 CD-R トレイを CD-R トレイガイドにセットします。

- アプリケーションを使ってCD-RやDVD-Rに印刷するときには、「CD-Rをセットしてください」という内容の画面が表示されるまで、CD-R トレイはセットしないでください。
- 準備動作中などに CD-R トレイをセットした場合、CD-R トレイが排出されることがあります。その場合は、画面の指示に従って再度 CD-R トレイをセットし直してください。

3 CD-R トレイの矢印と、CD-R トレイガイドの矢印がほぼ合うところまで入れます。

- CD-R トレイを矢印より先に無理に押しこまないでください。
- CD-Rトレイの矢印 (A) と、CD-Rトレイガイドの矢印 (B) の位置を確認してください。

CD-R に印刷する

セットアップ CD-ROM に付属のアプリケーション「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」または「Easy-PhotoPrint」を使って、CD-R や DVD-R に印刷します。
まだインストールしていない場合は、セットアップ CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして、[カスタムインストール] 画面で、「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」または「Easy-PhotoPrint」をインストールしてください。
ここでは「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」に付属の画像（Windows）およびテンプレート（Macintosh）を使って、12cm サイズの CD-R や DVD-R に印刷する手順を説明します。
「Easy-PhotoPrint」については、『アプリケーションガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

重要

- インクジェット方式に対応していない CD-R/DVD-R に印刷すると、インクが乾かず、それ以降使用できなくなる恐れもありますので、印刷しないでください。
- CD-R/DVD-R への印刷は、データを書き込んだ後に行ってください。書き込みの前に印刷すると、指紋などの汚れやキズなどによって、書き込みのときにエラーが発生することがあります。
- CD-R/DVD-R の記録面には印刷しないでください。記録したデータが読めなくなることがあります。
- 「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」または「Easy-PhotoPrint」以外のアプリケーションを使って印刷すると、CD-R トレイが汚れることがあります。
- CD-R/DVD-R の印刷中に、CD-R トレイガイドを取り外さないでください。破損の原因になります。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避けて、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。

次のように操作してください。

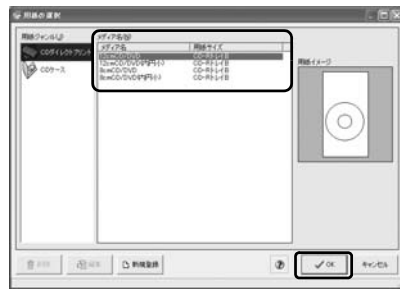
Windows

1 タスクバーの [スタート] ボタンから、[（すべての）プログラム] → [らくちん CD ダイレクトプリント for Canon] → [らくちん CD ダイレクトプリント for Canon] をクリックします。

「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」が起動します。

2 [用紙選択] をクリックします。

3 ［メディア名］から CD-R/DVD-R のサイズを選びます。

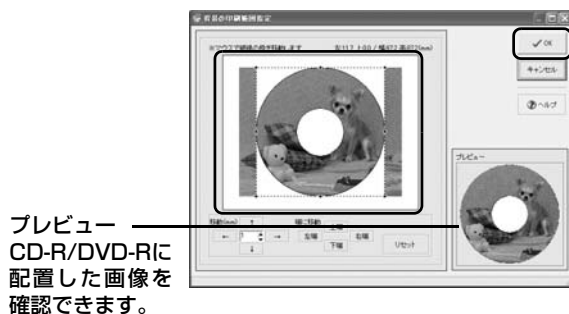
通常のCD-R/DVD-Rよりも内円が小さいCD-R/DVD-Rに印刷する場合は、［12cmCD/DVD（内円小）］または［8cmCD/DVD（内円小）］を選んでください。

4 ［OK］をクリックします。

5 本機の名称に設定されていることを確認し、［Step 1 背景イメージ］をクリックして［選択］をクリックします。

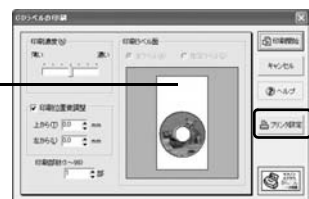
6 ［種類］の▼をクリックして背景にしたい画像の種類を選び、背景にしたい画像を選んで［OK］をクリックします。ここでは［写真］を選び、［No.1］の画像を選びます。

7 ［調整］をクリックします。

8 背景の画像の位置を調整し、[OK] をクリックします。

プレビュー
CD-R/DVD-Rに配置した画像を確認できます。

9 [Step 3 印刷] をクリックします。

10 [プリンタ設定] をクリックします。

印刷ラベル面
この画面は CD-R トレイ（長方形）とプリンタブルディスク（円形）の印刷イメージを表しています。画面の下側が CD-R トレイの先端部分になりま

11 ご使用の CD-R/DVD-R、印刷データに合わせて各項目を設定します。

カートリッジ：[フォト]

用紙種類：　[プリンタブルディスク（推奨品）] か [プリンタブルディスク（その他）]

印字品質：　[標準] か [はやい]

12 [OK] をクリックします。

13 [CD ラベルの印刷] 画面が表示されたら、[印刷開始] をクリックします。

CD-R トレイをすでにセットしていた場合、CD-R トレイが排出されることがあります。その場合は、14 の画面が表示されるまでお待ちください。

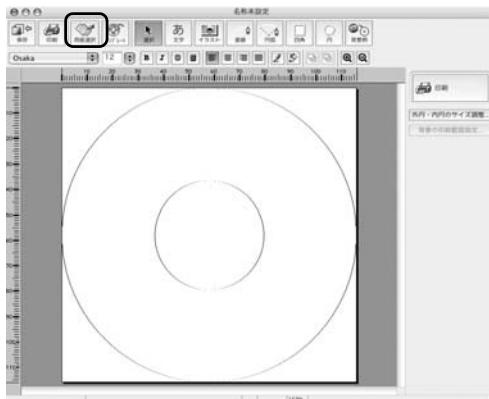
14 メッセージが表示されたら内容を確認し、[OK] をクリックします。

印刷が開始されます。

「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」の詳しい使い方については、らくちん CD ダイレクトプリント for Canon の「操作説明」をご覧ください。タスクバーの［スタート］ボタンから、[(すべての) プログラム] → [らくちん CD ダイレクトプリント for Canon] → [操作説明] をクリックするとご覧になれます。

Macintosh

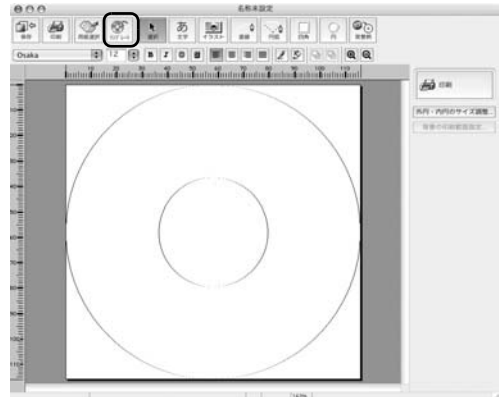
1 らくちんCDダイレクトプリントfor Canonをインストールしたハードディスクアイコン→ [アプリケーション] フォルダ→ [CD ダイレクトプリント] フォルダを順にダブルクリックし、[CD ダイレクトプリント] をダブルクリックします。

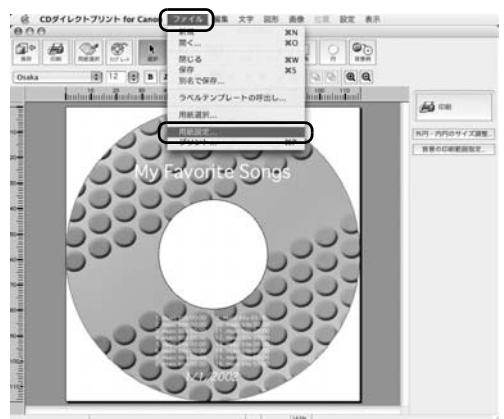
「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」が起動します。

2 [用紙選択] をクリックします。

3 [メディア名] から CD-R/DVD-R のサイズを選びます。

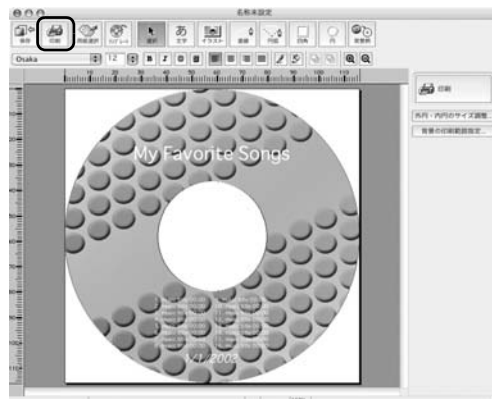
通常の CD-R/DVD-R よりも内円が小さい CD-R/DVD-R に印刷する場合は、[12cmCD/DVD（内円小）] または [8cmCD/DVD（内円小）] を選んでください。

4 [OK] をクリックします。

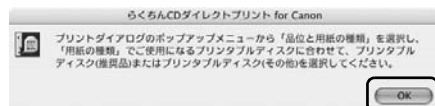
5 [テンプレート] をクリックします。

6 どちらかの画像を選び、[OK] をクリックします。ここでは左側の画像を選びます。

7 [ファイル] メニューの [用紙設定] をクリックします。

8 [対象プリンタ] で本機を選び、各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

用紙サイズ：[CD-R トレイ]
方向：　　　[縦]
拡大縮小：　[100%]

9 [印刷] をクリックします。

10 [印刷開始] をクリックします。

印刷ラベル面
この画面は CD-R トレイ（長方形）とプリンタブルディスク（円形）の印刷イメージを表しています。画面の下側がCD-Rトレイの先端部分になります。

11 [OK] をクリックします。

12 ご使用の CD-R/DVD-R、印刷データに合わせて各項目を設定します。

用紙の種類： [プリンタブルディスク（推奨品）] か [プリンタブルディスク（その他）]

給紙方法： [ディスクトレイ]

印刷設定： [写真をきれいに印刷] または [図表やグラフをきれいに印刷]

13 [プリント] をクリックします。

14 メッセージが表示されたら内容を確認し、[OK] をクリックします。

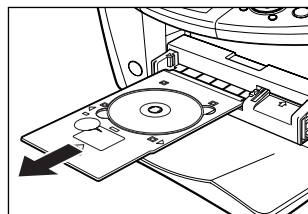
印刷が開始されます。

「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」の詳しい使い方については、らくちん CD ダイレクトプリント for Canon のマニュアルをご覧ください。らくちん CD ダイレクトプリント for Canon をインストールしたハードディスクアイコン→ [アプリケーション] フォルダ→ [CD ダイレクトプリント] フォルダ→ [マニュアル] フォルダを順にダブルクリックし、[マニュアル .html] をダブルクリックするとご覧になれます。

印刷が終わったら

印刷中は、CD-R トレイが本機の中へ引きこまれます。CD-R トレイが、最初にセットした位置まで戻ったら印刷は終わりです。

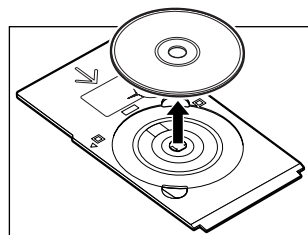
次のように操作してください。

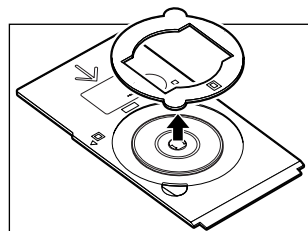
1 CD-R トレイを手前に引いて取り出します。

2 印刷面が十分に乾いたら、CD-R/DVD-R を取り出します。

注意

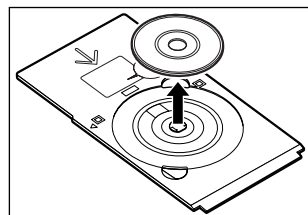
取り出す際に印刷面に触れないでください。

12cmCD-R/DVD-R のとき：

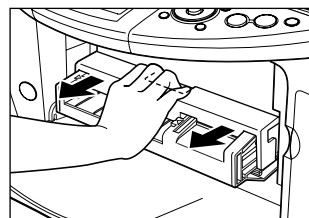
1. CD-R トレイから CD-R/DVD-R を取り出します。

8cmCD-R のとき：

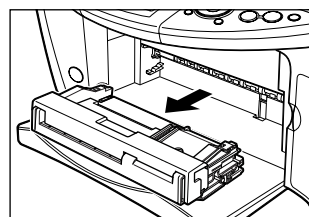
1. 8cmCD-R アダプタを取り外します。

2. 8cmCD-R を取り出します。

CD-R トレイガイドを取り外す

重要

取り外すときは、次の手順を守ってください。一度に外すと CD-R トレイガイドを落とし、破損の原因になります。

次のように操作してください。

1 スライダの溝に指をかけて、スライダを手前に引きます。

2 スライダを図のように引き出し、CD-R トレイガイドを本体から引き抜きます。

これで CD-R トレイガイドの取り外しは完了です。

10章 本機のソフトウェアについて知っておこう

パソコンと接続するにはインストールが必要です

本機とパソコンを接続してご利用になる場合は、本機付属のセットアップ CD-ROM に含まれているソフトウェアをインストールする必要があります。インストールの手順は、『かんたんスタートガイド（ソフトウェアインストール編）』をご覧ください。

ソフトウェアの機能についての詳細は、『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

必要なシステム

ソフトウェアをインストールして使うには、お使いのパソコンが次の条件を満たしている必要があります。

Windows

- CD-ROM ドライブ、またはネットワーク上で共有されている CD-ROM ドライブ
- 256 色対応の SVGA 以上のモニタ（High Color 以上を推奨）
  - 表示解像度 800 × 600 ドット以上、32000 色以上の SVGA モニタ（High Color 以上を推奨）
- IBM PC/AT 互換機
- Microsoft Internet Explorer バージョン 4.01（Service Pack*2）以降
- 130MB 以上（200MB 以上を推奨）の空きがあるハードディスク
  - MP ドライバ：　130MB 以上の空き容量
  - MP Navigator：　50MB 以上の空き容量
- USB2.0 Hi-Speed で使用する場合：
  本機には USB2.0 Hi-Speed 対応のコネクタが装備されています。Hi-Speed モードは大幅に通信速度を向上させた高速 USB モードです。ただし、使用する環境が USB2.0 Hi-Speed に対応している必要があります。USB2.0 Hi-Speed モードでご使用の場合は USB2.0 Hi-Speed インタフェースが標準で装備されているパソコンと接続してください。
  USB ケーブルは本機に付属されている USB ケーブル、または 3m 以内の 2.0 対応のケーブルを使用してください。

オペレーションシステム（OS） ＊日本語版のみ対応	CPU	必要なメモリ容量
Microsoft Windows 2000 Professional（Service Pack*4 以降）	Pentium/Celeron 566MHz プロセッサ以上	128MB 以上（256MB 以上を推奨）
Microsoft Windows XP Professional/Home Edition（Service Pack*1 以降）		

- USB2.0 Hi-Speed インタフェースを標準装備したパソコンのすべての動作を保証するものではありません。

- USB2.0 Hi-Speed インタフェースは USB Full-Speed（USB1.1 相当）に完全上位互換ですので、USB Full-Speed（USB1.1 相当）としてもご使用いただけます。
- Windows 2000 Professional でご利用いただくためには、Windows 2000 Professional に Service Pack*4 以降がインストールされている必要があります。
- Windows XP でご利用いただくためには、Windows XP に Service Pack*1 以降がインストールされている必要があります。

●USB Full-Speed（USB1.1 相当）で使用する場合：
USB Full-Speed で使用する場合は、パソコンが次の条件を満たしている必要があります。USB ケーブルは本機に付属されている USB ケーブル、または 3m 以内の USB-IF 認定の USB ケーブルを使用してください。

オペレーションシステム（OS） **＊日本語版のみ対応**	**CPU**	**必要なメモリ容量**
Microsoft Windows 98	Pentium/Celeron 233MHz プロセッサ以上 （300MHz 以上を推奨）	64MB 以上（128MB 以上を推奨）
Microsoft Windows Me		
Microsoft Windows 2000 Professional		
Microsoft Windows XP Professional/Home Edition	Pentium/Celeron 300MHz プロセッサ以上	

* Service Pack とは Windows 自体のトラブルを修正するためのプログラムで、Microsoft 社から提供されております。Service Pack の入手方法は、Microsoft 社にお問い合わせください。

- パソコンにどの Service Pack がインストールされているかは、次の方法で確認できます。
  1. ［マイ コンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］をクリックします。
  2. ［全般］タブの［システム］に現在インストールされている Service Pack が表示されます。

パソコンに本機を接続して印刷または画像を読み込んでいるときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときに USB ケーブルを抜き差ししないでください。

Windows 2000/XP 使用時のユーザ権限について

Windows 2000 にソフトウェアをインストールするときは、Administrator としてログオンするか、Administrator 権限が必要です。Windows XP にインストールするときは、管理者としてログオンする必要があります。
使用時は、Users 権限以上のユーザでログオンしてください。

パソコンにソフトウェアをインストールしたり、ユーザを管理する権限を Administrator と呼びます（Windows XP では、管理者と呼ぶこともあります）。

Macintosh

●CD-ROM ドライブ、またはネットワーク上で共有されている CD-ROM ドライブ
●256 色対応の SVGA 以上のモニタ（32000 色以上を推奨）
 - 表示解像度 800 × 600 ドット以上
●オペレーションシステム（OS）日本語版のみ対応
 - Mac OS X v.10.2.4 以上（USB Full-Speed (USB 1.1 相当) で使用する場合）
 - Mac OS X v.10.2.7 以上（USB2.0 Hi-Speed で使用する場合）
●Microsoft Internet Explorer 5.0 以降
●128MB 以上のメモリ

●110MB 以上の空きがあるハードディスク
- MP ドライバ：　　100MB 以上の空き容量
- MP Navigator：　200MB 以上の空き容量
●USB インタフェース

パソコンに本機を接続して印刷または画像を読み込んでいるときや、パソコンがスリープモードやスタンバイモードのときにUSB ケーブルを抜き差ししないでください。

Mac OS X 使用時のユーザ権限について

Mac OS X にソフトウェアをインストールするときは、管理者としてログインする必要があります。

Classic 環境使用時について

本機は Mac OS X Classic 環境には対応していません。

セットアップ CD-ROM に含まれるソフトウェア

本機には、次のソフトウェアが含まれています。各ソフトウェアの機能については『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）、または各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

MP ドライバ

●プリンタドライバ（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
　印刷機能のあるアプリケーションから印刷するときに使います。
●スキャナドライバ（ScanGear MP、WIA ドライバ（Windows XP のみ））（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
　パソコンに画像を読み込むときに使います。

MP ドライバをインストールすると、ScanGearStarter（Windows）または ScanGear Starter 1.0J（Macintosh）もインストールされます。ScanGearStarter（Windows）または ScanGear Starter 1.0J（Macintosh）は、ScanGear MP を起動して、読み込んだ画像をいろいろなファイル形式で保存するソフトウェアです。

MP Navigator

パソコンに画像を読み込んだり、保存するときに使います。

アプリケーション

アプリケーションについては、9 ページをご覧ください。

アプリケーションを［カスタムインストール］でインストールするときは、MP ドライバと MP Navigator も一緒にインストールしてください。

画像の読み込みと設定は MP Navigator で

MP Navigator を使うと、原稿台ガラスにセットされた原稿を読み込んだり、パソコンに保存された画像データを表示することができます。読み込んだ原稿はプレビューで確認でき、さまざまな目的に応じて手軽に印刷や加工などをすることができます。
また、読み込んだ原稿を本機付属のアプリケーションで編集／印刷することもできます。

Windows

デスクトップの［MP Navigator 1.1］アイコンをダブルクリックすると起動します。

Macintosh

MP Navigator をインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダを順にダブルクリックし、［MP Navigator 1.1］アイコンをダブルクリックすると起動します。

MP Navigator から起動できるアプリケーションは、次のとおりです。

●Easy-PhotoPrint（焼き増し印刷）
●PhotoRecord（レイアウト印刷）（Windows のみ）
●らくちん ＣＤ ダイレクトプリント for Canon（CD-R 印刷）
●ArcSoft PhotoStudio（写真画像の編集）
●読取革命 Lite（文書をテキストに変換）

［カスタムインストール］で MP ドライバと MP Navigator のみをインストールした場合は、アプリケーションは起動できません。MP Navigator から上記のアプリケーションを起動したい場合は［カスタムインストール］で個別にインストールしてください。

ソフトウェアのアンインストール（削除）と再インストール

MP Navigator や MP ドライバが必要なくなった場合や、正しくインストールされなかったときは、アンインストール（削除）してください。
Windows 2000 からソフトウェアをアンインストール（削除）するときは、Administrator としてログオンするか、Administrator 権限が必要です。Windows XP からアンインストール（削除）するときは、管理者としてログオンする必要があります。
Mac OS X からアンインストール（削除）するときは、管理者の権限が必要です。

Windows

MP Navigator や MP ドライバを削除するときは、MP Navigator、ScanGearStarter、MP ドライバの順に削除してください。MP ドライバを先に削除すると 、スタートメニューのプログラムの中に［Canon］フォルダが残る場合があります。

MP Navigator を削除するには

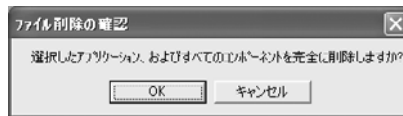
次のように操作してください。

Windows

1 **MP Navigator など、起動しているアプリケーションをすべて終了します。ウイルスチェックプログラムも終了してください。**

MP Navigator は、画面右下の［閉じる］または画面右上の［×］をクリックすると終了します。

終了してよいかをたずねるメッセージが表示されたら、[OK] をクリックしてください。

2 **タスクバーの［スタート］ボタンから、[（すべての）プログラム］→［Canon］→［MP Navigator 1.1］→［MP Navigator アンインストール］をクリックします。**

3 **[OK］をクリックします。**

4 **[完了］をクリックします。**

Macintosh

1 **MP Navigator など、起動しているアプリケーションをすべて終了します。ウイルスチェックプログラムも終了してください。**

MP Navigator は、画面右下の［閉じる］または画面左上の［×］をクリックすると終了します。

2 **MP Navigator をインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダを順にダブルクリックし、[MP Navigator 1.1］アイコンをゴミ箱に入れます。**

ユーザ名とパスワードを入力してください。

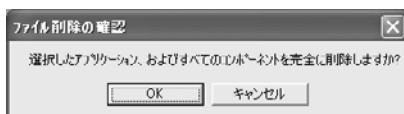
3 **パソコンを再起動します。**

MP ドライバを削除するには

次のように操作してください。

Windows

1 起動しているアプリケーションをすべて終了します。ウイルスチェックプログラムも終了してください。

2 タスクバーの［スタート］ボタンから、［（すべての）プログラム］→［Canon］→［ScanGearStarter］→［ScanGearStarter のアンインストール］をクリックします。

3 ［OK］をクリックします。

4 タスクバーの［スタート］ボタンから、［（すべての）プログラム］→［Canon］→［MP ドライバ 8.0］→［ドライバアンインストール］をクリックします。

5 「削除するデバイスを選択してください。」と表示されたら、［MP900 Series］を選んで［実行］をクリックします。

MP ドライバを削除してよいかをたずねるメッセージが表示されたら、［はい］をクリックしてください。

6 完了をクリックします。

再起動を促すメッセージが表示されたら、パソコンを再起動してください。

パソコンを再起動したときは、パソコンが起動する前に USB ケーブルを外してください。

7 USB ケーブルをパソコンと本機から外します。

Macintosh

1. 起動しているアプリケーションをすべて終了します。ウイルスチェックプログラムも終了してください。

2. ScanGear Starter 1.0J をインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダを順にダブルクリックし、［ScanGear Starter 1.0J］フォルダをゴミ箱に入れます。

   ユーザ名とパスワードを入力してください。

3. MP ドライバをインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダを順にダブルクリックし、［ユーティリティ］フォルダ→［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X v.10.2.x のときは、［ユーティリティ］フォルダ→［プリントセンター］）を順にダブルクリックします。

4. ［プリンタリスト］で登録されているすべての BJ プリンタを選び、［削除］をクリックします。

5. MP ドライバをインストールしたハードディスクアイコン→［ライブラリ］フォルダ→［Printers］フォルダ→［Canon］フォルダを順にダブルクリックし、［BJPrinter］フォルダをゴミ箱に入れます。

   ユーザ名とパスワードを入力してください。

6. パソコンを再起動します。

7. パソコンが起動する前に、USB ケーブルをパソコンと本機から外します。

■ 再インストールするには

MP Navigator、ScanGearStarter（Windows）または ScanGear Starter 1.0J （Macintosh）、MP ドライバの順に削除したあと、インストールの操作を行ってください。（→『かんたんスタートガイド（ソフトウェアインストール編）』）

PCパソコンから印刷しよう

印刷する前に

印刷前に次のことを確認してください。

コピーモード（[コピー］を押した後の状態)、スキャンモード（[スキャン］を押した後の状態)、フィルムダイレクトプリントモード（[フィルム］を押した後の状態)、フォトモード（[フォト］を押した後の状態）のどのモードでもパソコンから印刷することができます。

■ ソフトウェア（MP ドライバ）はインストールされていますか？

まだインストールしていないときは、『かんたんスタートガイド（ソフトウェアインストール編）』をご覧ください。

Windows

■ 本機を［通常使うプリンタ］に設定していますか？

本機が［通常使うプリンタ］に設定されている場合、アプリケーションで［印刷］画面を開くと、本機のプリンタ名が選択または表示されます。本機のプリンタ名が選択または表示されていない場合は、[通常使うプリンタ］に設定されていません。[通常使うプリンタ］に設定するときは、次のように操作してください。

重要

Windows 2000 では、プリンタドライバをインストールしただけでは［通常使うプリンタ］に設定されないことがあります。[通常使うプリンタ］に設定したいときは、必ず次のように操作してください。

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、[コントロール　パネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX]（Windows XP 以外のときは、[スタート］ボタンから［設定］→［プリンタ］）をクリックします。

2 [プリンタと FAX］画面（Windows XP 以外のときは、[プリンタ］画面）で本機のプリンタのアイコンをクリックします。

3 [ファイル］メニューで、[通常使うプリンタに設定］をクリックします。

Macintosh

■ 本機をデフォルトプリンタに設定していますか？

本機がデフォルトプリンタに設定されている場合、アプリケーションで［プリント］画面を開くと、本機のプリンタ名が表示されます。本機のプリンタ名が表示されていない場合は、デフォルトプリンタに設定されていません。デフォルトプリンタに設定するときは、次のように操作してください。

1 アップルメニューで［システム環境設定］を開き、［プリントとファクス］をクリックします。

2 開いた画面で［プリント］をクリックし、［“プリント”画面で選択されるプリンタ］ポップアップメニューから本機を選びます。

■ オートシートフィーダに適切な用紙がセットされていますか？

詳しくは、3 章をご覧ください。

印刷する

MP ドライバをインストールすると、印刷機能があるアプリケーションから、印刷ができるようになります。印刷の手順は、アプリケーションによって異なります。ここでは、一般的な印刷の手順を説明します。実際の操作は、印刷に使うアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

パソコンに本機を接続して印刷しているときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときに USB ケーブルを抜き差ししないでください。

ご使用のアプリケーションにより、表示される画面が異なる場合があります。
なお、本書では表示される画面の例として、Windows XP および Mac OS X v.10.3.x の画面を使用しています。

次のように操作してください。

Windows

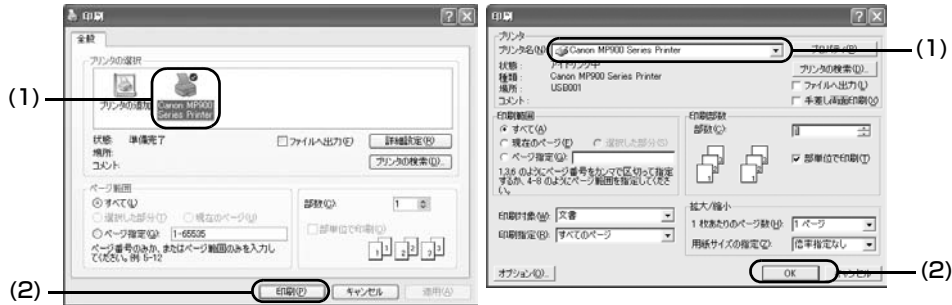
1 オートシートフィーダに用紙をセットします。（→ 23 ページ）

2 アプリケーションで印刷する文書を開き、印刷のコマンドを選びます。

通常、［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

アプリケーションによっては、ツールバーの印刷ボタンをクリックして、現在のプリンタドライバの設定のままで印刷することもできます。

3 ［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］で、本機が選ばれていることを確認します。

選ばれていないときは、本機のプリンタ名 (1) を選んでください。

例：Word の場合

4 必要に応じて印刷設定を変更し､文書を印刷するボタン (2) をクリックします。

通常、印刷するボタンは［OK］または［印刷］です。

参考

- オートシートフィーダにセットする用紙は、アプリケーションで設定された用紙サイズに合わせてください。
- 設定の変更については『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

Macintosh

1 オートシートフィーダに用紙をセットします。（→ 23 ページ）

2 アプリケーションで印刷する文書を開き、印刷のコマンドを選びます。

通常、［ファイル］メニューの［プリント］をクリックします。

3 ［プリンタ］で本機が選ばれていることを確認します。

4 ［プリント］をクリックします。

- オートシートフィーダにセットする用紙は、アプリケーションで設定された用紙サイズに合わせてください。
- 設定の変更については『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

印刷を中止する

印刷を開始する前にキャンセルすることができます。また、印刷を開始したあとでも、キャンセルすることができます。

印刷が開始される前に中止する場合：

1.［印刷］画面で、印刷を中止するボタンをクリックします。
通常、このボタンは［キャンセル］です。

印刷が開始されたあとに中止する場合：

1. BJ ステータスモニタで［印刷中止］をクリックします。

本機の［ストップ／リセット］を押して、印刷を中止することもできます。

Macintosh

印刷が開始される前に中止する場合：

1.［プリント］画面で、印刷を中止するボタンをクリックします。
通常、このボタンは［キャンセル］です。

印刷が開始されたあとに中止する場合：

1. Dock 内にあるプリンタのアイコンをクリックして、中止したい印刷ジョブを選んで［削除］をクリックします。

本機の［ストップ／リセット］を押して、印刷を中止することもできます。

印刷の設定をかえる

印刷の設定は、文書を印刷するときに細かく調整することができます。詳しくは、オンラインヘルプまたは『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

Windows

印刷設定には、次の 2 つの方法があります。

●**プリントアドバイザーを使って設定をかえる**
画面に表示されるメッセージにしたがって順番に印刷設定を変更できます。

●**個別に設定をかえる**
設定をかえたい項目を設定画面からさがして印刷設定を変更します。

■ プリントアドバイザーを使って印刷設定をかえる

次のように操作してください。

1 オートシートフィーダに用紙をセットします。（→ 23 ページ）

2 アプリケーションで印刷する文書を開き、印刷のコマンドを選びます。
通常、［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

3 ［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］でプリンタを選び、［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。

4 プロパティまたは印刷設定画面の［基本設定］タブで、［プリントアドバイザー］をクリックします。

5 画面の表示にしたがって操作します。

■ 個別に設定をかえる

次のように操作してください。

1 オートシートフィーダに用紙をセットします。（→ 23 ページ）

2 アプリケーションで印刷する文書を開き、印刷のコマンドを選びます。
通常、［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

3 [印刷] 画面の [プリンタの選択] または [プリンタ名] でプリンタを選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックします。

4 プロパティまたは印刷設定画面で、変更したいタブや画面で設定を変更します。

変更したあとで、元の設定（インストールしたときの設定）に戻したいときは、[標準に戻す] をクリックします。

5 変更を確定して画面を閉じるときは、[OK] をクリックします。

変更した設定が適用されて画面が閉じます。

変更を取り消して画面を閉じるときは、[キャンセル] をクリックします。

Macintosh

印刷設定には、次の 2 つの方法があります。

● **[ページ設定] 画面の設定をかえる**

[ページ設定] 画面では、用紙サイズや印刷方向、拡大／縮小印刷など、ページに関する設定を行います。印刷の開始は [プリント] 画面から行います。

● **[プリント] 画面の設定をかえる**

[プリント] 画面では、用紙の種類や給紙方法、印刷の品位などを設定し、印刷を開始することができます。

■ [ページ設定] 画面の設定をかえる

次のように操作してください。

1 オートシートフィーダに用紙をセットします。（→ 23 ページ）

2 アプリケーションで印刷する文書を開き、用紙設定のコマンドを選びます。

通常、[ファイル] メニューの [用紙設定] または [ページ設定] をクリックします。

3 [対象プリンタ] で設定するプリンタ名を選びます。

4 [設定] のポップアップメニューから必要な項目を選んで、設定します。

[ページ設定] 画面の表示は、[設定] のポップアップメニューによって切りかわります。

5 ページ設定の設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

[設定] ポップアップメニューから [一覧] を選ぶと、[ページ設定] 画面で設定されている内容が表示されます。

■ [プリント] 画面の設定をかえる

次のように操作してください。

1 オートシートフィーダに用紙をセットします。(→ 23 ページ)

2 アプリケーションで印刷する文書を開き、印刷のコマンドを選びます。

通常、[ファイル] メニューの [プリント] をクリックします。

3 [プリンタ] で使用しているプリンタ名を選びます。

[プリンタリストを編集] を選ぶと、プリンタリストが表示されます。

4 ポップアップメニューから必要な項目を選んで、設定します。

[プリント] 画面の表示は、ポップアップメニューによって切りかわります。

5 次のいずれかの操作をします。

[プレビュー] を表示する：

1. [プレビュー] をクリックします。
   印刷する前に、どのような印刷結果になるかを画面に表示することができます。

PDF 形式として保存する：

1.［PDF として保存］をクリックします。

ポップアップメニューから［出力オプション］を選んで、［ファイルとして保存］にチェックマークをつけ、［フォーマット］で［PDF］を選んでも、原稿を PDF 形式で保存することができます。［保存］をクリックすると、保存するファイル名や保存場所を設定する画面が表示されます。

パソコンからファクス送信する（Mac OS X v.10.3 のみ）：

1.［ファクス］をクリックします。

パソコンの内蔵モデムを使用して、設定した内容で文書をファクス送信することができます。詳しい操作のしかたは、Macintosh のヘルプをご覧ください。

重要

パソコンから、本機を経由してファクス送信することはできません。

変更をキャンセルする：

1.［キャンセル］をクリックします。

印刷を開始する：

1.［プリント］をクリックします。

- ［プリセット］で［別名で保存］を選ぶと、［プリント］画面の設定を登録できます。登録する印刷設定の名前を入力し、［OK］をクリックします。登録した印刷設定は、呼び出したり編集したりできます。
  - 印刷設定を呼び出すには、［プリント］画面の［プリセット］から保存した印刷設定を選びます。
  - 登録した印刷設定を選択しているときに、［プリセット］から［名称変更］または［削除］を選ぶと、名称を変更したり、その設定を削除したりできます。
- ポップアップメニューから［一覧］を選ぶと、［プリント］画面で設定されている印刷設定の内容が表示されます。

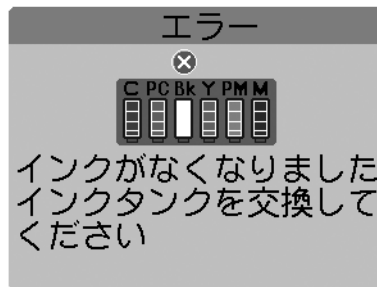
12章 お手入れ

インクタンクを交換する

重要

フィルムまたはメモリーカードから印刷中にインクを交換して復帰したとき、印刷中のデータはクリアされます。必要に応じて印刷し直してください。

■ インクタンクの交換時期

液晶モニターに、次の警告が表示されたら、インクタンクを交換してください。

きれいに印刷されないとき、または何も印刷されないときは、インクタンクを交換してください。ただし、インクタンクを交換する前に、105 ページのフローチャートを見て、ほかに原因がないか調べてください。

■ インク残量を確認する

液晶モニターでインク残量を確認することができます。

インク残量は充分にあります。

インクが約 7 割程度あります。

インクが約 4 割程度あります。

インク残量が少なくなっています。新しいインクタンクをご用意ください。

インクがなくなりました。インクタンクを交換してください。

■ 使えるインクタンクの種類

次のインクタンクを使うことができます。

⚠ 注意

- **プリントヘッドとインクタンクはお子様の手が届かない場所に保管してください。もし誤って飲み込んだときは、ただちに医師の診断を受けてください。**
- **最適な印刷品質を保つため、キヤノン製の指定インクタンクの使用をおすすめします。また、インクを詰めかえたインクタンクを使用することで発生した被害、損害などは、キヤノンでは保証しておりません。**
- **交換用インクタンクは新品のものを装着してください。使いかけのインクタンクを装着すると、ノズルが詰まる原因になります。また、インクタンク交換時期を正しくお知らせできません。**
- **最適な印刷品質を保つため、インクタンクは梱包箱に記載されている「推奨取付年月日」までに本機に取り付けてください。また、開封後 6ヶ月以内に使い切るようにしてください（本機に取り付けた年月日を、控えておくことをおすすめします）。**
- **印刷後の用紙にぬれた手で触ったり、水などをこぼしたりしないようにしてください。インクがにじむことがあります。**
- **インクタンクの交換はすみやかに行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。そのまま放置しておいたインクタンクを使うと、きれいに印刷できません。**

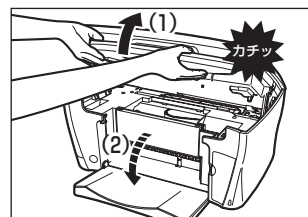
■ インクタンクを交換する

ここでは、インクタンクを交換する方法について説明します。インクタンクを交換する前に、「インクタンクの交換時期」（→ 101 ページ）をご覧ください。

次のように操作してください。

1 電源が入っていることを確認します。

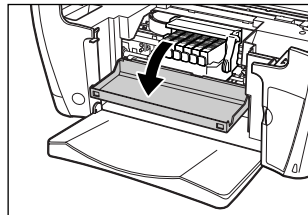
2 スキャナユニット（プリンタカバー）を止まるまで持ち上げます (1)。

電源が入っているときは、スキャナユニット（プリンタカバー）を持ち上げると自動的に排紙トレイが開きます（2）。排紙トレイが自動で開かないときは、左下にある排紙トレイオープンボタンを押して排紙トレイを開けます。

⚠ 注意

- **本機が動作中のときには、インクタンクを交換しないでください。**
- **CD-R トレイガイドがセットされていると、プリントヘッドは交換位置に移動しません。スキャナユニット（プリンタカバー）を閉じ、CD-R トレイガイドを取り外してから、もう一度スキャナユニット（プリンタカバー）を開けてください。**

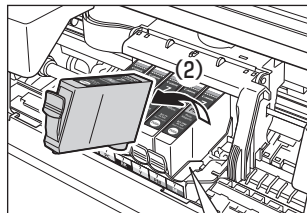
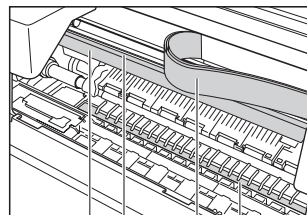
3 内カバーを開けます。

⚠ 注意

- プリントヘッドホルダを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。
- 本体内部の金属部分に触れないでください。

4 空のインクタンクの固定つまみを押して (1)、スロットから取り外します (2)。

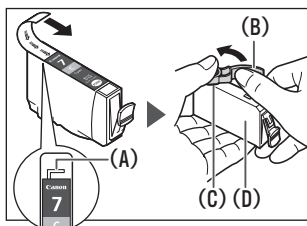
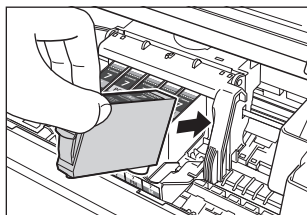
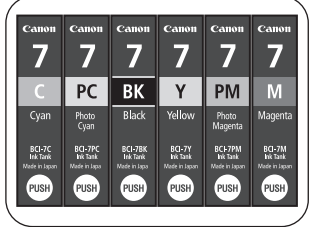
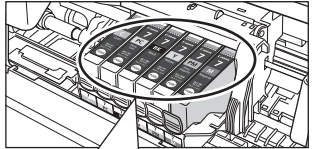
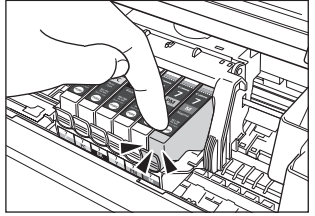
⚠ 注意

- プリントヘッドは、取り外さないでください。
- 複数のインクタンクを交換する場合でも、必ずひとつずつ交換してください。

重要

- 丸い軸 (A)、透明フィルム (B)、フィルムケーブル (C)、スポンジ部分 (D)、そのほかの金属部分には触れないでください。
- 使用済みのインクタンクの処分については、最終ページの「使用済みインクタンク回収のお願い」をご覧ください。
- インクが衣類などに付くと落ちにくいので注意してください。

(A) (B) (C) (D)

5 新しいインクタンクを袋から取り出し、オレンジ色のテープを矢印の方向に引っぱって、空気穴 (A) に保護フィルムが残らないようにきれいにはがします。図のように持って、オレンジ色の保護キャップ (B) を外します。

⚠ 注意

- インクタンクの横 (D) を持たないでください。インクが飛び出すことがあります。
- 保護キャップ (B) を外したあと、インクの出口 (C) には触れないでください。
- インクタンクをふったり落としたりしないでください。インクがもれて、服や手を汚すことがあります。また、インクタンクの包装は手順どおりに剥がしてください。
- 一度外した保護キャップは、再装着しないでください。

6 プリントヘッドにインクタンクを斜めに差し込みます。

7 カチッと音がするまでしっかりと押してください。

重要

- インクタンクが、その色に合ったスロットに入っていることを確認してください。
- インクタンクの位置を間違えて取り付けたときは、ヘッドリフレッシングを２回～３回行なってください。
- ヘッドリフレッシングを行うと、余分なインク（廃インク）が廃インク吸収体に吸収されます。ヘッドリフレッシングは、通常のクリーニングよりインクを消費しますので、必要な場合のみ行ってください。

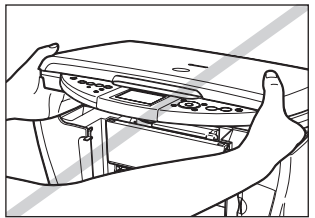
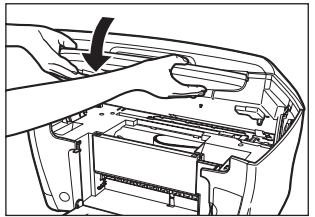
8 別の色のインクタンクを交換するときは、5～7の操作をくり返します。

9 内カバーを閉じます。

注意

内カバーの中央部をカチッと音がするまで押して閉じてください。

10 スキャナユニット（プリンタカバー）を閉じます。

注意

- スキャナユニット（プリンタカバー）は必ず両手でしっかり持ち、指などをはさまないように注意してください。
- 液晶モニターを持たないでください。

プリントヘッドのメンテナンス

インクがまだ十分あるのに印刷がかすれたり特定の色が出なくなったときには、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を確認した後に、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
また、色むらやすじがあるときは、プリントヘッドの位置調整を行うと状態が改善することがあります。

■ メンテナンス操作の流れ

メンテナンスを行う前に、次のことを確認してください。

– スキャナユニット（プリンタカバー）を開け、インクタンクにインクが残っているか確認してください。インクがない場合は、インクタンクを交換してください。（→ 102 ページ）
– インクタンクの包装フィルムが完全にはがされているか確認してください。（→ 102 ページ）
– インクタンクの「PUSH」の部分を押して、インクタンクがしっかりセットされていることを確認してください。（→ 102 ページ）
– インクタンクの取り付け位置が正しいことを確認してください。（→ 102 ページ）

Step 1
ノズルチェックパターンの印刷（→ 106 ページ）

パターンが欠けているとき

Step 2
プリントヘッドのクリーニング（→ 107 ページ）

クリーニング後、
ノズルチェックパターンを
印刷して確認

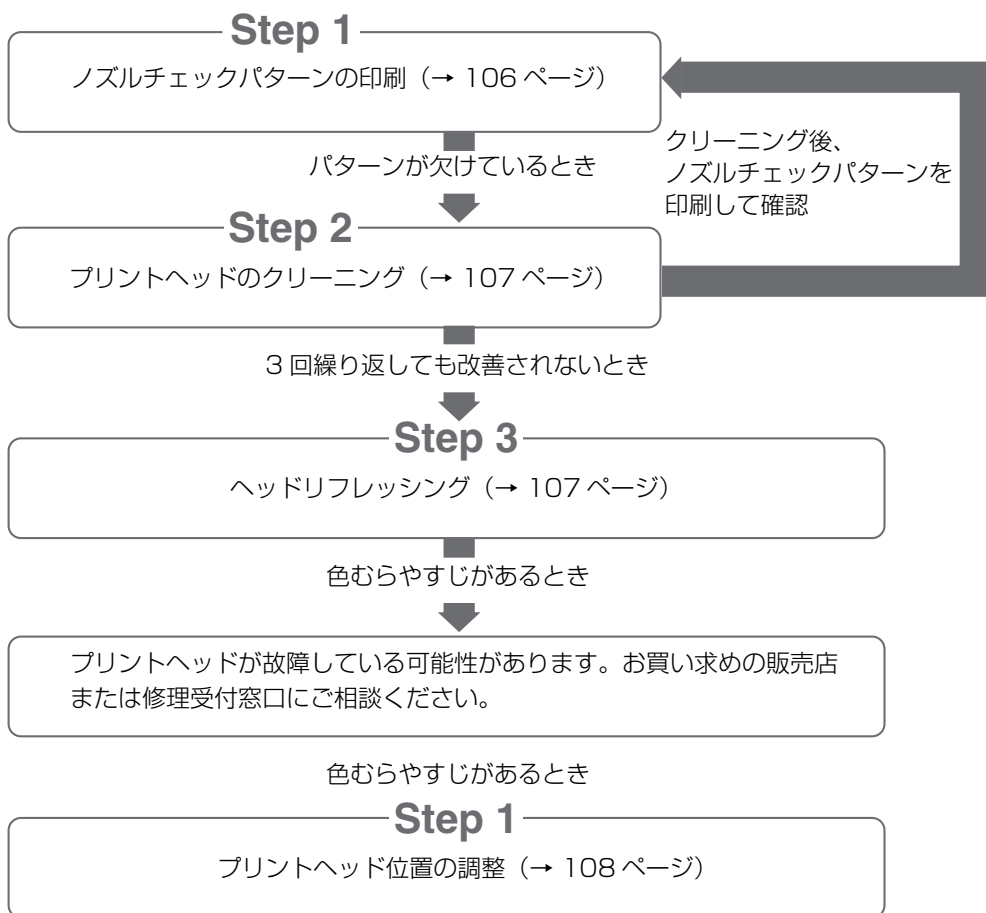
3 回繰り返しても改善されないとき

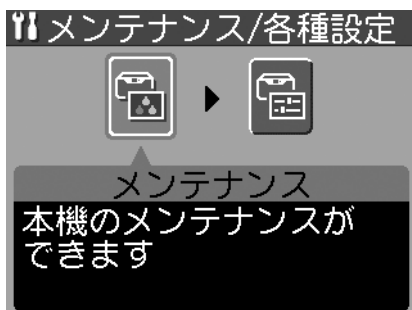
Step 3
ヘッドリフレッシング（→ 107 ページ）

色むらやすじがあるとき

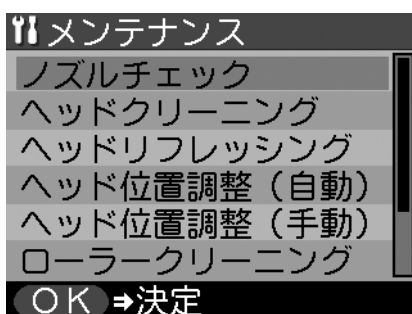
プリントヘッドが故障している可能性があります。お買い求めの販売店または修理受付窓口にご相談ください。

色むらやすじがあるとき

Step 1
プリントヘッド位置の調整（→ 108 ページ）

■ プリントヘッドのメンテナンス操作

1 コピーメニュー画面、フォトメニュー画面、フィルムメニュー画面のいずれかで、[◀] か [▶] で〈メンテナンス / 各種設定〉を選び [OK] を押します。

各メニュー画面の表示方法は、
- コピーメニュー画面（→ 35 ページ）
- フィルムメニュー画面（→ 44 ページ）
- フォトメニュー画面（→ 57 ページ）

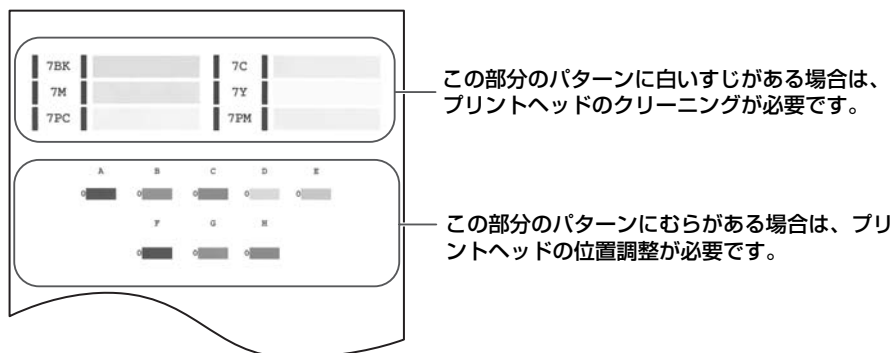
をご覧ください。

2 [◀] か [▶] で〈メンテナンス〉を選び、[OK] を押します。
メンテナンス画面が表示されます。

ノズルチェックパターンを確認する（ノズルチェック）

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するときは、ノズルチェックパターンを印刷します。

操作手順：

1. オートシートフィーダに A4 の用紙をセットします。
2. [▲] か [▼] で〈ノズルチェック〉を選び、〈はい〉を選んで [OK] を押します。

- PC ノズルチェックパターンは、パソコンからも印刷できます。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
- インク残量が少ないとノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合はインクタンクを交換してください。（→ 101 ページ）

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンが乱れたり欠けたりしているとき、または特定の色が印刷されないときは、プリントヘッドをクリーニングします。

- プリントヘッドのクリーニングは、少量のインクを消費します。ひんぱんにクリーニングすると、インクの減りが早くなります。
- 電源コードをコンセントに差し込んだときにも、プリントヘッドのクリーニングが行われます。また、電源が入っている状態でも定期的にクリーニングが行われます。
- PC パソコンからもプリントヘッドのクリーニングを行えます。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

■ ヘッドクリーニング

プリントヘッドをクリーニングします。

操作手順：
［▲］か［▼］で〈ヘッドクリーニング〉を選び、〈はい〉を選んで［OK］を押します。

ヘッドクリーニングをしてもきれいに印刷できないときは、ヘッドリフレッシングを行ってください。

■ ヘッドリフレッシング

より強力にプリントヘッドをクリーニングします。

操作手順：
［▲］か［▼］で〈ヘッドリフレッシング〉を選び、〈はい〉を選んで［OK］を押します。

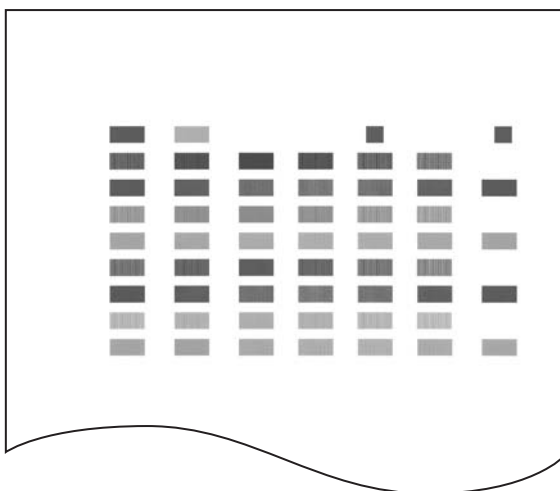
重要

ヘッドリフレッシングを行うと、余分なインク（廃インク）が廃インク吸収体に吸収されます。ヘッドリフレッシングは、通常のクリーニングよりインクを消費しますので、必要な場合のみ行ってください。

自動でプリントヘッドの位置を調整する（ヘッド位置調整（自動））

色むらやすじがあるときは、プリントヘッドの位置を調整してください。
プリントヘッド位置の調整には自動と手動があります。自動でうまくいかなかったときは、手動でプリントヘッド位置を調整してください。（→ 137 ページ）

操作手順：

1. オートシートフィーダに A4 の用紙を 2 枚以上セットします。
2. ［▲］か［▼］で〈ヘッド位置調整（自動）〉を選び、〈はい〉を選んで［OK］を押します。

図のようなパターンが印刷されたら、プリントヘッド位置の調整は完了です。

プリントヘッド位置調整パターンを正しく印刷するために、用紙は必ず 2 枚以上セットしてください。

- PC パソコンからもプリントヘッド位置を調整できます。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）
- 上記のパターンが印刷されなかった場合は、次の対処をしてください。
  – A4 の用紙をセットする。
  – インクタンクを交換するか、正しくセットし直す。（→ 101 ページ）
  – ノズルチェックパターンを印刷する。（→ 106 ページ）
  – 排紙口内に強い光が当たらないように調整する。
- 上記の対処をとった後、再度自動プリントヘッド調整を行ってもうまく印刷されないときには、手動でプリントヘッド位置を調整してください。（→ 137 ページ）

その他のメンテナンス

メンテナンス画面では、プリントヘッドのメンテナンス以外に次のような操作ができます。

ローラの清掃をする（ローラークリーニング）

用紙がうまく送られないときは、ローラを清掃してください。

操作手順：

1. オートシートフィーダから用紙を取り除きます。
2. ［▼］か［▲］で〈ローラークリーニング〉を選び、〈はい〉を選んで［OK］を押します。ローラの清掃が行われます。
3. クリーニングが終わったら、手順２の動作を２回くり返します。
4. オートシートフィーダに A4 の用紙を３枚以上、セットします。
5. 手順２の動作を３回くり返します。

本機の内部を清掃する（インク拭き取りクリーニング）

本機の内部の汚れをとります。本機の内部が汚れていると、印刷した用紙が汚れる場合がありますので、定期的に行うことをおすすめします。

操作手順：

1. オートシートフィーダから用紙を取り除きます。
2. A4 の用紙を横半分に折って開き、開いた面が表になるように、オートシートフィーダに１枚だけセットします。
3. ［▲］か［▼］で〈インク拭き取りクリーニング〉を選び、〈はい〉を選んで［OK］を押します。用紙が給紙され、排紙されます。

インク拭き取りクリーニング中は他の操作をしないでください。

お手入れを行っても効果が見られない場合は、再度手順 1 から操作を行ってください。それでも改善されない場合は、本機の内部の突起が汚れている場合があります。本機の内部の清掃を行なってください。（→ 112 ページ）

スキャン結果の色合いを調整する（キャリブレーション）

スキャンされた写真などの色合いが原稿と違うときは、キャリブレーション機能を使って印刷結果の色合いを調節することができます。

操作手順：

［▲］か［▼］で〈キャリブレーション〉を選び、〈はい〉を選んで［OK］を押します。

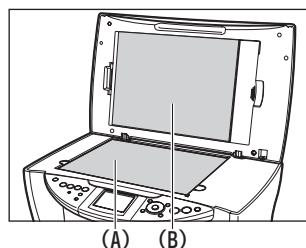
清掃する

ここでは、清掃のしかたについて説明します。

⚠ 注意

- 清掃する前に、電源を切り、電源コードを抜いてください。
- 電源を切ると、メモリに保存されている原稿はすべて消去されます。電源を切るときは、必要な原稿を印刷しておいてください。
- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオルは使わないでください。部品に紙の粉が付き、静電気の原因になることがあります。部品を傷つけないように、必ず柔らかい布を使ってください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。故障の原因になります。

■ スキャンエリアの清掃

きれいで柔らかく、糸くずの出ない布を用意してください。水に浸し、固くしぼってから、原稿台ガラス (A)、原稿台カバーの裏側（白い部分）(B) の汚れや、ほこりを拭き取ります。そのあと、乾いた柔らかい布で水気を拭き取ります。とくにガラス面は、拭いたあとが残らないように十分拭き取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めて使ってください。

■ 本体内部の清掃

本体内部がインクで汚れていたり、紙の粉がたまっていたりすると、きれいに印刷できないので、定期的に清掃してください。

次のように操作してください。

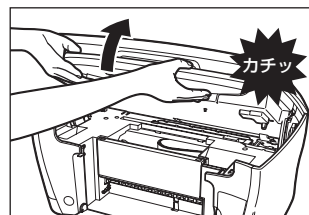
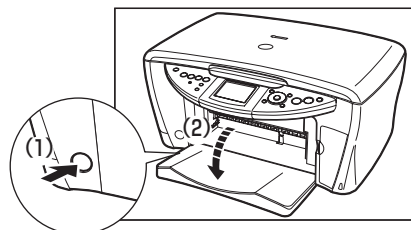
1 電源を切り、コンセントから電源コードを抜きます。

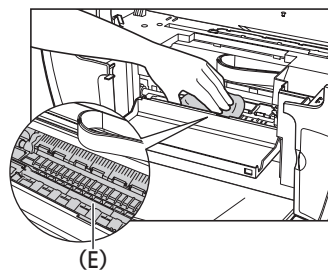
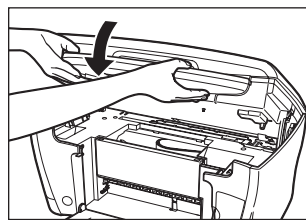
2 排紙トレイオープンボタン (1) を押して、排紙トレイを開けます (2)。

3 スキャナユニット（プリンタカバー）を止まるまで持ち上げます。

4 内カバーを開けます。

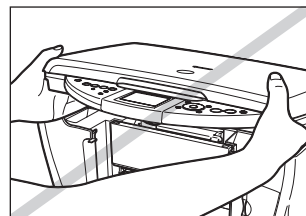
- プリントヘッドホルダを無理に動かさないでください。
- 本体内部の金属部分に触れないでください。

重要

丸い軸 (A)、透明フィルム (B)、フィルムケーブル (C)、スポンジ部分 (D)、そのほかの金属部分には触れないでください。

5 乾いた布で、本体内部、特にプラテン (E) のまわりから、インクの汚れや紙の粉、ほこりを拭き取ります。

6 内カバーを閉じます。

7 スキャナユニット（プリンタカバー）を閉じます。

⚠ 注意

- スキャナユニット（プリンタカバー）は必ず両手でしっかり持ち、指などをはさまないように注意してください。
- 液晶モニターを持たないでください。

8 電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れます。

■ 外側の清掃

きれいで柔らかく、糸くずの出ない布を水に浸し、固くしぼってからていねいに本体外側を拭きます。

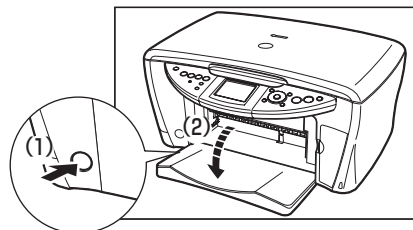
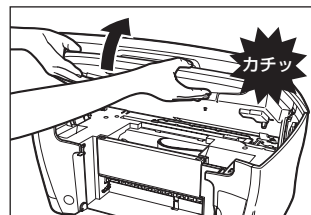
■ ローラの清掃

用紙がうまく送られないときは、ローラを清掃してください。（→ 109 ページ）

■ 本機の内部を清掃する

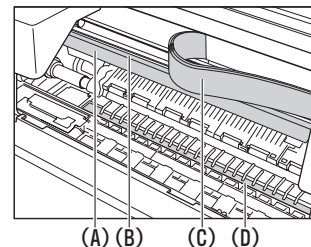
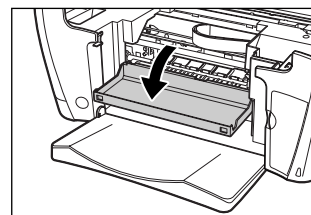
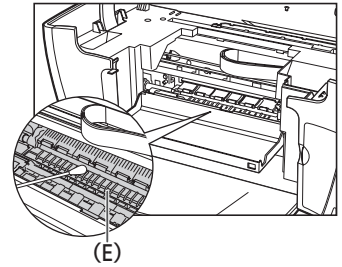
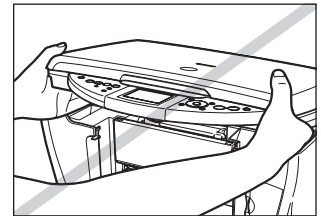
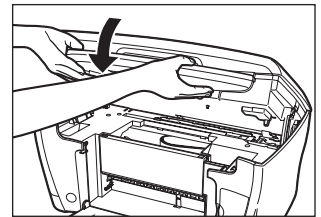
109 ページの操作を行ってもまだ汚れている場合は、次のように操作してください。

1 電源を切り、コンセントから電源コードを抜きます。

2 排紙トレイオープンボタン (1) を押して、排紙トレイを開けます (2)。

3 スキャナユニット（プリンタカバー）を止まるまで持ち上げます。

4 内カバーを開けます。

⚠ 注意

- プリントヘッドホルダを無理に動かさないでください。
- 本体内部の金属部分に触れないでください。

丸い軸 (A)、透明フィルム (B)、フィルムケーブル (C)、スポンジ部分 (D)、そのほかの金属部分には触れないでください。

5 綿棒で、プラテン（E）の周りから、インクの汚れや紙の粉、ほこりを拭き取ります。

6 内カバーを閉じます。

7 スキャナユニット（プリンタカバー）を閉じます。

⚠ 注意

- スキャナユニット（プリンタカバー）は必ず両手でしっかり持ち、指などをはさまないように注意してください。
- 液晶モニターを持たないでください。

8 電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れます。

13章 困ったときには

◆ 用紙が詰まったとき

詰まった用紙の取り除きかた

液晶モニターに〈用紙が詰まりました 用紙を取り除いて［OK］を押してください〉と表示されたときは、次のように操作して、詰まった用紙を取り除いてください。

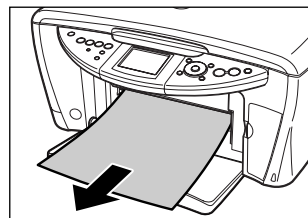
重要

フィルムまたはメモリーカードから印刷中に紙づまりを処理して復帰したとき、印刷中のデータはクリアされます。必要に応じて印刷し直してください。

排紙口で用紙が詰まったとき

次のように操作してください。

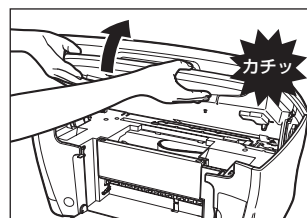
1 排紙口から、詰まっている用紙をゆっくり引き出します。

排紙口から用紙が見えていないときは、本体内部から用紙を取り除いてください。

2 ［OK］を押します。

PC アプリケーションから印刷していたときは、パソコンの画面表示にしたがってください。

本体内部で用紙が詰まったとき

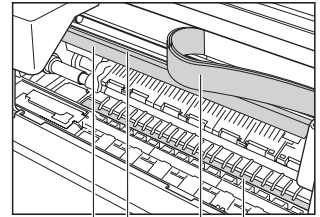
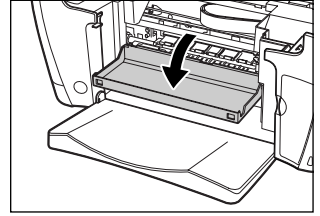
次のように操作してください。

1 スキャナユニット（プリンタカバー）を止まるまで持ち上げます。

2 内カバーを開けます。

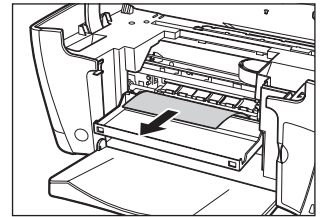
⚠ 注意

- プリントヘッドホルダを無理に動かさないでください。
- 本体内部の金属部分に触れないでください。

重要

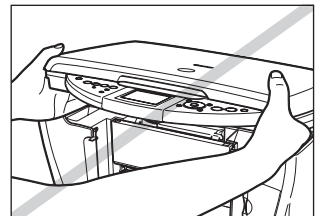
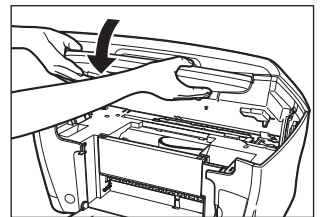
丸い軸（A）、透明フィルム（B）、フィルムケーブル（C）、スポンジ部分（D）、そのほかの金属部分には触れないでください。

3 詰まった用紙を開口部の中央にゆっくり集めてから、引き出します。

⚠ 注意

本体内部の部品に触れないように注意してください。

4 内カバーを閉じます。

5 スキャナユニット（プリンタカバー）を閉じます。

⚠ 注意

- スキャナユニット（プリンタカバー）は必ず両手でしっかり持ち、指などをはさまないように注意してください。
- 液晶モニターを持たないでください。

6 [OK] を押します。

PC アプリケーションから印刷していたときは、パソコンの画面の表示にしたがってください。

オートシートフィーダ側で用紙が詰まったとき

次のように操作してください。

1 詰まった用紙をオートシートフィーダ側からそっと引き出します。

2 [OK]を押します。

PC アプリケーションから印刷していたときは、パソコンの画面表示にしたがってください。

フォトペーパーカセットで用紙が詰まったとき

次のように操作してください。

1 フォトペーパーカセットを取り外します。

2 フォトペーパーカセットの差込口に用紙が詰まっている場合は、ゆっくり引っ張って取り除きます。

フォトペーパーカセットの差込口から引き抜けない場合、または用紙が破れて本機の内部に残った場合は、本体内部から用紙を取り除いてください。

3 フォトペーパーカセットから用紙がはみだしている場合は、セットし直します。

4 フォトペーパーカセットをセットします。

5 [OK]を押します。

PC アプリケーションから印刷していたときは、パソコンの画面表示にしたがってください。

紙づまりがたびたび起きるとき

ローラに不具合がある場合、または用紙のセットのしかたに問題がある場合に、紙づまりがよく起こります。次の点に注意して、用紙をセットし直してください。

チェック項目	チェックポイント	対処方法
ローラ	ローラが汚れていませんか？	ローラを清掃してください。（→ 112ページ）
	ローラは動いていますか？	ローラが正しく動作していないときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センターに連絡してください。

チェック項目	チェックポイント	対処方法
用紙	用紙どうしがくっついていませんか？	用紙をよくさばいてください。
	用紙の端はそろっていますか？	用紙の端をそろえてください。
	用紙ガイドは用紙にぴったりと沿っていますか？	用紙ガイドの位置を正しく調整してください。
	オートシートフィーダにセットできる最大枚数を超えていませんか？または、オートシートフィーダに用紙を無理に詰めこんでいませんか？	最大用紙量のマークを超えないように用紙をセットしてください。（→ 23 ページ）
	種類の異なる用紙を一度にセットしていませんか？	同じ種類の用紙だけをセットしてください。
	本機で使用できる用紙をセットしていますか？	条件に合っている用紙を使ってください。（→ 21 ページ）

◆ 液晶モニターになにも表示されないとき（電源が入らないとき）

電源コードを本機とコンセントに接続し、［電源］を押すと、液晶モニターにメッセージが表示されます。エラーランプが点滅している間は、本機を初期化しているので、その間はご使用になれません。エラーランプの点滅が止まるまでお待ちください。
液晶モニターに何も表示されないときは、次の表の中から原因を探し、対処してください。

原因	対処方法
電源コードが正しく接続されていない	電源コードを本機とコンセントにしっかりと接続してください。
［電源］を押していない	電源コードを接続し、［電源］を押すと、電源が入り、液晶モニターにメッセージが表示されます。
コンセントに電流が流れていない	コンセントにほかの電気製品を接続して、コンセントが正常かどうか確認してください。
テーブルタップや OA タップ延長コードなどに電源コードを接続して使っている	テーブルタップや OA タップ延長コードなどを使っているときは、それらを外して電源コードを直接コンセントに接続してください。直接接続して電源が入る場合は、それらが断線していると思われるので、交換してください。また、それらに電源スイッチがあるときは、電源が入っていることを確認してください。
電源コードが断線している	別の電源コードに交換するか、テスターを使って、電源コードが断線していないか確認してください。

◆ うまく印刷されないとき

まったく印刷されない、きれいに印刷されないとき

コピーしているときやパソコンから印刷しているとき

原因	対処方法
エラーランプが点滅している	エラーが発生しているので、「エラーランプが点滅したら」（→ 138 ページ）をご覧ください。
インクタンクが正しくセットされていない	●スキャナユニット（プリンタカバー）を開けて、インクタンクがしっかりセットされていることを確認してください。また、インクタンクが正しい位置にセットされているかも確認してください。(→ 102 ページ) ●オレンジ色のテープが図 1 のようにすべてはがされていることを確認してください。図 2 のようにオレンジ色の部分が残っている場合は、オレンジ色の部分をすべて取り除いてください。 図 1 正しい状態（○） 図 2 テープが残っている（×） みぞ テープ ミシン目まで完全にテープをはがす ●インクがなくなっていたら新しいインクタンクに交換してください。(→ 102 ページ)
インクタンクの位置を間違えて取り付けている	スキャナユニット（プリンタカバー）を開けて、ラベルを確認して、インクタンクを正しい位置に取り付け直してください。(→ 102 ページ) 正しい位置に取り付け直したあと、ヘッドリフレッシングを 2 回～ 3 回行ってください。(→ 107 ページ)
正常にインクが出ていない	ノズルチェックパターンを印刷して、確認してください。(→ 106ページ)
プリントヘッド位置がずれている	プリントヘッド位置を調整してください。(→ 108 ページ)
用紙が厚すぎる	64 g/m^2 ～ 105 g/m^2 の用紙を使ってください。(→ 22 ページ)
オートシートフィーダにセットできる最大枚数を超えている	用紙が最大枚数、または最大用紙量のマークを超えているときは、用紙を減らしてください。(→ 21 ページ)
用紙が正しくセットされていない	用紙がオートシートフィーダに正しくセットされていて、用紙ガイドが正しく調整されているか確認してください。(→ 23 ページ)
用紙が折れたり反ったり（カール）している	折れた用紙は使えません。反った用紙は反りを直してからセットしてください。

ローラが汚れている	ローラを清掃してください。（→ 112 ページ）
オートシートフィーダに異物が入っている	確認して、異物があるときは取り除いてください。
インクが少なくなっている、またはなくなっている	インクタンクを交換してください。（→ 102 ページ）
おすすめの用紙を使っていない	おすすめの用紙を使ってください。（→ 21 ページ）
本機またはパソコンから設定した用紙の種類と、セットした用紙の種類が異なる	●本機の操作パネルで、セットした用紙の種類を設定してください。（→ 23 ページ） ●プリンタのプロパティ画面の［基本設定］タブ（Windows）または［プリント］画面のポップアップメニューの［品位と用紙の種類］（Macintosh）の［用紙の種類］で、セットした用紙の種類を設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
プリントヘッドが汚れている	プリントヘッドをクリーニングしてください。（→ 107 ページ）
本機の内部が汚れている	内部がインクや紙粉で汚れていると、印刷面がこすれたり、インクで汚れたりします。清掃してください。（→ 109、110 ページ）
排紙トレイが閉まっている	排紙トレイオープンボタンを押して、排紙トレイを開けてください。

コピーしているとき

原稿が正しくセットされていない	原稿が、原稿台ガラスに正しくセットされているか確認してください。（→ 19 ページ）
コピーしたい原稿に合わせて画質を調節していない	本機の操作パネルで、原稿に合わせて画質を調節してください。（→ 33 ページ）
原稿の裏表の向きが正しくセットされていない	原稿台ガラスにセットするときは、コピーする面を下にしてください。
本機で印刷したものを原稿としてセットしている	本機で印刷した原稿をコピーすると、きれいに印刷されないことがあります。デジタルカメラやメモリーカードから印刷し直すか、パソコンから印刷し直してください。
原稿台ガラス、または原稿台カバーの裏側が汚れている	原稿台ガラス、または原稿台カバーの裏側を清掃してください。（→ 110 ページ）

用紙が丸まってしまったとき

原因	対処方法
インクが乾いていない	印刷した用紙は、30 ～ 60 秒ほど排紙トレイに置いたままにして、インクが乾いてから取り出してください。
用紙が薄すぎる	64 g/m^2 ～ 105 g/m^2 の用紙を使ってください。(→ 22 ページ)
セットする前から用紙が反っている(カールしている)	反りを直してからセットしてください。
インクを大量に使う印刷をしている	高品位専用紙やキヤノン光沢紙など厚めの用紙を使ってください。

印刷が途中で止まるとき

コピー、写真プリントやパソコンから印刷しているとき

原因	対処方法
用紙がうまく送られない	「まったく印刷されない、きれいに印刷されないとき」(→ 118 ページ)をご覧ください。
長い時間、連続して印刷している	長時間、印刷を続けていると、プリントヘッドが過熱し、プリントヘッドを保護するため、印刷が一時的に停止します。しばらくすると印刷が再開されます。区切りのいいところで印刷を中断し、電源を切って 15 分以上お待ちください。 ⚠ 注意 プリントヘッドの周りはたいへん熱くなっているので、触らないでください。
写真やイラストなどが多く入っている原稿や文書を印刷している	データ処理に時間がかかり、止まったように見えます。処理が終わるまでお待ちください。印刷する部分が多い原稿や文書の印刷、または 2 部以上の印刷を行うと、インクを乾かす時間をとるために印刷が止まることがあります。

◆ メモリーカード使用時のトラブル

メモリーカードが認識されないとき

原因	対処方法
メモリーカードがカードスロットに正しく差し込まれていない	●メモリーカードをしっかり差し込んでください。(→ 51 ページ) ●メモリーカードを正しいカードスロットに入れ直してください。(→ 51 ページ) ●メモリーカードのおもて面（ラベル面）が外側になるように、カードスロットに差し込んでください。(→ 51 ページ)
カードアダプタを使用してカードスロットにセットするメモリーカードを、カードスロットに直接差し込んでいる	以下のカードはカードアダプタに差し込んでからカードスロットに差し込んでください。 ●xD-Picture カード ●メモリースティック Duo ●メモリースティック PRO Duo ●マジックゲートメモリースティック Duo ●mini SD カード
メモリーカードまたはカードアダプタが壊れている	別のメモリーカードで試してみてください。別のメモリーカードで問題なく印刷できるときは、メモリーカードが壊れている可能性があります。このような場合は、デジタルカメラでメモリーカードをフォーマットすると回復することがあります。メモリーカードをフォーマットすると、メモリーカードのデータはすべて消去されます。パソコンで画像データを読めるときは、画像データをコピーしてから、フォーマットしてください。別のメモリーカードを使っても問題が解決しないときは、カードアダプタが壊れているか、メモリーカードが本機でうまく動作していません。

メモリーカード内の画像が認識されない

原因	対処方法
メモリーカードに画像が入っていない	メモリーカードに画像データが入っているかどうか、デジタルカメラかパソコンで確認してください。
メモリーカードの中に無効な画像データが入っている	液晶モニターに〈メモリカードに画像がありません〉と表示されているときは、メモリーカードの中に無効な画像データや画像以外のデータしかありません。

メモリーカードからうまく印刷できない

原因	対処方法
液晶モニターに「?」が表示される、フォトナビシートやインデックス印刷で空白になる	画像データが DCF に対応されていなかったり、JPEG 形式ではない可能性があります。デジタルカメラかパソコンでデータを確認してください。また画像データが大きすぎる可能性があります。本機から印刷できないときは、パソコンから印刷してみてください。

フォトナビシートからうまく印刷できない

原因	対処方法
〈フォトナビシートを読み取れませんでした〉と表示される	フォトナビシートにチェックマークもれがないか、または原稿台ガラスに置く向きや位置を確認してください。(→ 62 ページ)

PC メモリーカードに書き込めない

原因	対処方法
〈メモリカード書込み禁止〉が〈する〉になっている、またはフォトモードになっている	〈各種設定〉から〈メモリカード書込み禁止〉を〈しない〉にします。フォトモード以外にしてから USB ケーブルを外し、もう一度接続し直してください。
Windows 2000 で「遅延書き込み失敗エラー」または「遅延書き込みデータの紛失」エラーが表示される	〈メモリカード書込み禁止〉を〈する〉にしたあとや、フォトモードに切りかえたあとは、USB ケーブルを外して、もう一度接続し直してください。 Windows 2000 で、〈メモリカード書込み禁止〉を〈する〉にした場合は、本機の電源を切って、もう一度電源を入れてください。データをハードディスクからメモリーカードにコピーするときに、遅延書き込みエラーが発生すると、書き込みに失敗し、元のファイルが消去されることがあります。
Windows XP で接続している	Windows XP のプレビューでは、アクセス日時が書き込まれるため、〈メモリカード書込み禁止〉を〈する〉にしたり、フォトモードにしたりすると、書き込み保護エラーが表示されることがあります。本機の電源を切って、もう一度電源を入れてください。

PC Windows エクスプローラに［リムーバブルディスク］が表示されない

原因	対処方法
ローカルボリュームとCD-ROM ドライブの次に空いているドライブをネットワークドライブに割り当てている	次のように操作してください。 1. ネットワークドライブに別のドライブを割り当てます。 2. パソコンを再起動します。

PC [取り外し］アイコンが表示されない（Windows 2000）

原因	対処方法
複合機の場合は、電源を切ったり、USB ケーブルを外したりしたときに表示される［デバイスの取り外しの警告］画面で、［タスクバーに［取り外し］アイコンを表示する］にチェックマークをつけても、Windows 2000では［取り外し］アイコンは表示されない	本機の電源を切ったり、USB ケーブルを外したりしたときに、［取り外し］アイコンを使って取り外しの操作をする必要はありません。

PC [ハードウェアの追加と削除］画面の［ハードウェアデバイス］欄に本機が表示されない（Windows 2000）

原因	対処方法
複合機の場合は、［ハードウェアの追加と削除］画面の［ハードウェアデバイス］欄に本機が表示されない	［デバイスの取り外しの警告］画面で、「次のデバイスを取り外すには、コントロール パネルの［ハードウェアの追加と削除］を使用して、デバイスを停止してください。」と表示されますが、本機の電源を切ったり、USB ケーブルを外したりするときに、［ハードウェアの追加と削除］を使って取り外しの操作をする必要はありません。

PC Windows エクスプローラで［縮小版］表示ができない（Windows 2000）

原因	対処方法
〈メモリカード書込み禁止〉が〈する〉になっている、またはフォトモードになっている	メニューから〈メモリカード書込み禁止〉を〈しない〉にします。フォトモード以外にしてから USB ケーブルを外し、もう一度接続し直してください。

PC メモリーカードがリムーバブルディスク以外のドライブとして認識されてしまう

原因	対処方法
メモリーカードをセットしたままパソコンを起動している	パソコンによっては、このような現象が起こる場合があります。メモリーカードを取り出してから、パソコンを起動し直してください。

PC パソコンが起動しない

原因	対処方法
メモリーカードをセットしたまま、パソコンを起動した	パソコンによっては、このような現象が起こる場合があります。メモリーカードを取り出してからパソコンを起動してください。パソコンの BIOS の設定で、Windows を起動するハードディスクの起動順序を、USB デバイスより先にするとメモリーカードをセットしたままでもパソコンを起動できるようになります。BIOS の設定のしかたについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

◆ PC インストール・アンインストール（削除）がうまくいかないとき

原因	対処方法
Windows 版セットアップ CD-ROM と、Macintosh 版セットアップ CD-ROM を間違えている	セットアップ CD-ROM のラベルを確認して、正しいセットアップ CD-ROM をセットし直してください。
セットアップ CD-ROM に異常がある	セットアップ CD-ROM に異常がある場合は、お客様相談センターにご相談ください。 Windows Windows のエクスプローラで、CD-ROM が読めるか確認してください。 Macintosh CD-ROM をセットしたときに、CD-ROM のアイコンが表示されるか再度確認してください。
ほかのアプリケーションが起動している	ウイルスチェックプログラムやそのほかのアプリケーションが起動しているときは、すべて終了させてから、インストールをやり直してください。
Windows 古いMultiPASSのソフトウェアがインストールされている（スタートメニューの［プログラム］に「Canon MultiPASS」で始まるものが登録されている）	古い MultiPASS のソフトウェアは、そのソフトウェアの取扱説明書にしたがってアンインストール（削除）してから、インストールをやり直してください。
手順どおりにインストールしていない	『かんたんスタートガイド（ソフトウェアインストール編）』の手順にしたがって、MP ドライバをインストールしてください。 MP ドライバが正しくインストールされなかった場合は、MP ドライバを削除し、コンピュータを再起動します。そのあとに、MP ドライバを再インストールしてください。 Windows エラーが発生してインストーラが強制終了した場合は、コンピュータを再起動して再インストールしてください。

アンインストール（削除）に時間がかかる（Windows XP）

Windows ほかのアプリケーションが起動している	アンインストール（削除）するときは、ウイルスチェックプログラムやそのほかのアプリケーションを終了させてから、アンインストール（削除）を実行してください。

アンインストール（削除）したのに、スタートメニューに［Canon］のフォルダが残っている

Windows MP Navigator や ScanGearStarter より先に MP ドライバを削除した	スタートメニューから［タスクバーとスタートメニューのプロパティ］画面を開いて、［Canon］フォルダを削除してください。

Windows XP にアップグレードしたら、ソフトウェアが使えなくなった

Windows 本機のソフトウェアがインストールされている Windows 98/Me/2000 を、本機のソフトウェアをアンインストール（削除）しないで、Windows XP にアップグレードした	本機のソフトウェアをアンインストール（削除）し、インストールし直してください。（→ 89 ページ）

［デバイスマネージャ］に緑の［?］マークが表示される（Windows Me）

Windows ［デバイスマネージャ］に緑の［?］マークが表示される	Windows Me では、［デバイスマネージャ］の［USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ］の［USB 互換デバイス］に緑の［?］マークが表示されますが、問題はありません。そのままお使いください。

◆ PC USB 2.0 Hi-Speed 接続がうまくいかない

Windows Windows XP のパソコンに接続すると、画面に「高速ではない USB ハブに接続している高速 USB デバイス」と警告文が表示される

原因	対処方法
USB 2.0 Hi-Speed に対応していないパソコンに接続している	ご使用のパソコンが USB 2.0 Hi-Speed に対応しているか確認してください。対応していない場合は、USB 1.1 で接続されます。

Windows USB 2.0に対応した環境で本機を接続したのに、正常に動作しない

原因	対処方法
USB 2.0に対応していないUSBケーブルを使用している	必ず USB 2.0 認証ケーブルをご使用ください。また、3 m 以内のものをおすすめします。
USB ハブを使って接続している	USBハブを使わずに、USBケーブルを直接パソコンに接続してください。

Macintosh USB ケーブルが、USB 2.0 Hi-Speed に対応していない

原因	対処方法
USB 2.0に対応していないUSBケーブルを使用している	必ず USB 2.0 認証ケーブルをご使用ください。また、3 m 以内のものをおすすめします。

Macintosh USB ハブを使って接続している

原因	対処方法
USB ハブを使って接続している	USBハブを使わずに、USBケーブルを直接パソコンに接続してください。

◆ PC パソコンからうまく印刷できない

原因	対処方法
液晶モニターになにも表示されていない	「液晶モニターになにも表示されないとき（電源が入らないとき）」（→ 117 ページ）をご覧ください。
Windows BJ ステータスモニタのイラストの背景が黄色や赤になっている	BJ ステータスモニタのメッセージにしたがって対処してください。 （→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）） 「サービスエラー 5100」と表示されているとき： 詰まった用紙など、プリントヘッドホルダの動きを妨げているものを取り除き、パソコンで印刷を中止してから本機の［OK］を押してください。 （→ 114 ページ） それでも、メッセージが消えないときは、本機の電源を切ってから、もう一度、電源を入れてください。
Macintosh プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X v.10.2.x のときは、プリントセンター）にエラーが表示されている	プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X v.10.2.x のときは、プリントセンター）のメッセージにしたがって対処してください。

Windows パソコンに「アプリケーションエラー」、「一般保護違反」と表示されているときは、印刷に使っているアプリケーションが、OS に対応していない	アプリケーションのパッケージや取扱説明書で調べてください。ご使用の OS に対応していない場合は、印刷はできません。
アプリケーションに十分なメモリが割り当てられていない	ほかのアプリケーションが開いているときは、それらを閉じて使用可能なメモリ容量を増やしてください。アプリケーションに必要なメモリ容量は、アプリケーションの取扱説明書で調べてください。
アプリケーションのページ設定や印刷設定が間違っている	正しい設定にしてから、もう一度印刷してください。
ハードディスクに十分な空き容量がない	不要なファイルを削除して空き容量を増やしてください。
ケーブルが長すぎる	3m 以内の USB ケーブルをお使いください。
印刷の濃度が濃い	プリンタドライバで濃度を高く設定して印刷すると、用紙が波打つことがあります。 Windows プリンタのプロパティ画面の［基本設定］タブにある［色調整］で［マニュアル調整］を選んでください。そのあと［設定］をクリックし、［濃度］のスライダをドラッグして、低い設定にしてください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）） Macintosh ［プリント］画面のポップアップメニューから［カラーオプション］を選び、［濃度］のスライダをドラッグして、低い設定にしてください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
特定の文書を印刷するときだけ、意味不明な文字や記号が印刷される	その文書を作成し直して印刷してみてください。改善されないときは、アプリケーションに問題がある可能性があります。アプリケーションの製造元にお問い合わせください。
適切な印刷品位が選ばれていない	Windows プリンタのプロパティ画面の［基本設定］タブで、［印刷品質］を［きれい］に設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）） Macintosh ［プリント］画面のポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選び、［詳細設定］を選んでください。そのあと［印刷品位］のスライダをドラッグして、［高品位］に設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
用紙の裏側に印刷している	用紙には、裏表のあるものがあります。裏返して印刷してみてください。プロフェッショナルフォトペーパーなど、用紙の種類によっては片面にしか印刷できないものもあります。

印刷可能領域の外側に印刷している	文書が、推奨されている印刷可能領域におさまるように、アプリケーションで余白の設定をかえてください。
［用紙の種類］の設定が間違っている	**Windows** プリンタのプロパティ画面の［基本設定］タブにある［用紙の種類］を、印刷する用紙に合わせて設定してください。また、印刷内容によっては設定が適切でも印刷面がこすれることがあります。この場合は、［ユーティリティ］タブにある［特殊設定］をクリックし、［用紙のこすれを防止する］にチェックマークをつけてください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）） **Macintosh** ［プリント］画面のポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選び、［用紙の種類］を印刷する用紙に合わせて設定してください。また、印刷内容によっては設定が適切でも印刷面がこすれることがあります。この場合は、BJ Printer Utility のポップアップメニューから［特殊設定］を選び、［用紙のこすれを防止する］にチェックマークをつけてください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
Windows インクなしのメッセージが、BJ ステータスモニタと液晶モニターで違う表示になっている	パソコンから印刷中に、液晶モニターや BJ ステータスモニタに、インクなしのメッセージが表示されたとき、本機の［OK］を押したり、ジョブをキャンセルしてエラー表示を解除すると、BJ ステータスモニタの表示は、［下記のインクは少なくなっています。］に変わり、一時的にパソコンからの印刷を継続できます。 ただし、液晶モニターのメッセージはインクなしの表示のまま変わりません。インクタンクを交換してください。
不要な印刷ジョブがたまっている／パソコン側のトラブル	パソコンを再起動すると、トラブルが解消されることがあります。また、印刷ジョブが残っている場合は、削除してください。 **Windows** 1. タスクバーの［スタート］ボタンから、［コントロール パネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］（Windows XP 以外のときは、［スタート］ボタンから［設定］→［プリンタ］）をクリックします。 2. ［プリンタと FAX］画面（Windows XP 以外のときは、［プリンタ］画面）で本機のプリンタのアイコンをダブルクリックします。 3. ［プリンタ］メニューから［すべてのドキュメントの取り消し］を選びます。 Windows 2000/XP では選べないことがあります。 Windows 98/Me をお使いの場合は、削除する文書をクリックし、［プリンタ］メニューから［印刷ドキュメントの削除］を選びます。 4. 確認メッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。 **Macintosh** 1. MP ドライバをインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダを順にダブルクリックします。 2. ［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。 Mac OS X v.10.2.x をお使いの場合は、［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］アイコンをダブルクリックします。 3. プリンタリストの［名前］に表示されている［MP900］をダブルクリックします。 4. 削除する文書をクリックし、［削除］をクリックします。

プリンタドライバに不具合がある	MP ドライバをアンインストール（削除）してから、インストールし直してください。（→ 89 ページ）

上記以外の原因が考えられる	パソコンを再起動してください。

PC 共有プリンタで印刷できない

原因	対処方法
サーバ（本機が接続されているパソコン）の電源が入っていない	サーバの電源を入れてください。
サーバでプリンタ共有が設定されていない	サーバでプリンタ共有を設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
クライアントから共有プリンタへのアクセスを許可するように、サーバで設定されていない	サーバで、クライアントから共有プリンタへアクセスできるように設定してください。

◆ 赤外線通信でうまく印刷できない

原因	対処方法
本機と携帯電話の設置のしかたが正しくない	本機と携帯電話の赤外線通信ポートが、正しい角度、距離で向き合うように置いてあるか、間を遮るものがないか確認してから、印刷をやり直してください。通信できる距離や角度は携帯電話の機能、外部環境により異なります。携帯電話では 20cm 以内で、通信が良好に行える位置に設置してください。（→ 73 ページ）
赤外線通信を行っているときに赤外線を遮ったり、近くで他の赤外線通信機器が使われていたりする	赤外線通信で印刷しているときに、本機と携帯電話の赤外線通信ポートの間を 10 数秒以上遮ると、印刷中の用紙は排出され、本機はリセットされます。障害になっているものを取り除き、印刷をやり直してください。 また、近くで赤外線通信機器を動作させると混信して印刷が最後まで行われないことがあります。赤外線通信で印刷するときは、付近でテレビのリモコンなどのほかの赤外線通信機能を動作させないでください。
IrDA1.2 に準拠していない赤外線通信ポートを使用している	本機の赤外線通信機能は、IrDA1.2 に準拠した赤外線通信ポートを備えた携帯電話のみに対応しています。その他の携帯電話では、赤外線通信での印刷はできません。

◆ PC スキャンがうまくできない

原因	対処方法
USB ハブや中継器が故障している	USB ケーブルを直接パソコンに接続して画像が読み込めるときは、USB ハブや中継器が故障しています。正常なものと交換してください。

本機のソフトウェアをインストールしたあとで、TWAIN 準拠のアプリケーションをインストールした	本機のソフトウェアをインストールしたあとで、TWAIN 準拠のアプリケーションをインストールすると、TWAIN システムファイルが適切でないものと置きかわり、画像を読み込めなくなることがあります。このような場合は、本機のソフトウェアをアンインストール（削除）し、インストールし直してください。（→ 89 ページ）
Macintosh 読み込み速度が遅い	MP Navigator の［モアレ低減］のチェックマークを外すか、または ScanGear MP の［モアレ低減］と［ごみ傷低減］を［OFF］にして、読み込んでください。
Windows Windows の［コントロール パネル］の［スキャナとカメラ］で本機が認識されていない	次の手順で、［コントロール パネル］の［スキャナとカメラ］に本機のアイコンがあるか確認してください。 1. USB ケーブルが接続されていることを確認してからパソコンを起動してください。 2. タスクバーの［スタート］ボタンから、［コントロール パネル］（Windows XP 以外のときは、［スタート］ボタンから［設定］→［コントロール パネル］）をクリックします。 3. ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックして、［スキャナとカメラ］をクリックします。（Windows XP 以外のときは、［スキャナとカメラ］をダブルクリックします）。 4. ［スキャナとカメラ］の中に［WIA Canon MP900］（Windows XP 以外のときは、［Canon MP900］）があれば、認識されています。ないときは、本機のソフトウェアをアンインストール（削除）し、インストールし直してください。（→ 89 ページ）
メモリが足りない	起動しているほかのソフトウェアを終了してからやり直してください。
ハードディスクの空き容量が不足している	とくにデータが大きくなってしまう文書を高解像度で読み込むときは、ハードディスクに十分な空きがあるかどうか確認してください。たとえば、A4 判の文書をカラー 600dpi で読み込むときは、最低 300MB の空きが必要です。十分な空き容量を確保できないときは、解像度を下げて読み込んでください。
スキャン解像度が低い	画像が粗いときは、スキャン解像度を上げてください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
アプリケーションの表示倍率が等倍に設定されていない	画像を表示しているアプリケーションの表示倍率を等倍（100%）にしてください。アプリケーションによっては、小さく表示すると画像がきれいに表示されないものがあります。
印刷物をスキャンすると縞模様が出る	ScanGear MP の［モアレ低減］を［ON］にしてください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
ディスプレイの表示色が少ない	Windows 画面のプロパティで、ディスプレイの表示色を［中（16 ビット）］または［High Color（16 ビット）］以上に設定してください。 Macintosh アップルメニューで［システム環境設定］を開き、［ディスプレイ］をクリックします。開いた画面で［ディスプレイ］をクリックし、［カラー］を［約 32000 色］以上に設定してください。

スキャンする範囲が指定されていない	ScanGear MP の［マルチスキャン］をクリックすると、原稿が自動的に範囲指定されます。 写真など、原稿の周囲に白いフチがあるときやトリミングしたい（一部分だけを読み込みたい）ときは、ご自分で範囲を指定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
原稿の端まで読み込まれない	原稿を原稿台ガラスの手前側の端から約 1 mm と右側の端から約 2 mm 離してセットしてください。
プレビュー画面の色合いが原稿と違う	スキャンした画像が正しい色合いになるように、キャリブレーションを行ってください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
MP Navigator からスキャンできない	ScanGearStarter（Windows）または ScanGear Starter 1.0J（Macintosh）が削除された可能性があります。このような場合は、MP ドライバを［カスタムインストール］で上書きインストールしてください。
上記以外の原因が考えられる	パソコンを再起動してください。

マルチスキャンで、うまく読み込めない

原因	対処方法
原稿を置く位置や置きかたが正しくない	次の条件を満たすように原稿を置いてください。 ●原稿台ガラスの端と原稿の間は、1 cm 以上離す ●原稿と原稿の間は、1 cm 以上離す ●原稿は 10 枚まで ●まっすぐに置く（傾きは 10 度以内）
原稿台ガラスまたは原稿台カバーの裏側が汚れている	原稿台ガラスまたは原稿台カバーの裏側を清掃してください。（→ 110 ページ）
2枚以上の画像を連続して受け取れないアプリケーションを使用している	アプリケーションの取扱説明書で調べるか、アプリケーションメーカーにお問い合わせください。
厚い原稿（最大 30 mm）やカールしている原稿をスキャンしようとしている	原稿台カバーを手で押さえて読み込んでください。
長い辺が、短い辺の４倍以上の細長い原稿をスキャンしようとしている	長い辺が、短い辺の 4 倍以上の細長い原稿はマルチスキャンでは読み込めません。1 枚ずつ読み込んでください。

読み込んだ画像が、パソコンの画面で大きく（小さく）表示される

原因	対処方法
アプリケーションで、画像を大きく（小さく）表示させている	アプリケーションで、画像表示を拡大（縮小）してください。 ただし、「ペイント」や「イメージング」で画像を開くと、大きく表示されることがあり、縮小できません。
解像度が高すぎる、または低すぎる	解像度を高くすると大きく表示され、低くすると小さく表示されます。目的の大きさに表示されるように、解像度を設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

◆ フィルムスキャン時のトラブル

フィルムのスキャンができないとき

原因	対処方法
フィルム読み取り用の FAU ケーブルが外れている。	原稿台カバーの FAU ケーブルを本機背面の FAU コネクタに接続し直してください。
FAU保護シートを取り外していない。	原稿台カバー内側の FAU 保護シートを取り外してください。
フィルムガイドを置く位置がずれている。	フィルムガイドを、原稿台の正しい位置にセットしてください 。 35mm スリーブフィルムの場合（→ 40 ページ） 35mm マウントフィルムの場合（→ 41 ページ）
原稿台カバーを閉じていない。	原稿台カバーを正しく閉じてください。
キャリブレーション用窓がふさがっている。	フィルムガイドのキャリブレーション用窓をフィルムやその他のものでふさがないようにしてください。
PC ScanGear MP（スキャナドライバ）や MP Navigator がフィルムスキャンの設定になっていない。	ScanGear MP の［原稿の種類］で［ネガフィルム（カラー）］または［ポジフィルム（カラー）］（基本モード）／［カラーネガフィルム］、［カラーポジフィルム］、［モノクロネガフィルム］または［モノクロポジフィルム］（拡張モード）を選択してください。 または、MP Navigator の［フィルムの読み込み］から読み込んでください。
内部の読み込みランプが充分に暖まっていない。	内部の読み込みランプが点灯後、1 ～ 2 分待ってからもう一度プレビューを行い、スキャンしてください。
PC 設定した解像度が高すぎて、スキャンの途中で止まる。	適切な出力解像度を設定し、スキャンし直してください。 コンピュータが動かなくなったときは、コンピュータを再起動してからおこなってください。

プレビュー後、正常にサムネイル表示されないとき

原因	対処方法
PC 非常に暗いシーンや非常に明るいシーンのフィルムまたはフィルムのコマの間隔が非常に狭いフィルム（通常の間隔は 2mm 程度）をスキャンしようとしている。	ScanGear MP でプレビューしたときに、正常にサムネイル表示されない場合は、以下の手順を行ってください。（ここでは拡張モードの例を紹介しています。基本モードでも同じようにできます。） 1. サムネイルボタンをクリックし、サムネイル非表示にします。 2. フィルム全体と、周囲が表示されます。 3. クロップ枠で必要な範囲を指定します。 このとき［ズーム］ボタンを利用すると、範囲指定を正確にできます。 4. ［スキャン］ボタンをクリックしスキャンします。

きれいにスキャンできない、適切な色合いでスキャンできない（ディスプレイに表示された画像がきたない）とき

原因	対処方法
キャリブレーション用窓の下の原稿台ガラス面や原稿台カバー内側の光源部にほこりや汚れが付着している。	原稿台ガラス面や原稿台カバー内側の光源部の汚れをきれいに取り除いてください。
PC キャリブレーションデータの更新が必要になった。	ScanGear MP の拡張モードで、［画像設定］の［キャリブレーション設定］にある［キャリブレーション］の［実行］ボタンをクリックします。
PC 原稿が褪色していたりして、状態が悪い。	ScanGear MP の拡張モードの［画像設定］で［褪色補正］、［粒状感低減］など、補正してスキャンしてください。 ディスプレイに表示された画像に問題がないのに印刷したときに、画質が悪くなったり余白が出てしまう場合は、印刷の設定を確認してください。（→ 118 ページ）
空一面や雪景色などのシーンのフィルムをスキャンすると、粒状感（ざらつき）のある画像になる	ScanGear MP の拡張モードの［画像設定］で、［粒状感低減］を［標準］に設定してください。
フィルムマウントが白色のとき、その照り返し光が映り込む。	マウントを黒色にするか、黒い枠などでマウント部を覆ってください。

クロップ枠を移動、拡大・縮小すると、色味がおかしくなるとき

原因	対処方法
PC クロップする大きさや場所により、適切な色調整データにならない。	ScanGear MP の拡張モードで、次のことを行ってください。 1. ［プレビュー］ボタンをクリックして、再度プレビューします。 2. サムネイル表示になっていることを確認します。 サムネイル非表示のときは、サムネイルボタンをクリックして、サムネイル表示にします。 3. ［選択範囲の色調整データの保持］の［取得］ボタンをクリックします。 4. クロップ枠を指定します。 5. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンします。

コマを正しく認識できないとき

原因	対処方法
フィルムの位置がずれている。	フィルムを白線で示した基準位置より手前に置き、フィルムのコマがフィルムガイドのフレーム部分に隠れないように、フィルムの位置をセットし直してください。

◆ PC 画面にメッセージが表示されているとき

Windows CD-R 印刷に関するエラーが表示されている

原因	対処方法
CD-R トレイまたは CD-R/DVD-R がセットされていない	まず、本機の同梱の CD-R トレイを使用しているか確認してください。CD-R/DVD-R を正しく取り付けてから、CD-R トレイを CD-R トレイガイドに沿ってセットし直し、本機の［OK］を押してください。 （→ 76 ページ）
CD-R/DVD-R が正しく認識されない	CD-R/DVD-R によっては正しく認識されないものがあります。この場合は、プリンタのプロパティ画面の［ユーティリティ］タブにある［特殊設定］をクリックし、［CD-R 印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］をクリックし、チェックマークを外して印刷してください。 印刷が終わったら、［CD-R 印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］にチェックマークをつけてください。 チェックマークが外れていると、CD-R/DVD-R がセットされていなくても印刷が始まることがあります。チェックマークをつけることで、CD-R トレイが汚れるのを防ぐことができます。
CD-R トレイが正しくセットされていない	CD-R トレイを CD-R トレイガイドに沿って正しくセットして、本機の［OK］を押してください。（→ 76 ページ）

通常の印刷（CD-R 印刷以外の印刷）を開始する時にCD-Rトレイガイドが取り付けられている	CD-R トレイガイドを取り外してから、本機の［OK］を押してください。（→ 84 ページ）

通常の印刷（CD-R 印刷以外の印刷）中にCD-Rトレイガイドが取り付けられた	CD-R トレイガイドを取り外し、本機の［OK］を押してから、印刷し直してください。（→ 84 ページ）

Macintosh「エラー番号：300」が表示されている

原因	対処方法
本機の準備ができていない	本機の電源が入り、液晶モニターにメッセージが表示されていることを確認してください。 液晶モニターになにも表示されていないときは、［電源］を押して電源を入れてください。エラーランプが点滅している間は、本機を初期化しているので、点滅が止まるまでお待ちください。 エラーランプが点滅しているときは、本機にエラーが発生しているので、「エラーランプが点滅したら」（→ 138 ページ）をご覧ください。
本機とパソコンが正しく接続されていない	本機とパソコンがケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。 ●中継機や外付けバッファ、USB ハブなどを使用している場合は、それらを外して本機とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、取り外した機器の販売元にご相談ください。 ●ケーブルに不具合があることも考えられます。別のケーブルに交換し、再度印刷してみてください。
プリンタ設定ユーティリティのプリントリストにお使いのプリンタ名が表示されていない	1. MP ドライバをインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダを順にダブルクリックします。 2. ［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。 Mac OS X v.10.2.x をお使いの場合は、［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］アイコンをダブルクリックします。 3. プリンタリストに［MP900］が表示されていることを確認します。 表示されていない場合は、『かんたんスタートガイド（ソフトウェアインストール編）』の操作にしたがって、MP ドライバをインストールし直してください。

Macintosh「エラー番号：1001」が表示されている

原因	対処方法
CD-R トレイがセットされていない	まず、本機に同梱の CD-R トレイを使用しているか確認してください。 CD-R トレイを正しく取り付け、本機の［OK］を押してください。（→ 76 ページ）

CD-R/DVD-R が正しく認識されない	CD-R/DVD-R によっては正しく認識されないものがあります。この場合は、BJ Printer Utility のポップアップメニューから［特殊設定］を選び、［CD-R 印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外して印刷してください。 印刷が終わったら、［CD-R 印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］にチェックマークをつけてください。 チェックマークが外れていると、CD-R/DVD-R がセットされていなくても印刷が始まることがあります。チェックマークをつけることで、CD-R トレイが汚れるのを防ぐことができます。

Macintosh「エラー番号：1002」が表示されている

原因	対処方法
CD-R/DVD-R が CD-R トレイにセットされていない	まず、本機に同梱の CD-R トレイを使用しているか確認してください。 CD-R/DVD-R を正しく取り付けてから、CD-R トレイを CD-R トレイガイドに沿ってセットし直し、本機の［OK］を押してください。（→ 76 ページ）

Macintosh「エラー番号：1700」が表示されている

原因	対処方法
廃インク吸収体 * が満杯になりそう	本機の［ストップ／リセット］を押してエラーを解除します。しばらくの間は印刷できますが、満杯になると印刷できなくなります。お早めに修理受付窓口にご相談ください。

* クリーニングなどで使用するインクは、本機の内部にある廃インク吸収体に吸収されます。このメッセージが表示されたときには、廃インク吸収体の交換および本機の点検が必要になります。

Macintosh「エラー番号：1850」が表示されている

原因	対処方法
CD-R 印刷するときに CD-R トレイガイドが取り付けられていない	CD-R トレイガイドを正しく取り付けてから、本機の［OK］を押してください。（→ 75 ページ）

Macintosh「エラー番号：1851」が表示されている

原因	対処方法
通常の印刷（CD-R 印刷以外の印刷）をするときに CD-R トレイガイドが取り付けられている	CD-R トレイガイドを取り外してから、本機の［OK］を押してください。（→ 84 ページ）

Macintosh「エラー番号：1855」が表示されている

原因	対処方法
CD-R印刷中にCD-Rトレイガイドが取り外された	CD-Rトレイガイドを取り付け、本機の［OK］を押してから、印刷し直してください。（→ 75ページ）

Macintosh「エラー番号：1856」が表示されている

原因	対処方法
通常の印刷（CD-R 印刷以外の印刷）中にCD-Rトレイガイドが取り付けられた	CD-Rトレイガイドを取り外し、本機の［OK］を押してから、印刷し直してください。（→ 84ページ）

Macintosh「エラー番号：2001」が表示されている

原因	対処方法
デジタルカメラとの通信が応答のないまま一定時間経過した、または本機に対応していないデジタルカメラ、デジタルビデオカメラが接続されている	接続されているケーブルを抜いてから本機の［OK］を押し、再度ケーブルを接続してください。 それでもエラーが解決されないときは、本機に対応していないデジタルカメラ、デジタルビデオカメラが接続されている可能性があります。 本機に対応しているデジタルカメラ、デジタルビデオカメラを使用してください。

Macintosh「エラー番号：2500」が表示されている

原因	対処方法
自動プリントヘッド位置調整に失敗した	手動でプリントヘッド位置を調整してください。（→ 137ページ）

以上の対処方法にしたがって操作しても解決しない場合は、不必要な機能拡張書類やコントロール パネル書類を外して印刷してみてください。

◆ ノズルチェックパターンがきれいに印刷されないとき

「プリントヘッドのメンテナンス」（→ 105ページ）をご覧ください。

◆ 自動プリントヘッド位置調整がうまくいかないとき

原因	対処方法
A4 以外の用紙がセットされている	A4 の用紙をセットしてください。
オートシートフィーダに用紙がセットされていない	オートシートフィーダに用紙をセットしてください。(→ 23 ページ)
インクがなくなっている	インクタンクを交換してください。(→ 102 ページ)
インクタンクが正しくセットされていない	スキャナユニット（プリンタカバー）を開けて、インクタンクがしっかりセットされていることを確認してください。また、インクタンクが正しい位置にセットされていることも確認してください。(→ 102 ページ)
ノズルが目詰まりしている	ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認してください。(→ 106 ページ)
本機の排紙口内に強い光が当たっている	排紙口内に強い光が当たらないように調整してください。
上記以外の原因が考えられる	手動でプリントヘッド位置の調整をしてください。 1. オートシートフィーダに A4 の用紙をセットします。 2. コピーメニュー画面、フォトメニュー画面、フィルムメニュー画面のいずれかで、〈メンテナンス / 各種設定〉→〈メンテナンス〉の順に選びます。 3. [▲] か [▼] で〈ヘッド位置調整（手動）〉を選び、[OK] を押します。 4.〈はい〉を選んで [OK] を押すと、パターンが印刷されます。 5. 印刷されたパターンを見て、最も縦すじの目立たない A 列のパターン番号を [◀] か [▶] かで選びます。[◀] を押すごとにパターン番号が 1 つずつ減り、[▶] を押すごとに 1 つずつ増えます。 6. [▼] を押して B 列にカーソルを移動させ、手順 5 を繰り返して B ～ H 列までのパターン番号を入力します。 7. H 列までのパターン番号を入力し終わったら、[OK] を押します。

◆ エラーランプが点滅したら

印刷中に紙づまりなどが起きたときにエラーランプが点滅します。次の中から原因を探し、対処してください。

メッセージが表示されているとき

1 液晶モニターに表示されているメッセージを確認してください。

2 メッセージにしたがって問題を解決してください。

3 [OK] を押して操作を続けます。

エラーランプが消えます。

問題を解決できないときは、本機の電源を切り、電源コードを抜いて 15 秒間待ってから電源コードを接続し、電源を入れてください。

メッセージが表示されていないとき（紙づまりでないとき）

1 電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。

2 5 秒間待ってから、もう一度電源コードを差し込み、電源を入れてください。

問題が解決していれば、エラーランプは点滅しません。

もう一度電源を入れ直しても、エラーランプが点滅するとき

お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センターに連絡してください。

◆ 液晶モニターのエラーメッセージ

本機でエラーが発生すると、液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージにしたがって原因を確認し、対処してください。

メッセージ	原因	対処方法	参照ページ
廃インク吸収体が満杯に近づきました ≪取扱説明書を参照≫	本機に内蔵されている廃インク吸収体 * が満杯になりそうです。	本機の [ストップ／リセット] を押してエラーを解除します。しばらくの間は印刷できますが、満杯になると印刷できなくなります。お早めに修理受付窓口にご連絡ください。	ー
自動ヘッド位置調整に失敗しました [OK] を押して操作をやり直してください ≪取扱説明書を参照≫	自動でプリントヘッド位置の調整ができませんでした。	[OK] を押して、手動でプリントヘッド位置の調整をしてください。	137 ページ
エラーが発生しました 電源を入れ直してください ≪取扱説明書を参照≫	ー	修理受付窓口にご連絡ください。	ー

* クリーニングなどで使用するインクは、本機の内部にある廃インク吸収体に吸収されます。このメッセージが表示されたときには、廃インク吸収体の交換および本機の点検が必要になります。

◆ デジタルカメラからうまく印刷できない

デジタルカメラやデジタルビデオカメラ * から直接印刷を行ったときに、カメラにエラーが表示される場合があります。表示されるエラーと対処方法は次のとおりです。

* 以降、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラを総称して、カメラと記載します。

- 本機と接続して直接印刷できるのは、“PictBridge”対応または、キヤノン“Bubble Jet Direct”対応のカメラです。
- 次の説明は、キヤノン製“PictBridge”対応または、キヤノン“Bubble Jet Direct”対応のカメラに表示されるエラーについて説明しています。ご使用のカメラにより表示されるエラーやボタン操作が異なる場合があります。キヤノン製以外の“PictBridge”対応カメラを使用して、カメラからプリンタエラーの解除方法がわからない場合は、液晶モニターに表示されているメッセージを確認してエラーを解除してください。
- 接続した状態での操作時間が長すぎたり、データ送信に時間がかかり過ぎる場合は、通信タイムエラーとなり印刷できない場合があります。そのときは、カメラから一度接続ケーブルを抜いてから本機の［OK］を押し、再度ケーブルを接続してください。ケーブルを接続しただけでは、自動で電源が入らないカメラをお使いの場合は、手動で電源を入れてください。それでも改善されない場合は、他の写真を選んで印刷できるかどうかを確認してください。
- 印刷にかすれやむらがあるときは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。プリントヘッドのメンテナンスを行ってください。（→ 105 ページ）
- 印刷時に用紙がカールしたり、印刷面がこすれたりした場合は、適切な用紙に印刷しているか確認してください。適切な用紙に印刷しても印刷面がこすれるときは、用紙のこすれを防止する設定にしてください。（→ 142 ページ）
- 表示されるエラーや対処方法については、カメラに付属の使用説明書もあわせて参照してください。その他、カメラ側のトラブルについては、各機器の相談窓口へお問い合わせください。

カメラ側エラー表示	原因	対処方法
プリンターは使用中です／プリンターは準備中です	パソコンなどから印刷しています。	印刷が終了するまでお待ちください。 準備動作を行っている場合は、終了するまでお待ちください。
ペーパーがありません／ペーパーエラー	オートシートフィーダに用紙がセットされていません。	オートシートフィーダに用紙をセットして、カメラのエラー画面で［続行］*1 を選んでください。 また、排紙トレイが閉じている場合は、開けてください。印刷を再開します。
ペーパーが詰まりました	用紙が詰まっています。	カメラのエラー画面で［中止］を選び、印刷を中止してください。 用紙を取り除き、用紙をセットし直してから本機の［OK］を押し、再度印刷を行ってください。
プリンターカバーが開いています	スキャナユニット（プリンタカバー）が持ち上がっています。	スキャナユニット（プリンタカバー）を元の位置に戻してください。
プリントヘッド未装着	プリントヘッドが装着されていないか、プリントヘッドの不良です。	『かんたんスタートガイド（本体設置編）』の説明にしたがって、プリントヘッドを取り付けてください。 プリントヘッドがすでに取り付けられている場合は、取り外して接点部分が汚れていないことを確認し、取り付け直してください。 それでもエラーが解決されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。修理受付窓口にご相談ください。

廃インクタンク（廃インク吸収体[*2]）が満杯です	廃インク吸収体が満杯になりそうです。	カメラのエラー画面で［続行］[*1]を選ぶと、印刷を再開します。しばらくの間は印刷できますが､満杯になると印刷できなくなります。お早めに修理受付窓口にご相談ください。
インクが残りわずかです	インク残量がわずかになっています。	そろそろインクタンクの交換時期です。新しいインクタンクをご用意ください。カメラのエラー画面で［続行］を選ぶと、印刷を再開します。
インクがありません	インクタンクのインクがありません。	新しいインクタンクと交換してください。（→ 102 ページ） インクを交換してスキャナユニット（プリンタカバー）を閉じると、印刷を再開します。カメラのエラー画面で［続行］[*1]を選ぶと、インク切れの状態で印刷を続行します。印刷が終了したら､すぐに新しいインクタンクに交換してください。インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因になります。
プリンタートラブル発生	サービスが必要なエラーが起こっている可能性があります。	カメラのエラー画面で［中止］を選び、印刷を中止してください。 デジタルカメラと接続されているケーブルを抜いてから本機の電源を切り、本機の電源コードをコンセントから抜いてください。しばらくしてから本機の電源を入れ直し、デジタルカメラを接続してみてください。それでも回復しない場合は、お買い求めの販売店または修理受付窓口にご相談ください。

*1 ［続行］を選ぶ代わりに、本機の［OK］を押しても有効です。

*2 クリーニングなどで使用するインクは、本機の内部にある廃インク吸収体に吸収されます。このメッセージが表示されたときには、廃インク吸収体の交換および本機の点検が必要になります。

◆ どうしても問題が解決しないとき

この章の説明にしたがって対処しても、どうしてもうまくいかないときは、お買い求めの販売店かキヤノンお客様相談センターに連絡してください。
キヤノンのサポートスタッフは、お客様にご満足いただける技術サポートを提供できるようにトレーニングされております。

⚠ 警告

本機をお客様ご自身で修理したり、分解したりすると、保証期間中でも保証が受けられなくなります。

連絡する前に、次のことを確認してください。
●製品名 PIXUS MP900
●シリアルナンバー（機体番号）本機の背面のラベルに書かれています。
●トラブルの詳しい状況
●トラブルの解決のために対処したことと、その結果

⚠ 注意

本機から変な音や煙が出ていたり､変なにおいがするときは､すぐに電源を切り､電源コードをコンセントから抜いて､お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターに連絡してください。絶対にご自分で修理したり、分解したりしないでください。

14章 付録

この章では、本機の設定のしかたや設定項目、本機の仕様について説明します。

本機の設定をかえる

設定を変更するときは、次のように操作してください。

1 コピーメニュー画面、フォトメニュー画面、フィルムメニュー画面のいずれかで、［◄］か［►］で〈メンテナンス / 各種設定〉を選び［OK］を押します。

各メニュー画面の表示方法は、
- コピーメニュー画面（→ 35 ページ）
- フィルムメニュー画面（→ 44 ページ）
- フォトメニュー画面（→ 57 ページ）

をご覧ください。

2 ［◄］か［►］で〈各種設定〉を選び、［OK］を押します。

各種設定画面が表示されます。

項目	内容	設定	参照先
赤外線通信印刷設定	赤外線通信で携帯電話の写真を印刷するときに、用紙サイズやレイアウトを設定します。		71 ページ
静かに印刷	印刷中の音を静かにするかどうかを選びます。	**しない** する	-
フチなしはみ出し量	フチなし全面印刷のとき、はみ出し量を指定します。	**はみ出し量 小** はみ出し量 大	36 ページ
パワーセーブモード	パワーセーブが開始される時間を設定します。	15 分 **1 時間** 4 時間 8 時間	-
印刷面こすれ改善	印刷面がこすれてしまった場合、設定します。	**しない** する	-
日付表示形式	印刷される撮影日の日付の並び順を変更します。	**年 / 月 / 日** 月 / 日 / 年 日 / 月 / 年	60 ページ
メモリカード書込み禁止	パソコンからメモリーカードに書き込みできるようにするかどうかを選びます。	**する** しない	53 ページ

項目	内容	設定	参照先
スライドショーの画質	スライドショーの画質を設定します。〈はやい〉に設定すると 5 秒間隔で表示され、〈きれい〉に設定した場合は、画像の解像度により次の画像表示までの時間が変わります。	**はやい** きれい	54 ページ

太字は工場出荷時の設定です。

用紙の種類の設定対応表

◆ コピーする場合

液晶モニターに表示される用紙の種類（はがき以外のサイズ）	対応する用紙について
普通紙	普通紙に適しています。
光沢紙	キヤノン光沢紙、エコノミーフォトペーパーに適しています。
高品位専用紙	高品位専用紙に適しています。
OHP フィルム	OHP フィルムに適しています。
プロフォトペーパー	プロフェッショナルフォトペーパーに適しています。
スーパーフォト	スーパーフォトペーパー、スーパーフォトペーパー・シルキー、またはフォトシールセットに適しています。
その他フォト	上記用紙以外のフォト紙のとき、または記録用紙の種類がよくわからないときに選択してください。
液晶モニターに表示される用紙の種類（はがきサイズ）	**対応する用紙について**
インクジェットハガキ	インクジェット官製はがき、ハイグレードコートはがきに適しています。
フォトはがき	プロフェッショナルフォトはがき、フォト光沢ハガキに適しています。
普通紙はがき	普通紙タイプのはがきに適しています。

用紙の種類によっては最適な印刷結果が得られないこともありますので、写真をきれいにコピーしたい場合は、キヤノン純正のプロフェッショナルフォトペーパーかスーパーフォトペーパーをおすすめします。

◆ フォトプリントをする場合

液晶モニターに表示される用紙の種類（はがき以外のサイズ）	対応する用紙について
プロフォトペーパー	プロフェッショナルフォトペーパーに適しています。
普通紙	普通紙に適しています。
高品位専用紙	高品位専用紙に適しています。
スーパーフォトペーパー	スーパーフォトペーパー、スーパーフォトペーパー・シルキー、またはフォトシールセットに適しています。
光沢紙	キヤノン光沢紙、エコノミーフォトペーパーに適しています。
その他フォト紙	上記用紙以外のフォト紙のとき、または記録用紙の種類がよくわからないときに選択してください。
液晶モニターに表示される用紙の種類（はがきサイズ）	**対応する用紙について**
普通紙はがき	普通紙タイプのはがきに適しています。
インクジェットはがき	インクジェット官製はがき、ハイグレードコートはがきに適しています。
フォトはがき	プロフェッショナルフォトはがき、フォト光沢ハガキに適しています。

用紙の種類によっては最適な印刷結果が得られないこともありますので、写真をきれいにプリントしたい場合は、キヤノン純正のプロフェッショナルフォトペーパーかスーパーフォトペーパーをおすすめします。

◆ フィルムダイレクトプリントをする場合

液晶モニターに表示される用紙の種類（はがき以外のサイズ）	対応する用紙について
プロフォトペーパー	プロフェッショナルフォトペーパーに適しています。
高品位専用紙	高品位専用紙に適しています。
スーパーフォトペーパー	スーパーフォトペーパー、スーパーフォトペーパー・シルキー、またはフォトシールセットに適しています。
光沢紙	キヤノン光沢紙、エコノミーフォトペーパーに適しています。
その他フォト紙	上記用紙以外のフォト紙のとき、または記録用紙の種類がよくわからないときに選択してください。

液晶モニターに表示される用紙の種類 （はがきサイズ）	対応する用紙について
インクジェットはがき	インクジェット官製はがき、ハイグレードコートはがきに適しています。
フォトはがき	プロフェッショナルフォトはがき、フォト光沢ハガキに適しています。

用紙の種類によっては最適な印刷結果が得られないこともありますので、写真をきれいにプリントしたい場合は、キヤノン純正のプロフェッショナルフォトペーパーかスーパーフォトペーパーをおすすめします。

◆ 赤外線通信印刷をする場合

液晶モニターに表示される用紙の種類 （はがき以外のサイズ）	対応する用紙について
プロフォトペーパー	プロフェッショナルフォトペーパーに適しています。
普通紙	普通紙に適しています。
高品位専用紙	高品位専用紙に適しています。
スーパーフォトペーパー	スーパーフォトペーパー、スーパーフォトペーパー・シルキー、またはフォトシールセットに適しています。
光沢紙	キヤノン光沢紙、エコノミーフォトペーパーに適しています。
その他フォト紙	上記用紙以外のフォト紙のとき、または記録用紙の種類がよくわからないときに選択してください。
液晶モニターに表示される用紙の種類 （はがきサイズ）	**対応する用紙について**
普通紙はがき	普通紙タイプのはがきに適しています。
インクジェットはがき	インクジェット官製はがき、ハイグレードコートはがきに適しています。
フォトはがき	プロフェッショナルフォトはがき、フォト光沢ハガキに適しています。

用紙の種類によっては最適な印刷結果が得られないこともありますので、写真をきれいにプリントしたい場合は、キヤノン純正のプロフェッショナルフォトペーパーかスーパーフォトペーパーをおすすめします。

用紙の特徴および用途

本機で使える用紙の特徴や用途について説明します。印刷するときに、使用目的に合う用紙をお使いください。

用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
普通紙	A4 (210 mm × 297 mm) A5 (148 mm × 210 mm) レター (215.9 mm × 279.4 mm) B5 (182 mm × 257 mm) リーガル (215.9 mm × 355.6 mm) 非定型紙(オートシート フィーダ) (横:90 mm ~ 215.9 mm) (縦:120 mm ~ 584.2 mm)	パソコン コピー メモリーカード 赤外線通信	• 質量:64 ~ 105g/m^2 • 縦向きに印刷ができます。 • 普通のコピー用紙、コットンボンド紙、レターヘッドなども使用できます。 • インクジェット専用紙を使う必要はありません。 • リーガルの用紙は、オートシートフィーダにセットしてください。
封筒	洋形 4 号 (105 mm × 235 mm) 洋形 6 号 (98 mm × 190 mm) 長形 3 号(Windows のみ) (120 mm × 235 mm) 長形 4 号(Windows のみ) (90 mm × 205 mm)	パソコン	• ほかのサイズの封筒にも印刷可能ですが、印刷品質は保証されません。 • 次の封筒は、故障の原因になるので使用しないでください。 – 窓、穴、ミシン目、切り抜きがある封筒や、フタが二重になっている封筒、フタにシールが付いている封筒 – 型押しやコーティングなどの表面加工が施されている封筒 – シールが貼られている封筒 – 手紙が入っている封筒 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。
官製はがき/インクジェット官製はがき/往復はがき *2	100 mm × 148 mm 148 mm × 200 mm	パソコン コピー メモリーカード 赤外線通信	• 印刷されたはがきは、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。 • インクが乾くまで印刷面には手を触れないでください。 • MP ドライバの設定は、必ず[用紙の種類]でセットするはがきの種類を指定してください。 • 次のはがきは、故障の原因になるので使用しないでください。 – 写真付きやステッカーが貼ってあるはがき – 折り目のある往復はがき • 官製はがきは、フィルムダイレクトプリントでは使用できません。
スーパーホワイトペーパー *1	A4 (210 mm × 297 mm)	パソコン コピー メモリーカード	• 普通紙よりも白色度が高い用紙です。 • カラーの図やグラフなどを多用したビジネス文書や写真などの印刷に最適です。 • より白い方の面を上にしてセットしてください。 • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。

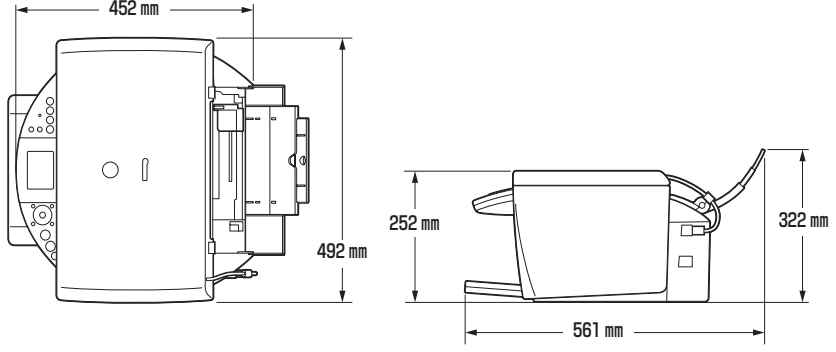
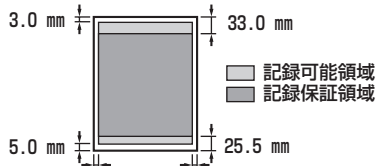
*1 キヤノン製専用紙

*2 パソコンからの印刷にのみ使用できます。

用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
スーパーホワイトペーパー・両面厚口[1]	A4 (210 mm × 297 mm)	パソコン コピー メモリーカード	• 普通紙よりも白色度が高い用紙です。 • カラーの図やグラフなどを多用したビジネス文書や写真などの印刷に最適です。 • 用紙の両面に印刷できます。 • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。
プロフェッショナルフォトペーパー[1]	A4 (210 mm × 297 mm) L 判 (89 mm × 127 mm) 2L 判 (127 mm × 178 mm)	パソコン コピー メモリーカード フィルム 赤外線通信 PictBridge Bubble Jet Direct	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙です。 • カラーの発色、速乾性、耐水性に優れています。 • 高画質な写真の印刷に最適です。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 光沢のある面を上にして、セットしてください。 • L判は排紙トレイに20枚以上ためないでください。 • L 判以外の用紙は排紙トレイに 10 枚以上ためないでください。
プロフェッショナルフォトはがき[1]	100 mm × 148 mm	パソコン コピー メモリーカード フィルム 赤外線通信 PictBridge Bubble Jet Direct	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのあるはがきサイズの用紙です。 • カラーの発色、速乾性、耐水性に優れています。 • 高画質な写真の印刷に最適です。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 光沢のある面を上にして、セットしてください。 • 両面に印刷するときは、通信面を先に印刷して、宛名面をあとで印刷してください。 • 排紙トレイに 20 枚以上ためないでください。
スーパーフォトペーパー[1]	A4 (210 mm × 297 mm) L 判 (89 mm × 127 mm) 2L 判 (127 mm × 178 mm) パノラマ (89 mm × 254 mm)	パソコン コピー メモリーカード フィルム 赤外線通信 PictBridge Bubble Jet Direct	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙です。 • カラーの発色、耐水性に優れています。 • 高画質な写真の印刷に最適です。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 光沢のある面を上にして、セットしてください。 • L判は排紙トレイに20枚以上ためないでください。 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。
スーパーフォトペーパー・両面[1]	A4 (210 mm × 297 mm) 2L 判 (127 mm × 178 mm)	パソコン	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙です。 • カラーの発色に優れています。 • 高画質な写真の印刷に最適です。 • 用紙の両面に印刷できます。 • 手動両面印刷するときは、1 枚ずつセットしてください。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。

[1] キヤノン製専用紙

用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
スーパーフォトペーパー・シルキー*1	A4 (210 mm × 297 mm) L 判 (89 mm × 127 mm)	パソコン コピー メモリーカード フィルム 赤外線通信 PictBridge Bubble Jet Direct	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙です。 • カラーの発色、耐水性に優れています。 • 高画質な写真の印刷に最適です。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • より白い面を上にして、セットしてください。 • L 判は排紙トレイに 20 枚以上ためないでください。 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。
マットフォトペーパー*1	A4 (210 mm × 297 mm) L 判 (89 mm × 127 mm)	パソコン コピー メモリーカード フィルム 赤外線通信	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙です。 • カラーの発色、耐水性に優れています。 • ペーパークラフト、カレンダー、つや消し写真の印刷など、さまざまな印刷用途に適しています。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • より白い方の面を上にしてセットしてください。 • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。
キヤノン光沢紙*1	A4 (210 mm × 297 mm)	パソコン コピー メモリーカード フィルム 赤外線通信 PictBridge Bubble Jet Direct	• 高品位専用紙よりも厚みがあり、印刷面に光沢のある用紙です。 • 写真に近い仕上がりを実現できます。 • フチなし全面印刷に最適です。 • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。 • より光沢のある面を上にしてセットしてください。 • 排紙トレイに、用紙を 10 枚以上ためないでください。 • この用紙に付属しているサポートシートは使わないでください。
エコノミーフォトペーパー*1	L 判 (89 mm × 127 mm)	パソコン コピー メモリーカード フィルム 赤外線通信 PictBridge Bubble Jet Direct	• 高品位専用紙よりも厚みがあり、印刷面に光沢のある用紙です。 • 写真に近い仕上がりを実現できます。 • フチなし全面印刷に最適です。 • インクが乾くまでの時間：2 分 • より光沢のある面を上にしてセットしてください。 • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。 • 排紙トレイに、用紙を 10 枚以上ためないでください。 • この用紙に付属しているサポートシートは使わないでください。

*1 キヤノン製専用紙

用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
フォト光沢ハガキ *1	100 mm × 148 mm	パソコン コピー メモリーカード フィルム 赤外線通信 PictBridge	• 通信面に光沢があり、写真を色鮮やかに再現できます。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 両面に印刷するときは、通信面を先に印刷して、宛名面をあとで印刷してください。 • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。 • うまく給紙されないときは、パッケージに付属している厚紙を用紙の下に敷いてください。 • 排紙トレイに、用紙を 20 枚以上ためないでください。
ハイグレードコートはがき *1	100 mm × 148 mm	パソコン コピー メモリーカード フィルム 赤外線通信	• 通信面にコーティングを施した、マットな質感のはがきです。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 両面に印刷するときは、通信面を先に印刷して、宛名面をあとで印刷してください。 • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。 • 排紙トレイに、用紙を 40 枚以上ためないでください。
高品位専用紙 *1	A4 (210 mm × 297 mm) B5 (182 mm × 257 mm)	パソコン コピー メモリーカード フィルム 赤外線通信	• 普通紙よりもカラーの発色性に優れています。 • カラーの図やグラフなどを多用したビジネス文書や写真などの印刷に最適です。 • より白い方の面を上にしてセットしてください。 • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。 • 排紙トレイに、用紙を 50 枚以上ためないでください。 • 用紙が丸まってしまうときは、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。
T シャツ転写紙 *1	A4 (210 mm × 297 mm)	パソコン	• T シャツ用のアイロンプリントを作る用紙です。 • 写真やイラストを、T シャツ転写紙に左右を反転して印刷し、アイロンを使って T シャツに転写すると正しい向きになります。 • 緑色のラインがない面を上にして、用紙をセットしてください。 • 用紙が丸まっているときは、逆方向に丸めて伸ばしてください。 • 印刷後、T シャツへの転写は速やかに行なってください。 • 転写方法については、T シャツ転写紙に付属している取扱説明書を参照してください。

*1 キヤノン製専用紙

用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
OHP フィルム*1	A4 (210 mm × 297 mm)	パソコン コピー	• オーバーヘッドプロジェクタ(OHP)で使うための、専用の透明フィルムです。 • プレゼンテーションなどの資料作りに効果的です。 • OHP フィルムをセットするときは、いちばん後ろに普通紙を 1 枚つけてください。 • OHP フィルムはどちらの面にも印刷ができます。よりきれいに印刷するには、フィルムの端を持ったときに丸まる方の面に印刷してください。 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。 • 印刷面がすれたりフィルムどうしがくっついたりしないように、普通紙(コート紙は不可)をかぶせて印刷面を保護してください。 • インクが乾くまで、印刷面に手を触れたり、フィルムどうしを重ねたりしないでください。 • 長期間保管する場合は、普通紙をかぶせて印刷面を保護してください。
フォトシールセット*1 (2 面/ 4 面/ 9 面/ 16 面)	100 mm × 148 mm	パソコン コピー メモリーカード フィルム 赤外線通信	• 入数:1 セット(16 枚) • 2 面× 2 枚 • 4 面× 2 枚 • 9 面× 2 枚 • 16 面× 10 枚 • Windows をお使いの場合は、専用のソフトウェア(プチプリント for Canon)を使うと、印刷の設定が簡単にできます。ホームページ(canon.jp/pixus)よりダウンロードできます。
ピクサスプチシール*1 (16 面光沢フォトシール)	100 mm × 148 mm	パソコン 赤外線通信	• Windows をお使いの場合は、専用のソフトウェア(プチプリント for Canon)を使うと、印刷の設定が簡単にできます。ホームページ(canon.jp/pixus)よりダウンロードできます。
ピクサスプチシール・フリーカット	100 mm × 148 mm	パソコン PictBridge	• Windows をお使いの場合は、専用のソフトウェア(プチプリント for Canon)を使うと、印刷の設定が簡単にできます。ホームページ(canon.jp/pixus)よりダウンロードできます。

*1 キヤノン製専用紙

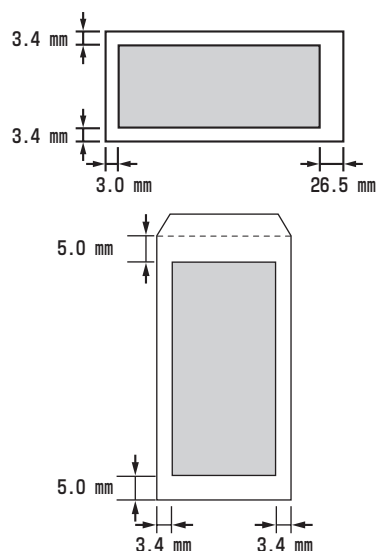
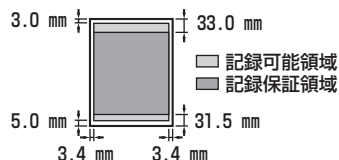
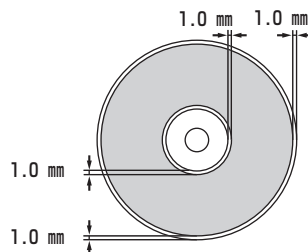
本機の仕様

装置の概要	
電源	100V　50/60 Hz
消費電力	最大：約 48 W スタンバイ状態：約 9 W ※ 電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。完全に電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
質量	本体 約 10.8 kg
外形寸法	492 mm（横）× 452 mm（奥行き）× 252 mm（高さ） 452 mm / 492 mm / 252 mm / 322 mm / 561 mm
動作音	約 38 dB（A）（〈静かに印刷〉を〈する〉に設定した場合）
使用環境	温度：5 ℃～ 35 ℃ 湿度：10%RH ～ 90%RH（ただし、結露がないこと）
液晶モニター	3.2 inch カラー STN 液晶
オートシートフィーダ容量	普通紙（64g/m²）：　約 150 枚 （高さ 13 mm） 官製はがき：　40 枚 ※その他の用紙の容量については 21 ページをご覧ください。
CD-R トレイガイド積載枚数	1 枚
用紙に印刷できる範囲	A4：　203.2 mm × 289 mm レター：　203.2 mm × 271.4 mm リーガル：203.2 mm × 347.6 mm A5：　141.2 mm × 202 mm B5：　175.2 mm × 249 mm L 判：　82.2 mm × 119 mm 2L 判：　120.2 mm × 170 mm パノラマ：82.2 mm × 246 mm 3.0 mm　33.0 mm　5.0 mm　25.5 mm 記録可能領域 記録保証領域 A4、B5、A5、L判、2L判、パノラマ：　3.4 mm レター、リーガル：　6.4 mm A4、B5、A5、L判、2L判、パノラマ：　3.4 mm レター、リーガル：　6.4 mm 参考 フチなし全面印刷をすると、全面に印刷することができます。 ただし、用紙の上下の端がきれいに印刷されないことがあります。

14

付録

装置の概要

項目	内容
封筒に印刷できる範囲	洋形４号：98.2 mm × 205.5 mm 洋形６号：91.2 mm × 160.5 mm 長形３号：113.2 mm × 255 mm 長形４号：83.2 mm × 195 mm
はがきに印刷できる範囲	はがき：　93.2 mm × 140 mm 往復はがき：193.2 mm × 140 mm
CD-R（12 cm/8 cm）に印刷できる範囲	CD-R（12 cm/8 cm）：ラベルの部分の内径から 1 mm 以上、外径から 1 mm 以内

システム要件

→ 86 ページ

インク仕様

項目	内容
インク色 / 印刷可能枚数	ブラック（BCＩ-7BK）：約 890 枚 *、約 1390 枚 ** シアン（BCＩ-7C）：約 690 枚 ** マゼンタ（BCI-7M）：約 560 枚 ** イエロー（BCＩ-7Y）：約 500 枚 ** フォトシアン（BCＩ-7PC）：約 510 枚 ** フォトマゼンタ（BCＩ-7PM）：約 320 枚 **

*Windows XP ドライバで、JEITA 標準パターン JI を普通紙に連続印刷した場合
**Windows XP ドライバで、ISO JIS-SCID No.5 を普通紙に連続印刷した場合

コピー仕様	
コピー速度	白黒コピー：　〈はやい〉約 10 ページ／分（A4） カラーコピー：〈はやい〉約 10 ページ／分（A4） （キヤノン標準パターンに基づく）
コピー部数	最大 99 枚
濃度調整	9 段階
拡大 / 縮小率	25% ～ 400%

フォトプリント仕様	
インタフェース	カードスロット
対応用紙	• 普通紙 • 官製はがき • インクジェット官製はがき • ハイグレードコートはがき（CH-301） • フォト光沢ハガキ（KH-201N） • プロフェッショナルフォトはがき（PH-101） • プロフェッショナルフォトペーパー（PR-101 A4/PR-101 L/PR-101 2L） • スーパーフォトペーパー（SP-101 A4/SP-101 L/SP-101 2L） • スーパーフォトペーパー・シルキー（SG-101 A4/SG-101 L） • スーパーホワイトペーパー・両面厚口（SW-201 A4） • 高品位専用紙（HR-101S A4） • キヤノン光沢紙（GP-401 A4） • マットフォトペーパー（MP-101 A4/MP-101 L） • エコノミーフォトペーパー（EC-101 L） • フォトシールセット（PSHRS）
対応レイアウト	• 普通紙 A4/ レター：フチあり、インデックス（最大 80 画像） • インクジェット官製はがき、ハイグレードコートはがき、フォト光沢ハガキ、プロフェッショナルフォトはがき、官製はがき はがき：フチあり / なし、全体 / 半分、インデックス（最大 24 画像） • プロフェッショナルフォトペーパー、スーパーフォトペーパー、スーパーホワイトペーパー・両面厚口、高品位専用紙、キヤノン光沢紙、スーパーフォトペーパー・シルキー、マットフォトペーパー： A4/L 判 /2L 判：フチあり / なし、インデックス A4（最大 80 画像）、L 判（最大 15 画像）、2L 判（最大 35 画像） • フォトシールセット： 2 × 1（2 面）、2 × 2（4 面）、3 × 3（9 面）、4 × 4（16 面）
補正機能	• オートフォトパーフェクト • VIVID フォト • ノイズ除去 • 顔明るく補正
印刷モード	• DPOF 対応（インデックス印刷、枚数指定、画像指定、日付印刷、画像番号印刷） • フォトナビシート印刷

キヤノン“Bubble Jet Direct”プリント	
対応用紙	• L 判（PR-101 L/SP-101 L/SG-101 L/EC-101 L） • 2L 判（PR-101 2L/SP-101 2L） • はがきサイズ（PH-101） • A4 サイズ（PR-101 A4/SP-101 A4/SG-101 A4/GP-101 A4）
対応レイアウト	標準：フチあり／フチなし、インデックス：15 〜 80 面（用紙サイズにより異なります）
印刷品位	固定（簡単プリント：標準、DPOF プリント：標準／インデックス）
補正機能	Exif Print 対応
DPOF	Ver. 1.00 準拠 インデックス印刷、印刷枚数指定、印刷画像指定、日付印刷、画像番号印刷
対応機種	• デジタルカメラ PowerShot G2（カメラ側でファームウェアのバージョンアップが必要） PowerShot G2 Black/G3/G5 PowerShot S30/S40/S45/S50 PowerShot A60/A70/A300 IXY DIGITAL 200a/300a/320/400/30 EOS 10D/EOS Kiss Digital • デジタルビデオカメラ IXY DV M FV40 FV M10

PictBridge	
ペーパーサイズ	• L 判（SP-101 L/PR-101 L/SG-101 L/EC-101 L） • 2L 判（SP-101 2L/PR-101 2L） • はがき（PH-101/KH-201N/PS-101*1/PSHRS*1/PS-201） • 8.9 × 25.4 cm（SP-101 パノラマ）*2 • A4（SP-101 A4/PR-101 A4/SG-101 A4/GP-101 A4） *1 キヤノン製シール専用紙です。レイアウトで 2 面配置／ 4 面配置／ 9 面配置／ 16 面配置に該当する選択項目がある場合のみ印刷できます。（→ 21 ページ） *2 パノラマサイズです。キヤノン製“PictBridge”対応のカメラのみ設定できます（機種によっては設定できない場合があります）。
ペーパータイプ	標準設定（スーパーフォトペーパー）、フォト（スーパーフォトペーパー）、高級フォト（プロフェッショナルフォトペーパー）
レイアウト	標準設定（フチなし）、フチなし、フチあり、2 面配置／ 4 面配置／ 9 面配置／ 16 面配置 * * キヤノン製シール専用紙に対応したレイアウトです。（→ 21 ページ）
トリミング	標準設定（切：トリミングなし）、カメラ側の設定にしたがう
イメージオプティマイズ（画像補正）	標準設定（入り：Exif Print）
日付印刷	標準設定（切：印刷しない）、印刷形式はカメラ側の設定にしたがう
対応機種	“PictBridge”対応カメラ

プリンタ仕様	
印字方式	オンデマンドバブルジェット
給紙方法	自動給紙
用紙の質量と最大積載枚数	• オートシートフィーダ 普通紙（64g/m2）： 約 150 枚 （高さ 13 mm） 官製はがき： 40 枚 ※その他の用紙の容量については 21 ページをご覧ください。
推奨用紙	推奨用紙については 21 ページをご覧ください。
印刷速度 （弊社標準パターンにて測定）	• ブラック印刷 最高速（カスタム設定 5）：10ppm • ブラック印刷 標準 ：4.1ppm • カラー印刷 最高速（カスタム設定 5）：10ppm • カラー印刷 標準 ：3.8ppm
最大印字幅	203.2 mm（フチなし印刷時 216.0 mm）
解像度	4800（横）× 2400（縦）dpi（用紙の下端では 4800（横）× 1200（縦）dpi）

スキャナ仕様	
互換性	TWAIN / WIA（Windows XP のみ）
ライン読み込み速度	• 白黒／グレースケール（400dpi）：3.3 ms/line* • カラー（400dpi）： 3.3 ms/line*
有効読み込み幅	214 mm
読み込み解像度	• 光学 3200 × 6400 dpi • 最高 9600 × 9600 dpi
読み込み画像処理	• ハーフトーン： グレー 256 階調 • カラー： 16,777,216 色

* データ転送時間は含みません。

仕様は、予告なく変更することがあります。

◆ 索引

数字

B

C

D

F

I

M

O

P

S

T

U

V

W

あ

い

う

え

お問い合わせの前に

本書の「困ったときには」の章を読んでもトラブルの原因がはっきりしない、また解決しない場合には、次の要領でお問い合わせください。

本機の故障の場合は？

どのような対処をしても本機が動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、本機の故障と判断されます。

お買い上げいただいた販売店またはお近くの修理受付窓口に修理を依頼してください。
別紙の「サービス＆サポートのご案内」をご覧ください。

パソコンなどのシステムの問題は？

本機の動作が正常に動作し、MP ドライバのインストールも問題なければ、USB ケーブルやパソコン（OS 、メモリ、ハードディスク、インタフェースなど）に原因があると考えられます。

パソコンを購入された販売店もしくは、パソコンメーカーとご相談ください。

アプリケーションの問題のようだけど？

特定のアプリケーションで起きるトラブルは、アプリケーション固有の問題と考えられます。

●アプリケーションメーカーの相談窓口にご相談ください。
●セットアップCD-ROMからインストールしたアプリケーションに関しては、「サービス＆サポートのご案内」をご覧ください。

お客様相談センター
全国共通電話番号

0570ー01ー9000
商品該当番号：【33】

修理の依頼方法について

●修理窓口へお持ちいただく場合
お買い上げいただいた販売店、または弊社修理受付窓口にお持ち込みください。

●修理窓口へ宅配便で送付していただく場合
本機が輸送中の振動で損傷しないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、本機がガタつかないようにしっかりと梱包してください。

お願い：保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。

使用済みインクタンク回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクタンク、BJ カートリッジの回収を推進しています。
この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、“キヤノンによる環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクタンク、BJ カートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。
キヤノン販売ではご販売店の協力の下、全国に 2000 ～ 3000 拠点の回収窓口をご用意いたしております。
また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。
回収窓口につきましては、下記URLを入力したあと、「消耗品関連」メニューの「カートリッジ回収窓口」よりご確認いただけます。

canon.jp/support

事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクタンク、BJ カートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

お問い合わせのシート

ご相談の際にはすみやかにお答えするために予め下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。
また、かけまちがいのないよう電話番号はよくご確認ください。

[プリンタの接続環境について]

プリンタと接続しているコンピュータの機種（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

内蔵メモリ容量（　　　　　　　　MB）／ハードディスク容量（　　　　　　　　MB ／ GB）

使用している OS：Windows □ XP　□ Me　□ 2000　□ 98（Ver.　　　　）

□ Macintosh（Ver.　　　　）　　□その他（　　　　　　　　）

コンピュータ上で選択しているプリンタドライバの名称（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

接続方法：□直結　□ネットワーク（種類：　　　　　　　　）　□その他（　　　　　　）

接続ケーブルメーカー（　　　　　　　　　）／品名（　　　　　　　　　　　　　）

[プリンタの設定について]

プリンタドライバのバージョン NO.（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

コンピュータ上のプリンタ設定でバージョン情報が確認できます。

[エラー表示]

エラーメッセージ（できるだけ正確に）（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

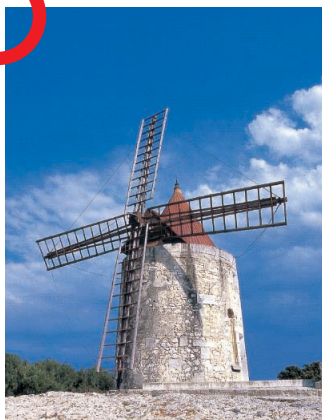
エラー表示の場所：□パソコン　□プリンタ

エラーメッセージ（できるだけ正確に）（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

エラー表示の場所：□パソコン　□プリンタ

キヤノン販売株式会社　〒 108-8011 東京都港区港南 2-16-6

インクが 出ない・かすれるときは？

プリントヘッドのノズル（インクのふき出し口）が目詰まりすると、
色味がおかしかったり印刷がかすれる場合があります。

こんなときは？

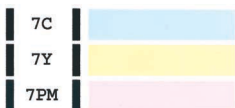
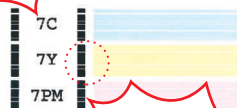
ポイント1

インクタンクがしっかりと取り付けられていますか？
また、インクタンクの並び順を間違えていませんか？

▶ インクタンクの状態を確認してください。（本書 101 ページ）

ポイント2

プリントヘッドは目詰まりしていませんか？

▶ ノズルチェックパターンを印刷し、確認してください。（本書 106 ページ）

ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合は、
本書の手順にしたがって本機のお手入れをしてください。

いますぐ、 **本書 105 ページへ**

参考 プリントヘッドの目詰まりを防ぐため、月に 1 回程度、定期的に印刷されることをお勧めします。

●キヤノンPIXUSホームページ canon.jp/pixus

新製品情報、Q&A、各種ドライバのバージョンアップなど製品に関する情報を提供しております。
※通信料はお客様のご負担になります。

●お客様相談センター

PIXUS・BJプリンタ・複合機に関する ご質問・ご相談は、下記の窓口にお願いいたします。

お客様相談センター
全国共通電話番号

0570-01-9000 (商品該当番号:33)

【受付時間】〈平日〉9:00〜20:00、〈土日祝日〉10:00〜17:00(1/1〜1/3を除く)

※自動車電話・PHSをご使用の方、海外からご利用の方、ナビダイヤルをご利用いただけない方は043-211-9631をご利用ください。
※音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

本機で使用できるインクタンク番号は、以下のものです。
インクタンクを別途ご購入になる場合は、型番を間違えないように注意してください。

※インクタンクの交換については、101ページをお読みください。

紙幣、有価証券などをコピーやプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第148条、第149条、第162条／通貨及証券模造取締法第1条、第2条　等

HT7-0082-000-V.2.0

PRINTED IN THAILAND